

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年6月27日

【事業年度】 第176期(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

【会社名】 京成電鉄株式会社

【英訳名】 Keisei Electric Railway Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 小林 敏也

【本店の所在の場所】 千葉県市川市八幡三丁目3番1号

【電話番号】 047(712)7000

【事務連絡者氏名】 経理部連結・受託課長 杉 森 英 一

【最寄りの連絡場所】 千葉県市川市八幡三丁目3番1号

【電話番号】 047(712)7000

【事務連絡者氏名】 経理部連結・受託課長 杉 森 英 一

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

##### (1) 連結経営指標等

| 回次                           | 第172期            | 第173期            | 第174期            | 第175期            | 第176期            |
|------------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 決算年月                         | 2015年3月          | 2016年3月          | 2017年3月          | 2018年3月          | 2019年3月          |
| 営業収益 (百万円)                   | 249,016          | 251,204          | 245,837          | 255,028          | 261,553          |
| 経常利益 (百万円)                   | 37,169           | 42,572           | 47,064           | 47,145           | 50,720           |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 (百万円)    | 25,683           | 30,997           | 35,711           | 34,811           | 38,642           |
| 包括利益 (百万円)                   | 29,731           | 30,907           | 38,438           | 36,664           | 39,207           |
| 純資産額 (百万円)                   | 267,622          | 296,374          | 332,344          | 366,423          | 402,901          |
| 総資産額 (百万円)                   | 782,257          | 781,280          | 795,447          | 794,712          | 853,025          |
| 1株当たり純資産額 (円)                | 770.62           | 1,700.30         | 1,902.57         | 2,094.61         | 2,300.86         |
| 1株当たり<br>当期純利益金額 (円)         | 75.86            | 183.10           | 210.96           | 205.66           | 228.29           |
| 潜在株式調整後1株<br>当たり当期純利益金額 (円)  |                  |                  |                  |                  |                  |
| 自己資本比率 (%)                   | 33.4             | 36.8             | 40.5             | 44.6             | 45.7             |
| 自己資本利益率 (%)                  | 10.3             | 11.3             | 11.7             | 10.3             | 10.4             |
| 株価収益率 (倍)                    | 19.68            | 17.29            | 12.24            | 15.90            | 17.61            |
| 営業活動による<br>キャッシュ・フロー (百万円)   | 48,223           | 45,759           | 45,133           | 47,952           | 45,851           |
| 投資活動による<br>キャッシュ・フロー (百万円)   | 27,606           | 19,372           | 21,535           | 27,023           | 53,430           |
| 財務活動による<br>キャッシュ・フロー (百万円)   | 22,294           | 19,922           | 31,787           | 19,878           | 7,246            |
| 現金及び現金同等物<br>の期末残高 (百万円)     | 25,007           | 31,471           | 23,294           | 24,417           | 25,018           |
| 従業員数<br>[外、平均臨時<br>雇用者数] (人) | 8,596<br>[3,031] | 8,611<br>[3,046] | 8,840<br>[3,328] | 8,903<br>[3,351] | 9,240<br>[3,304] |

(注) 1 「第1 企業の概況」から「第5 経理の状況」まで、特に記載のない限り、消費税等抜きで記載しております。

- 2 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 3 2016年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合をもって株式併合を実施したことに伴い、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額については、第173期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。
- 4 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を第176期の期首から適用しており、第175期に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

## (2) 提出会社の経営指標等

| 回次                          | 第172期          | 第173期          | 第174期            | 第175期          | 第176期          |
|-----------------------------|----------------|----------------|------------------|----------------|----------------|
| 決算年月                        | 2015年3月        | 2016年3月        | 2017年3月          | 2018年3月        | 2019年3月        |
| 営業収益 (百万円)                  | 76,673         | 79,618         | 76,850           | 81,712         | 85,374         |
| 経常利益 (百万円)                  | 12,995         | 15,683         | 18,546           | 21,178         | 24,120         |
| 当期純利益 (百万円)                 | 8,478          | 10,732         | 13,812           | 15,154         | 17,929         |
| 資本金 (百万円)                   | 36,803         | 36,803         | 36,803           | 36,803         | 36,803         |
| 発行済株式総数 (千株)                | 344,822        | 344,822        | 172,411          | 172,411        | 172,411        |
| 純資産額 (百万円)                  | 129,536        | 137,674        | 149,537          | 168,316        | 183,862        |
| 総資産額 (百万円)                  | 531,532        | 519,113        | 511,715          | 500,322        | 539,244        |
| 1株当たり純資産額 (円)               | 377.00         | 801.37         | 870.68           | 980.02         | 1,070.53       |
| 1株当たり配当額 (円)                | 6.00           | 6.50           | 11.00            | 15.00          | 17.00          |
| (うち1株当たり<br>中間配当額) (円)      | (3.00)         | (3.00)         | (3.00)           | (7.00)         | (7.50)         |
| 1株当たり<br>当期純利益金額 (円)        | 24.68          | 62.47          | 80.42            | 88.24          | 104.40         |
| 潜在株式調整後1株<br>当たり当期純利益金額 (円) |                |                |                  |                |                |
| 自己資本比率 (%)                  | 24.4           | 26.5           | 29.2             | 33.6           | 34.1           |
| 自己資本利益率 (%)                 | 6.7            | 8.0            | 9.6              | 9.3            | 10.2           |
| 株価収益率 (倍)                   | 60.49          | 50.67          | 32.11            | 37.05          | 38.50          |
| 配当性向 (%)                    | 24.3           | 20.8           | 17.4             | 17.0           | 16.3           |
| 従業員数<br>[外、平均臨時<br>雇用量] (人) | 1,694<br>[263] | 1,666<br>[250] | 1,658<br>[245]   | 1,641<br>[243] | 1,665<br>[226] |
| 株主総利回り (%)                  | 167.5          | 178.3          | 146.5            | 185.7          | 228.5          |
| (比較指標：<br>配当込みTOPIX) (%)    | (130.7)        | (116.5)        | (133.7)          | (154.9)        | (147.1)        |
| 最高株価 (円)                    | 1,706          | 1,710          | 1,669<br>(2,986) | 3,875          | 4,085          |
| 最低株価 (円)                    | 848            | 1,197          | 1,168<br>(2,364) | 2,558          | 3,155          |

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 2 2016年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合をもって株式併合を実施したことに伴い、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額については、第173期の期首に、株主総利回りについては、第171期に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。
- 3 第174期の1株当たり配当額11.00円は、1株当たり中間配当額3.00円と1株当たり期末配当額8.00円の合計であります。2016年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合をもって株式併合を実施したことに伴い、1株当たり中間配当額3.00円は株式併合前、1株当たり期末配当額8.00円は株式併合後の金額となっております。従って、当該株式併合を踏まえて換算した場合、1株当たり中間配当額3.00円は6.00円に相当するため、1株当たり期末配当額8.00円を加えた第174期の1株当たり配当額は14.00円となります。
- 4 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第176期の期首から適用しており、第175期に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。
- 5 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。
- 6 2016年10月1日付で株式併合(2株を1株に併合)を実施したため、第174期の株価については当該株式併合前の最高・最低株価を記載し、( )内に当該株式併合後の最高・最低株価を記載しております。

## 2 【沿革】

### (1) 提出会社の沿革

| 年月       | 概要  |
|----------|---|
| 1909年7月  | 京成電気軌道株式会社設立(資本金150万円、1909年6月創立総会)                |
| 1912年11月 | 押上～江戸川間、曲金(現京成高砂)～柴又間開通                           |
| 1913年10月 | 柴又～金町間開通  |
| 1914年8月  | 江戸川～市川新田(現市川真間)間開通                                |
| 1915年11月 | 市川新田～京成中山間開通                                      |
| 1916年12月 | 京成中山～京成船橋間開通                                      |
| 1921年7月  | 京成船橋～千葉間開通  |
| 1926年12月 | 京成津田沼～花咲町仮駅(成田市内)間開通                              |
| 1930年4月  | 花咲町仮駅(廃止)～京成成田間開通                                 |
| 1931年12月 | 日暮里～青砥間開通   |
| 1932年7月  | 自動車課を新設し、乗合自動車事業の営業開始                             |
| 1933年11月 | 不動産業の営業開始   |
| 1933年12月 | 日暮里～上野公園(現京成上野)間開通                                |
| 1945年6月  | 商号を京成電鉄株式会社に変更                                    |
| 1949年5月  | 東京証券取引所上場   |
| 1960年12月 | 都営地下鉄線に直通乗入れ運転開始                                  |
| 1978年5月  | 京成成田～成田空港(現東成田)間開通、空港特急「スカイライナー」運転開始              |
| 1985年8月  | 青砥～京成高砂間複々線開通                                     |
| 1991年3月  | 成田空港ターミナルに直接乗入れによる営業開始(成田市駒井野分岐点～成田空港間開通、第二種鉄道事業) |
| 1992年4月  | 千葉急行線(現千原線)千葉中央～大森台間開通                            |
| 1995年4月  | 千葉急行線(現千原線)大森台～ちはら台間開通                            |
| 1998年10月 | 千葉急行電鉄株式会社解散に伴い千葉急行線(現千原線、千葉中央～ちはら台間)の営業譲受        |
| 2003年7月  | 京成不動産株式会社を吸収合併(同日、株式会社ベルーム京成が京成不動産株式会社に商号変更)      |
| 2003年10月 | 京成バス株式会社にバス事業を営業譲渡                                |
| 2006年12月 | 新京成電鉄線が千葉線に直通乗入れ運転開始                              |
| 2010年7月  | 成田空港線(成田スカイアクセス)開業                                |

(2) 関係会社の沿革

| 年月       | 概要   |
|----------|--|
| 1951年 5月 | 京成建設工業株式会社設立(1956年 9月京成建設株式会社に商号変更)                              |
| 1958年 3月 | 京成興業株式会社設立(2007年 2月当社が吸収合併)                                      |
| 1959年 9月 | 京成観光株式会社設立(1968年 3月(旧)京成ホテル株式会社に商号変更、2008年12月解散、2009年 4月清算終了)    |
| 1961年 8月 | 千葉京成ホテル開業  |
| 1969年 4月 | 東洋交通株式会社(現千葉中央バス株式会社)が当社傘下となる                                    |
| 1971年 5月 | 株式会社志満津百貨店が当社傘下となり株式会社京成志満津に商号変更(1975年 4月株式会社水戸京成百貨店に商号変更)       |
| 1971年 7月 | (旧)京成不動産株式会社設立(1988年 1月解散、同年 3月清算終了)                             |
| 1972年 5月 | 北総開発鉄道株式会社設立(2004年 7月北総鉄道株式会社に商号変更)                              |
| 1972年10月 | 京成百貨店(上野)開店(1984年12月閉店)  |
| 1973年12月 | 京成興業株式会社のストア部門を譲受し、株式会社京成ストア設立                                   |
| 1974年 9月 | 水戸京成ホテル開業  |
| 1979年 3月 | 北総開発鉄道線北初富～小室間開通(現北総線、第一種鉄道事業)<br>新京成電鉄線に直通乗入れ運転開始(暫定)           |
| 1984年 3月 | 住宅・都市整備公団線小室～千葉ニュータウン中央間開通(現北総線、第二種鉄道事業)                         |
| 1985年 8月 | 京成土地株式会社設立(1992年 6月京成都市開発株式会社に商号変更)                              |
| 1987年11月 | 長成不動産株式会社設立(1988年 1月(旧)京成不動産株式会社より営業譲受し京成不動産株式会社に商号変更)           |
| 1991年 3月 | 北総・公団線京成高砂～新鎌ヶ谷間開通(現北総線、第一種鉄道事業)<br>京成電鉄線に直通乗入れ運転開始              |
| 1992年 7月 | 北総・公団線北初富～新鎌ヶ谷間廃止(現北総線、第一種鉄道事業)<br>新京成電鉄線への直通乗入れ運転終了             |
| 1995年 4月 | 北総・公団線千葉ニュータウン中央～印西牧の原間開通(現北総線、第二種鉄道事業)                          |
| 1999年10月 | 京成不動産株式会社(2003年 7月当社が吸収合併)が京成都市開発株式会社を吸収合併                       |
| 2000年 7月 | 北総・公団線印西牧の原～印旛日本医大間開通(現北総線、第二種鉄道事業)                              |
| 2002年 9月 | 千葉中央駅東口複合施設「ミラマーレ」開業   |
| 2004年 7月 | 千葉ニュータウン鉄道株式会社が都市基盤整備公団より鉄道施設(北総・公団線小室～印旛日本医大間)を取得(現北総線、第三種鉄道事業) |
| 2006年 3月 | 京成百貨店(水戸)新店舗移転開業   |
| 2019年 3月 | 京成タクシーホールディングス株式会社を設立し、千葉県・茨城県内のタクシー事業を再編                        |
| 2019年 3月 | 宿泊主体型ホテル 1号店(京成リッチモンドホテル東京門前仲町)開業                                |

### 3 【事業の内容】

当社グループは、当社、子会社78社及び関連会社9社により構成され、その営んでいる主要な事業内容及びセグメントとの関連は、次のとおりであります。

なお、次の部門は、「第5 経理の状況 1 連結財務諸表等(セグメント情報等)」に掲げるセグメント情報の区分と同一であります。

#### (1) 運輸部門(53社)

| 事業の内容  | 会社名   |
|--------|---|
| 鉄道事業   | 当社、北総鉄道(株)、千葉ニュータウン鉄道(株)、新京成電鉄(株)   |
| バス事業   | 関東鉄道(株)、小湊鉄道(株)、成田空港高速鉄道(株)<br>京成バス(株)、千葉交通(株)、千葉中央バス(株)、千葉海浜交通(株)<br>千葉内陸バス(株)、成田空港交通(株)、ちばフラワーバス(株)<br>ちばレインボーバス(株)、東京ベイシティ交通(株)、ちばグリーンバス(株)<br>京成タウンバス(株)、ちばシティバス(株)、京成トランジットバス(株)   |
| タクシー事業 | 京成バスシステム(株)、関東鉄道(株)、小湊鉄道(株)、東京空港交通(株)<br>帝都自動車交通(株)、帝都自動車交通(株)(新橋・竹橋)<br>帝都自動車交通(株)(渋谷・銀座)、帝都自動車交通(株)(神田・日本橋)<br>帝都自動車交通(株)(墨田)、帝都自動車交通(株)(日暮里)<br>帝都自動車交通(株)(大森)、帝都自動車交通(株)(板橋)、帝都葛飾交通(株)<br>市川交通自動車(株)、成田タクシー(株)、(株)千葉交タクシー、船橋交通(株)<br>合同タクシー(株)、京成タクシー千葉(株)、かずさ交通(株)、三田下総交通(株)<br>京成タクシー習志野(株)<br>その他13社 |

#### (2) 流通部門(6社)

| 事業の内容       | 会社名                   |
|-------------|-----------------------|
| ストア業        | (株)京成ストア、(株)コミュニティー京成 |
| 百貨店業        | (株)水戸京成百貨店            |
| 園芸植物卸売業     | 京成バラ園芸(株)             |
| ショッピングセンター業 | (株)ユアエルム京成<br>その他1社   |

#### (3) 不動産部門(7社)

| 事業の内容  | 会社名                                  |
|--------|--------------------------------------|
| 不動産販売業 | 当社、京成不動産(株)、新京成電鉄(株)、関東鉄道(株)、小湊鉄道(株) |
| 不動産賃貸業 | 当社、京葉商事(株)、新京成電鉄(株)、関東鉄道(株)、小湊鉄道(株)  |
| 不動産管理業 | 京成ビルサービス(株)                          |

(4) レジャー・サービス部門(14社)

| 事業の内容    | 会社名   |
|----------|---|
| テーマパーク事業 | (株)オリエンタルランド                                      |
| 飲食・映画業   | (株)イウォレ京成、筑波観光鉄道(株)                               |
| ホテル業     | 京成ホテル(株)、(株)千葉京成ホテル、<br>ケイ・アンド・アール・ホテルデベロップメント(株) |
| 広告代理業    | (株)京成エージェンシー                                      |
| 旅行業      | 京成トラベルサービス(株)                                     |
| 清掃業      | 京成ハーモニー(株)<br>その他5社                               |

(5) 建設部門(2社)

| 事業の内容 | 会社名               |
|-------|-------------------|
| 建設業   | 京成建設(株)、京成電設工業(株) |

(6) その他の部門(10社)

| 事業の内容      | 会社名                   |
|------------|-----------------------|
| 鉄道車両整備業    | 京成車両工業(株)             |
| 自動車車体製造業   | 京成自動車工業(株)            |
| 保険代理業      | (株)京成保険コンサルティング       |
| 自動車教習所業    | (株)京成ドライビングスクール       |
| 太陽光発電業     | 京成ソーラーパワー(株)          |
| 燃料販売・車体整備業 | 京成オートサービス(株)<br>その他4社 |

- (注) 1 は連結子会社、 は持分法適用関連会社であります。  
 2 上記部門の会社数には、当社及び関連会社3社が各々2部門に重複して含まれております。  
 3 当社は、北総鉄道(株)と相互直通運転をしております。  
 4 当社は、京成トラベルサービス(株)に対して乗車券の発売業務を委託しております。  
 5 当社は、京成建設(株)、京成電設工業(株)及び京成車両工業(株)に対して工事を発注しております。





4 【関係会社の状況】

| 名称                    | 住所      | 資本金<br>又は<br>出資金<br>(百万円) | 主要な事業<br>の内容         | 議決権の<br>所有割合<br>(%) | 関係内容       |      |            |            |
|-----------------------|---------|---------------------------|----------------------|---------------------|------------|------|------------|------------|
|                       |         |                           |                      |                     | 役員の<br>兼任等 | 資金援助 | 営業上<br>の取引 | 設備の<br>賃貸借 |
| (連結子会社)<br>北総鉄道株<br>1 | 千葉県鎌ヶ谷市 | 24,900                    | 鉄道事業                 | 50.8                | あり         | あり   | あり         | あり         |
| 千葉ニュータウン鉄道株           | 千葉県市川市  | 10                        | 〃                    | 100.0               | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| 京成バス株                 | 千葉県市川市  | 2,005                     | バス事業                 | 100.0               | 〃          | なし   | 〃          | 〃          |
| 千葉交通株                 | 千葉県成田市  | 60                        | 〃                    | 100.0               | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| 千葉中央バス株               | 千葉市緑区   | 100                       | 〃                    | 100.0               | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| 千葉海浜交通株               | 千葉市美浜区  | 15                        | 〃                    | 100.0               | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| 千葉内陸バス株               | 千葉県四街道市 | 10                        | 〃                    | 100.0               | 〃          | 〃    | 〃          | なし         |
| 成田空港交通株               | 千葉県成田市  | 60                        | 〃                    | 83.3<br>[16.7]      | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| ちばフラワーバス株             | 千葉県山武市  | 80                        | 〃                    | 100.0<br>[20.0]     | 〃          | 〃    | 〃          | あり         |
| ちばレインボーバス株            | 千葉県印西市  | 90                        | 〃                    | 100.0<br>[20.0]     | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| 東京ベイシティ交通株            | 千葉県浦安市  | 30                        | 〃                    | 65.3                | 〃          | 〃    | なし         | なし         |
| ちばグリーンバス株             | 千葉県佐倉市  | 60                        | 〃                    | 100.0<br>[20.0]     | 〃          | 〃    | あり         | あり         |
| 京成タウンバス株              | 東京都葛飾区  | 60                        | 〃                    | 100.0<br>[20.0]     | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| ちばシティバス株              | 千葉市美浜区  | 30                        | 〃                    | 100.0<br>[20.0]     | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| 京成トランジットバス株           | 千葉県市川市  | 90                        | 〃                    | 66.7<br>[13.3]      | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| 京成バスシステム株             | 千葉県船橋市  | 30                        | 〃                    | 100.0<br>[20.0]     | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| 帝都自動車交通株              | 東京都中央区  | 500                       | ハイヤー事業統轄<br>タクシー事業統轄 | 100.0               | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| 帝都自動車交通株<br>(新橋・竹橋)   | 東京都中央区  | 50                        | ハイヤー事業               | 100.0<br>[100.0]    | 〃          | 〃    | なし         | なし         |
| 帝都自動車交通株<br>(渋谷・銀座)   | 東京都中央区  | 50                        | 〃                    | 100.0<br>[100.0]    | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| 帝都自動車交通株<br>(神田・日本橋)  | 東京都中央区  | 50                        | 〃                    | 100.0<br>[100.0]    | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| 帝都自動車交通株<br>(墨田)      | 東京都中央区  | 95                        | タクシー事業               | 100.0<br>[100.0]    | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| 帝都自動車交通株<br>(日暮里)     | 東京都中央区  | 50                        | 〃                    | 100.0<br>[100.0]    | 〃          | 〃    | あり         | あり         |
| 帝都自動車交通株<br>(大森)      | 東京都中央区  | 95                        | 〃                    | 100.0<br>[100.0]    | 〃          | 〃    | なし         | なし         |
| 帝都自動車交通株<br>(板橋)      | 東京都中央区  | 50                        | 〃                    | 100.0<br>[100.0]    | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| 帝都葛飾交通株               | 東京都中央区  | 50                        | 〃                    | 100.0<br>[100.0]    | 〃          | 〃    | あり         | あり         |
| 市川交通自動車株<br>4         | 千葉県市川市  | 12                        | 〃                    | 100.0               | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| 株千葉交タクシー<br>5         | 千葉県成田市  | 10                        | 〃                    | 100.0               | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| 成田タクシー株<br>5          | 千葉県成田市  | 10                        | 〃                    | 100.0               | 〃          | 〃    | 〃          | なし         |
| 船橋交通株<br>6            | 千葉県船橋市  | 40                        | 〃                    | 100.0               | 〃          | 〃    | あり         | あり         |
| 三田下総交通株<br>6          | 千葉県船橋市  | 10                        | 〃                    | 100.0               | 〃          | 〃    | なし         | なし         |
| 合同タクシー株<br>7          | 千葉県松戸市  | 28                        | 〃                    | 100.0               | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| 京成タクシー千葉株             | 千葉市中央区  | 16                        | 〃                    | 100.0               | 〃          | 〃    | あり         | あり         |
| かずさ交通株<br>8           | 千葉県木更津市 | 15                        | 〃                    | 100.0               | 〃          | あり   | なし         | なし         |
| 京成タクシー習志野株            | 千葉県船橋市  | 10                        | 〃                    | 100.0               | 〃          | なし   | あり         | あり         |

| 名称                          | 住所             | 資本金<br>又は<br>出資金<br>(百万円) | 主要な事業<br>の内容                | 議決権の<br>所有割合<br>(%) | 関係内容       |      |            |            |
|-----------------------------|----------------|---------------------------|-----------------------------|---------------------|------------|------|------------|------------|
|                             |                |                           |                             |                     | 役員の<br>兼任等 | 資金援助 | 営業上<br>の取引 | 設備の<br>賃貸借 |
| (連結子会社)<br>㈱京成ストア<br>3      | 千葉県市川市         | 475                       | ストア業                        | 100.0               | あり         | なし   | あり         | あり         |
| ㈱コミュニティー京成                  | 千葉県市川市         | 15                        | 〃                           | 100.0               | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| ㈱水戸京成百貨店                    | 茨城県水戸市         | 200                       | 百貨店業                        | 76.0                | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| 京成バラ園芸㈱                     | 東京都墨田区         | 40                        | 園芸植物卸売業                     | 100.0               | 〃          | 〃    | 〃          | なし         |
| ㈱ユアエルム京成                    | 千葉県八千代市        | 45                        | ショッピング<br>センター業             | 100.0               | 〃          | 〃    | 〃          | あり         |
| 京成不動産㈱                      | 東京都葛飾区         | 45                        | 不動産販売業                      | 100.0               | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| 京成ビルサービス㈱                   | 千葉県市川市         | 50                        | 不動産管理業                      | 100.0               | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| 京葉商事㈱                       | 東京都葛飾区         | 1                         | 不動産賃貸業                      | 100.0<br>[100.0]    | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| ㈱イウォレ京成                     | 千葉市中央区         | 30                        | 飲食・映画業                      | 100.0               | 〃          | あり   | 〃          | 〃          |
| 筑波観光鉄道㈱                     | 茨城県つくば市        | 47                        | 鉄道・索道業                      | 73.5                | 〃          | なし   | なし         | なし         |
| 京成ホテル㈱                      | 茨城県水戸市         | 10                        | ホテル業                        | 100.0               | 〃          | あり   | あり         | あり         |
| ㈱千葉京成ホテル                    | 千葉市中央区         | 10                        | 〃                           | 100.0               | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| ケイ・アンド・アール・<br>ホテルデベロップメント㈱ | 千葉県市川市         | 100                       | 〃                           | 51.0                | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| ㈱京成エージェンシー                  | 千葉県市川市         | 50                        | 広告代理業                       | 100.0               | 〃          | なし   | 〃          | 〃          |
| 京成トラベルサービス㈱                 | 千葉県市川市         | 70                        | 旅行業                         | 100.0               | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| 京成ハーモニー㈱                    | 千葉県印旛郡<br>酒々井町 | 10                        | 清掃業                         | 100.0               | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| 京成建設㈱                       | 千葉県船橋市         | 450                       | 建設業                         | 69.1                | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| 京成電設工業㈱                     | 千葉県八千代市        | 35                        | 〃                           | 81.4                | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| 京成車両工業㈱                     | 千葉県印旛郡<br>酒々井町 | 20                        | 鉄道車両整備業                     | 60.0                | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| 京成自動車工業㈱                    | 千葉県市川市         | 20                        | 自動車車体製造業                    | 100.0               | 〃          | 〃    | なし         | なし         |
| ㈱京成保険コンサルティング               | 東京都墨田区         | 50                        | 保険代理業                       | 100.0               | 〃          | 〃    | あり         | あり         |
| ㈱京成ドライビング<br>スクール           | 東京都葛飾区         | 50                        | 自動車教習所業                     | 100.0               | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| 京成ソーラーパワー㈱                  | 千葉県市川市         | 10                        | 太陽光発電業                      | 100.0               | 〃          | あり   | 〃          | 〃          |
| 京成オートサービス㈱                  | 千葉市中央区         | 45                        | 燃料販売・<br>車体整備業              | 100.0<br>[30.0]     | 〃          | 〃    | 〃          | なし         |
| (持分法適用関連会社)<br>新京成電鉄㈱<br>2  | 千葉県鎌ヶ谷市        | 5,935                     | 鉄道事業<br>不動産販売業<br>不動産賃貸業    | 41.0<br>[1.8]       | 〃          | なし   | 〃          | あり         |
| 関東鉄道㈱<br>2                  | 茨城県土浦市         | 510                       | 鉄道・バス事業<br>不動産販売業<br>不動産賃貸業 | 30.7<br>[0.0]       | 〃          | 〃    | 〃          | なし         |
| 小湊鉄道㈱                       | 千葉県市原市         | 202                       | 〃                           | 19.3                | 〃          | 〃    | なし         | 〃          |
| 成田空港高速鉄道㈱                   | 東京都中央区         | 9,100                     | 鉄道事業                        | 33.0                | 〃          | 〃    | あり         | あり         |
| 東京空港交通㈱                     | 東京都中央区         | 1,440                     | バス事業                        | 27.3                | 〃          | 〃    | 〃          | 〃          |
| ㈱オリエンタルランド<br>2             | 千葉県浦安市         | 63,201                    | テーマパーク事業                    | 22.1<br>[0.1]       | 〃          | 〃    | 〃          | なし         |

(注) 議決権の所有割合の [ ] 内は、間接所有割合で内数であります。

- 1 特定子会社に該当しております。
- 2 有価証券報告書を提出しております。
- 3 ㈱京成ストアについては、連結売上高に占める売上高(連結会社相互間の内部売上高を除く)の割合が10%を超えております。

主要な損益情報等は次のとおりであります。

| 会社名    | 売上高<br>(百万円) | 経常利益<br>(百万円) | 当期純利益<br>(百万円) | 純資産額<br>(百万円) | 総資産額<br>(百万円) |
|--------|--------------|---------------|----------------|---------------|---------------|
| ㈱京成ストア | 26,506       | 162           | 86             | 476           | 5,988         |

- 4 2019年3月1日付で市川交通自動車㈱は、京成タクシー市川㈱に商号を変更しております。
- 5 2019年3月1日付で㈱千葉交タクシーは、成田タクシー㈱を吸収合併し、京成タクシー成田㈱に商号を変更しております。
- 6 2019年3月1日付で船橋交通㈱は、三田下総交通㈱を吸収合併し、京成タクシー船橋㈱に商号を変更しております。
- 7 2019年6月1日付で合同タクシー㈱は、京成タクシー松戸東㈱に商号を変更しております。
- 8 2019年3月1日付でかずさ交通㈱は、京成タクシーかずさ㈱に商号を変更しております。

## 5 【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

2019年3月31日現在

| セグメントの名称 | 運輸業                | 流通業            | 不動産業           | レジャー・サービス業     | 建設業           | その他の事業        | 全社(共通)       | 計                  |
|----------|--------------------|----------------|----------------|----------------|---------------|---------------|--------------|--------------------|
| 従業員数(人)  | 7,335<br>[ 1,998 ] | 635<br>[ 749 ] | 187<br>[ 230 ] | 354<br>[ 248 ] | 351<br>[ 29 ] | 277<br>[ 48 ] | 101<br>[ 2 ] | 9,240<br>[ 3,304 ] |

- (注) 1 従業員数は就業人員であり、[ ] 内には、臨時従業員数の年間平均人員を外数で記載しております。  
2 全社(共通)の従業員数は、提出会社の各事業関連に係る人員であります。

### (2) 提出会社の状況

2019年3月31日現在

| 従業員数(人)          |             |              |                  | 平均年齢(歳) | 平均勤続年数(年) | 平均年間給与(円) |
|------------------|-------------|--------------|------------------|---------|-----------|-----------|
| 運輸業              | 不動産業        | 全社(共通)       | 計                |         |           |           |
| 1,540<br>[ 224 ] | 24<br>[ 0 ] | 101<br>[ 2 ] | 1,665<br>[ 226 ] | 42.4    | 19.3      | 7,442,240 |

- (注) 1 従業員数は就業人員であり、[ ] 内には、臨時従業員数の年間平均人員を外数で記載しております。  
2 平均年間給与は、賞与及び基準外賃金を含んでおります。

### (3) 労働組合の状況

労働組合との間に特記すべき事項はありません。

なお、提出会社には京成電鉄労働組合があり、2019年3月31日現在、組合員数は1,502名で、日本私鉄労働組合総連合会(私鉄総連)に加盟しております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【経営方針、経営環境及び対処すべき課題等】

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度末現在において、当社グループが判断したものであります。

#### (1) 会社の経営の基本方針

当社グループは『お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを、安全・快適に提供し、健全な事業成長のもと、社会の発展に貢献する』ことを、「グループ経営理念」としております。また、「グループ行動指針」として、『安全、接客、成長、企業倫理、環境』の5つの項目を定め、グループ各社の社員に周知しております。

また、長期経営ビジョンとして「グループ事業の中核である交通運輸事業の競争力・収益力をさらに強化すると共に、千葉県北西部（特に京成線・新京成線・北総線沿線）並びに東京都東部を地盤として地域に密着した堅実な総合生活産業を展開し、地域経済を代表する企業グループの地位を拡充する。」と定め、当社グループが一体となって競争力・総合力の強化に努めております。

#### (2) 目標とする経営指標

営業収益、営業利益、営業利益率、経常利益の向上及び有利子負債の削減に努めております。なお、長期経営計画「Evolution Plan (= Eプラン)」(2010~2021年度)では、2022年3月期の数値目標として、営業収益2,800億円以上、営業利益率10%以上、有利子負債残高3,500億円以下、EBITDA倍率(有利子負債残高÷(営業利益+減価償却費))7倍以下を掲げております。また、中期経営計画「E4プラン」(2019~2021年度)では、2022年3月期の数値目標として、営業収益2,900億円以上、営業利益330億円以上、営業利益率11.3%以上、有利子負債残高上限3,200億円、EBITDA倍率上限5.1倍を掲げております。

#### (3) 中長期的な会社の経営戦略

当社グループでは、長期経営計画「Eプラン」の最終段階となる中期経営計画「E4プラン」(2019~2021年度)を推進しております。「E4プラン」は、「グループ経営強化による収益拡大の確実な実現」、「安全かつ安心なサービスの提供」、「社会的要請に対応した経営推進体制の確立」の3点を基本方針としております。これに沿って、「(1) 地域社会との共生による京成グループのプレゼンス強化」、「(2) グループ経営体制の充実並びにコーポレート・ガバナンスの強化」、「(3) インバウンド市場の深耕」、「(4) 既存事業の強化による収益拡大」、「(5) 安全・安心の確保並びにサービス品質の向上」、「(6) 新たな成長ビジョンの確立」を基本戦略に据え、事業を進めております。

なお、当計画は2019年4月26日に東京証券取引所に適時開示しております。

#### (4) 対処すべき課題

当社グループを取り巻く事業環境は、少子高齢化、国際情勢等の影響により、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。当社グループは、2019年度から新たにスタートさせております中期経営計画「E4プラン」(2019年度~2021年度)を着実に推進し、事業の中核である運輸業の競争力・収益力をさらに強化するとともに、沿線に密着した堅実な総合生活産業を展開し、地域経済を代表する企業グループの地位を拡充してまいります。また、「E4プラン」は、2010年度より推進している長期経営計画「Evolution Plan (Eプラン)」(2010年度~2021年度)の最終段階であり、その先の「ポストEプラン」に向け、先を見据えた持続的な成長を目指し、新たな成長ビジョンを確立してまいります。

運輸業では、さらなる安全性・信頼性向上に向けた施策を推進するとともに、お客様ニーズに対応した満足度の高いサービスの提供を追求してまいります。また、増加が見込まれるインバウンド需要の取り込み強化と受入体制の整備に取り組んでまいります。鉄道事業においては、成田スカイアクセスの利用増に向けた営業強化に加え、沿線観光資源の活用等による沿線内外からの旅客誘致に取り組んでまいります。バス・タクシー事業においては、都心と臨海地域とを結ぶ東京BRT(バス高速輸送システム)事業の推進や「東京シャトル」増発に向けた都内拠点の開拓に取り組むほか、乗務員の確保を前提とした営業力の強化を図ってまいります。

流通業では、コンビニエンスストア業における新規出店並びにスーパーマーケット業における既存店の収益力向上を図ってまいります。

不動産業では、不動産賃貸業において、収益性の高い賃貸資産の開発・取得及び保有資産の積極的なバリューアップを推進してまいります。また、不動産販売業における新規事業用地取得並びに販売力の強化に努めてまいります。

レジャー・サービス業では、ホテル業において宿泊主体型ホテルの新規出店を進めるほか、旅行業において訪日外国人を含む空港利用者を対象とした商品の拡充を図るなど、収益力の強化を図ってまいります。

建設業では、競争力の強化と幅広い受注戦略の展開による新規顧客の獲得により、収益の拡大を目指してまいります。

当社グループは、グループ経営理念に基づき、「安全・安心」と、お客様に喜ばれる商品・サービスを提供し、沿線を中心とする地域の発展に寄与してまいります。また、コンプライアンス・リスク管理体制を充実させ、内部統制システムの強化に努めるとともに、常に自然環境との調和に配慮するなど、企業の社会的責任の遂行に取り組んでまいります。さらに、お客様第一主義を徹底し、「BMK（ベストマナー向上）推進運動」を浸透させ、選ばれる京成グループを構築してまいります。

なお、当社の財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針については以下のとおりであります。

#### （会社の支配に関する基本方針）

##### （１）当社の財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針

###### 当社グループの基本的な事業運営の考え方

当社グループは、鉄道事業を中心とした運輸業という極めて公共性の高い社会的インフラを提供する事業を基幹（以下「コア事業」といいます。）としており、それに伴う社会的責任を負っております。

このような社会的責任は、当社グループの事業においては、利用者の安全と利便性を確保しつつ安定的な輸送サービスを提供することによって全うすることができます。そして、そのためには、安全対策、線路整備、施設拡充、沿線開発等において、様々な事業環境の変化を見据えた中長期的視点に立った経営を行うことが必要不可欠であると考えております。

また、当社グループの事業においては、顧客、株主、取引先、従業員にとどまらず、前記の社会的責任をもたらすものとして、地域社会との調和、環境への配慮等、事業を進めるにあたり広範囲のステークホルダーの利益に最大限配慮することも重要であります。

このように、当社グループの事業は、中長期的な視点に立ち、広範囲のステークホルダーの存在に配慮した事業展開を行ってきた一つの帰結として、鉄道事業を中核としつつ、バス事業、タクシー事業を運営する運輸業や流通業、不動産業、レジャー・サービス業、建設業等幅広く事業展開しており、当社グループの企業価値は、コア事業である運輸業とこれらの関連事業との有機的な結合によって確保・向上されるべきものと考えております。

#### 基本方針の内容

当社は、当社の財務及び事業の方針の決定を支配する者は、前記の考え方を十分に理解し、企業価値ひいては株主の皆様共同の利益を中長期的に最大化させる者でなければならないと考えております。

当社は、上場会社の株主は株式の市場での自由な取引を通じて決まるものであり、株式会社の支配権の移転を伴うような株式等の大規模な買付行為であっても、これを受け容れて大規模買付行為に応じるか否かの判断は、最終的には個々の株主の皆様の判断に委ねられるべきものと考えております。

しかし、当社株式の大量取得行為や買付提案の中には、「企業価値ひいては株主共同の利益に対する明白な侵害をもたらすおそれのあるもの」、「株主の皆様は株式の売却を事実上強要するおそれがあるもの」や「買付に応じるか否かについて判断するための十分な情報や時間を提供しないもの」等も想定されます。

当社としては、このような大規模な買付に対しては、株主の皆様のために適切な措置を講じることにより、当社の企業価値・株主共同の利益を確保する必要があると考えております。

##### （２）基本方針の実現に資する特別な取組み

###### グループ経営理念

当社グループは、前記の考え方をもとに、日々の事業活動を通じて、企業としての社会的責任を果たし、健全な事業成長を遂げることにより、社会の発展に貢献することを目指しております。そのため、「京成グループは、お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを、安全・快適に提供し、健全な事業成長のもと、社会の発展に貢献します。」という「グループ経営理念」を策定するとともに、この理念を実現するため、安全・接客・成長・企業倫理・環境の５項目からなる「グループ行動指針」を定め、企業価値の確保・向上に努めております。

###### グループ経営計画

当社グループでは、前記のグループ経営理念のもと、グループ全体の経営の方針と目標を明確にするため、３年毎にグループ中期経営計画を作成しております。この中で、グループシナジーを最大限発揮する体制の強化を図り、

当社グループ全体の企業価値の最大化を目指すことを基本方針としております。

2019年度から2021年度にわたる「E4プラン」においては、「グループ経営強化による収益拡大の確実な実現」、「安全かつ安心なサービスの提供」及び「社会的要請に対応した経営推進体制の確立」の基本方針のもと、「地域社会との共生による京成グループのプレゼンス強化」、「グループ経営体制の充実並びにコーポレート・ガバナンスの強化」、「インバウンド市場の深耕」、「既存事業の強化による収益拡大」、「安全・安心の確保並びにサービス品質の向上」及び「新たな成長ビジョンの確立」を基本戦略としてグループ全体の企業価値の最大化を追求いたします。

#### 利益還元の方法

当社グループは鉄道事業を中心とする公共性の高い業種であるため、当社としては、今後の事業展開と経営基盤の強化安定に必要な内部留保資金の確保や業績等を勘案しながら、安定的かつ継続的に利益還元していくことを基本方針としております。

#### コーポレート・ガバナンスの強化に向けた取組み

当社は、各ステークホルダーとの良好な関係を築くとともに、内部統治構造の機能及び制度を一層強化・改善・整備しながら、コーポレート・ガバナンスの充実を図っております。具体的には、業務の執行を迅速かつ効果的に行うため、内部統制機能の充実、職務権限規則等の運用を行うことにより、その実効性を図るとともに、コンプライアンスを含むリスク管理、経営の透明性確保や公正な情報開示等の取組みを行っております。今後とも当社のガバナンス体制のより一層の強化を進めてまいります。

当社は監査役制度を採用しており、取締役会、監査役会及び会計監査人を設置しております。当社の取締役会は社外取締役3名を含む12名で構成しております。なお、取締役の任期を1年とすることにより、業務執行の監視体制の強化を図っております。監査役会は5名で構成しており、4名は社外監査役となっております。監査役は取締役会のほか重要な会議に出席し、取締役の職務執行状況を監査するとともに、内部監査部及び会計監査人と緊密な連携を保ち、情報交換を行い、相互の連携を深め、監査の有効性・効率性を高めております。

#### (3) 基本方針に照らして不適切な者によって当社の財務及び事業の方針の決定が支配されることを防止するための取組み

当社は、大規模買付行為を行おうとする者に対しては、当社の企業価値ひいては株主の皆様共同の利益を確保するために、株主の皆様が適切に判断するための必要かつ十分な情報提供を求め、取締役会の意見等を開示し、株主の皆様が検討するための時間の確保に努める等、金融商品取引法、会社法その他関係法令の範囲内において、適切な措置を講じてまいります。

#### (4) 前記の取組みが基本方針に沿い、当社グループの企業価値及び株主共同の利益に合致し、当社の会社役員の地位の維持を目的とするものではないことについて

前記(2)、(3)に記載した企業価値の向上のための取組みは、当社グループの企業価値及び株主共同の利益を持続的に確保・向上させるための具体的方策として策定されたものであります。したがって、これらの取組みは、基本方針に沿い、当社の株主共同の利益を損なうものではなく、かつ、当社の会社役員の地位の維持を目的とするものではありません。

## 2 【事業等のリスク】

有価証券報告書に記載した事業の概況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項には、以下のようなものがあります。なお、以下の将来に関する事項は、2019年4月に開催したコンプライアンス・リスク管理委員会における審議を経て判断したものであり、有価証券報告書提出日（2019年6月27日）時点において変更はありません。

### (1) 法的規制等

当社グループは、鉄道事業、バス事業等の運輸業を主たる事業としております。これらの事業を営む上で、施設等の新設や保全、運賃・料金の設定等には鉄道事業法、道路運送法等の法的な規制を受けております。そのほか当社グループの各事業は所管法令による規制を受けており、法的規制の新設又は適用基準の重大な変更がなされた場合、企業活動の制限又は法令上の規制に対応するための経営コストの増加等により、当社グループの経営成績が影響を受ける可能性があります。

当社グループが提供する商品・サービスの品質管理には万全を期しておりますが、施工販売物件における瑕疵、取扱商品に重大な商品事故が発生した場合、又は運輸業において重大な有責事故が発生した場合には、当社グループの経営成績が影響を受ける可能性があります。

当社グループでは、内部統制システムの維持、向上に取り組んでおりますが、内部統制の重大な不備等により不適切な財務報告等が発生した場合、また、反社会的勢力に対する不適切な対応等が行われた場合には、社会的信用が失墜する可能性があります。

### (2) 少子・高齢化

わが国は少子・高齢化が進展しており、生産年齢人口が将来にわたり減少することが推測されております。当社グループの事業エリアは全国平均からは遅行するものの、人口の減少や構造の変化等社会情勢及び経済情勢の変化により、当社グループが提供する商品・サービスの需要が低下した場合、労働力の確保並びに人材の育成が困難となった場合には、収益の減少及び経営コストの増加により、当社グループの経営成績が影響を受ける可能性があります。

### (3) 国際情勢等

当社グループの事業エリア内には成田国際空港があり、運輸業における空港利用者に係る営業収益の依存度は比較的高い状況にあります。このため、重大なテロ行為や国際紛争、感染症流行等が発生した場合、空港利用客の大幅減少により収益が減少する可能性があるほか、市場や為替相場の動向による原油及び原材料価格が高騰した場合、電気料金及び商品・原材料調達コストの増加等により、当社グループの経営成績が影響を受ける可能性があります。

### (4) 自然災害等

当社グループは、運輸業を中心に、東京都東部、千葉県北西部を中心とした一定の地域に事業を展開しております。同地域において大地震・台風及び大雪等の自然災害が発生した場合、あるいは当社グループの施設を対象としたテロ行為、様々な事故や感染症、電力等の供給制限が発生した場合、顧客や従業員の罹災、固定資産や棚卸資産へ被害が及ぶこともあり、また、消費意欲の低下による収益の減少や復旧改善コストの増加により、当社グループの経営成績及び財政状態が影響を受ける可能性があります。

### (5) システム障害

当社グループでは、決算業務処理や列車運行、座席予約システム等各事業において情報システムを使用しております。これらのハードウェア、ソフトウェア又はネットワークに、自然災害や人為的ミス、妨害行為等により重大な障害が発生した場合、業務に支障を来し開示情報等の遅延による社会的信用の失墜の恐れがあるほか、復旧並びに改善に長期を要する場合、収益の減少や復旧改善コストの増加により、当社グループの経営成績が影響を受ける可能性があります。

(6) 金利変動

当連結会計年度末の当社グループの借入金、社債、鉄道・運輸機構長期未払金及びリース債務の合計は3,200億円であり、今後とも有利子負債の抑制に努めていく方針であります。当社グループとしては可能な限り有利子負債の固定金利化を進め、金利の変動リスクの抑制に努めておりますが、今後、金利が大幅に変動した場合、当社グループの経営成績が影響を受ける可能性があります。

(7) 情報漏洩

当社グループでは、各事業において個人情報等業務上の機密情報を保有しております。「情報セキュリティ方針」や「個人情報保護方針」、「内部者取引防止規則」等を制定し、役員や従業員への啓蒙活動、マニュアル類の整備等機密情報の管理体制の整備・強化に努めておりますが、不測の事故等により機密情報が外部へ漏洩するような事態が発生した場合、損害賠償請求や社会的信用の失墜等により、当社グループの経営成績が影響を受ける可能性があります。

(8) その他

羽田空港の更なる機能強化により、相対的に成田国際空港の旅客需要が低下した場合、当社グループの経営成績が影響を受ける可能性があります。不適切なお客様対応を行った場合、又は情報開示を適時適正に実施しなかった場合、当社グループの社会的信用が失墜する恐れがあります。重要な提携先や取引先において不測の事故や事件が発生し、又は経営が悪化した場合、当社グループの事業に支障を来す恐れがあります。関係会社の業績が悪化した場合、当社グループの経営成績が影響を受ける可能性があります。

なお、上記は当社グループの事業等について予想される主なリスクを具体的に例示したものであり、当社グループの全てのリスクを網羅したものではありません。



### 3 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績等の状況の概要

当連結会計年度における当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フロー（以下、「経営成績等」という。）の状況の概要は次のとおりであります。

##### 経営成績の状況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が続く中、個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかに回復いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、全事業にわたり積極的な営業活動を展開するとともに、より一層の経費削減に取り組むなど、業績の向上に努めたほか、「BMK（ベストマナー向上）推進運動」にも引き続き取り組み、お客様サービスの向上を図ってまいりました。

その結果、営業収益は2,615億5千3百万円（前期比2.6%増）となり、営業利益は316億8百万円（前期比5.1%増）となりました。経常利益は507億2千万円（前期比7.6%増）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は386億4千2百万円（前期比11.0%増）となりました。

##### (運輸業)

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、高架橋の耐震補強工事等を実施したほか、前年度の日暮里駅下りホームに続き、日暮里駅上りホーム及び空港第2ビル駅にホームドアを設置いたしました。

大規模工事については、葛飾区内の押上線連続立体化工事における仮下り線工事を推進したほか、お客様のさらなる増加が見込まれる京成上野駅をリニューアルいたしました。

営業面では、12月にダイヤ改正を実施いたしました。また、「スカイライナーご利用3,000万人達成記念式典」を開催したほか、一層の利便性向上と利用促進に向け、列車走行位置情報が確認できる「京成アプリ」の配信やスカイライナー券の販路拡大等を実施いたしました。さらに、訪日外国人の増加を背景に、台湾の鉄道会社と連携し共同企画乗車券を発売したほか、「Skyliner e-ticket」の決済手段に中国で最も普及しているモバイル決済を導入するなど、インバウンド施策を推進いたしました。このほか、鉄道施設として初めて「東京都選定歴史的建造物」に選定された「旧博物館動物園駅」においてアートイベントを開催するとともに、四ツ木駅においてアニメ「キャプテン翼」の特別装飾を実施するなど、沿線の魅力向上と旅客誘致に努めました。

バス事業では、一般乗合バス路線において、千葉市内等で新規路線の運行を開始したほか、利便性向上のため既存路線の増便や系統新設等を実施いたしました。高速バス路線においては、「東京シャトル」のご利用者数が700万人を達成した記念としてキャンペーンを実施いたしました。また、成田空港発着の一部路線において運行経路の変更による所要時間の短縮や増便等を行ったほか、新松戸駅・松戸駅～羽田空港間の路線を新設するなど、お客様の利便性向上と需要の取り込みを図りました。

タクシー事業では、中間持株会社である京成タクシーホールディングス株式会社を設立し、千葉県・茨城県内のグループ会社を再編して各社の社名に「京成タクシー」を冠することで、運営体制の強化及び当社グループの認知度向上を図りました。

以上の結果、営業収益は1,540億4百万円（前期比3.4%増）となり、営業利益は224億4千8百万円（前期比9.3%増）となりました。

##### (業種別営業成績表)

| 業種別    | 当連結会計年度<br>(2018.4.1～2019.3.31) |        |
|--------|---------------------------------|--------|
|        | 営業収益(百万円)                       | 前期比(%) |
| 鉄道事業   | 90,246                          | 3.1    |
| バス事業   | 46,824                          | 3.3    |
| タクシー事業 | 24,908                          | 4.3    |
| 消去     | 7,975                           |        |
| 営業収益計  | 154,004                         | 3.4    |

提出会社の鉄道事業運輸成績表

| 種別     | 単位  | 当連結会計年度<br>(2018.4.1～2019.3.31) |         |
|--------|-----|---------------------------------|---------|
|        |     |                                 | 前期比(%)  |
| 営業日数   | 日   | 365                             | 0.0     |
| 営業キロ   | キロ  | 152.3                           | 0.0     |
| 客車走行キロ | 千キロ | 97,978                          | 0.1     |
| 旅客人員   | 定期  | 千人                              | 171,540 |
|        | 定期外 | "                               | 121,050 |
|        | 計   | "                               | 292,590 |
| 旅客運輸収入 | 定期  | 百万円                             | 21,464  |
|        | 定期外 | "                               | 44,099  |
|        | 計   | "                               | 65,563  |
| 運輸雑収   | "   | 3,855                           | 3.1     |
| 収入合計   | "   | 69,419                          | 3.7     |
| 一日平均収入 | "   | 190                             | 3.7     |
| 乗車効率   | %   | 35.2                            |         |

(注)乗車効率の算出方法は  $\frac{\text{延人キロ}}{\text{客車走行キロ} \times \text{平均定員}}$  による。

(流通業)

百貨店業では、創業110周年を記念した各種イベントを開催したほか、つくば駅前の商業施設内において「京成百貨店つくばショップ」をオープンするとともに、東京・銀座にある茨城県アンテナショップ「IBARAKI sense(イバラキセンス)」の運営を受託するなど、収益の拡大に努めました。

ストア業では、株式会社マツモトキヨシとフランチャイズ契約を締結し、花見川区幕張本郷にドラッグストアをオープンいたしました。また、京成曳舟駅構内等にコンビニエンスストアの新店舗をオープンするなど、増収に努めました。

以上の結果、営業収益は686億3千4百万円(前期比0.1%増)となりましたが、営業利益は2億4千7百万円(前期比62.7%減)となりました。

(業種別営業成績表)

| 業種別         | 当連結会計年度<br>(2018.4.1～2019.3.31) |        |
|-------------|---------------------------------|--------|
|             | 営業収益(百万円)                       | 前期比(%) |
| ストア業        | 37,214                          | 0.1    |
| 百貨店業        | 25,869                          | 1.0    |
| 園芸植物卸売業     | 1,746                           | 4.6    |
| ショッピングセンター業 | 4,217                           | 2.2    |
| 消去          | 412                             |        |
| 営業収益計       | 68,634                          | 0.1    |

(不動産業)

不動産販売業では、中高層住宅「サングランデ津田沼」の引き渡しを開始したほか、来年度に引き渡し予定の中高層住宅「サングランデ ザ・レジデンス千葉(イーストレジデンス)」を全戸完売いたしました。また、中高層住宅予定地として千葉市中央区等の土地を取得いたしました。

不動産賃貸業では、文京区白山及び台東区根岸の賃貸住宅等が稼働いたしました。また、トラック・バスの整備・営業拠点として稼働している千葉県・茨城県・埼玉県の土地・建物18物件や習志野市津田沼の賃貸住宅等を取得したほか、「千葉中央駅西口ビル」の建て替え工事に着手いたしました。

以上の結果、営業収益は224億6百万円(前期比10.8%増)となり、営業利益は67億2千7百万円(前期比1.1%増)となりました。

(業種別営業成績表)

| 業種別    | 当連結会計年度<br>(2018.4.1~2019.3.31) |        |
|--------|---------------------------------|--------|
|        | 営業収益(百万円)                       | 前期比(%) |
| 不動産販売業 | 6,759                           | 10.2   |
| 不動産賃貸業 | 12,671                          | 9.2    |
| 不動産管理業 | 5,391                           | 12.5   |
| 消去     | 2,415                           |        |
| 営業収益計  | 22,406                          | 10.8   |

(レジャー・サービス業)

映画業では、「京成ローザ」開館60周年記念として、特別試写会や舞台挨拶をはじめとする各種イベントを開催いたしました。

ホテル業では、宿泊主体型事業への参入第1号店となる「京成リッチモンドホテル東京門前仲町」が開業いたしました。

旅行業では、新しい商品の企画・催行により、営業力の強化を図りました。

しかしながら、営業収益は92億3千7百万円(前期比0.2%減)となり、営業利益は1億7百万円(前期比36.5%減)となりました。

(業種別営業成績表)

| 業種別    | 当連結会計年度<br>(2018.4.1~2019.3.31) |        |
|--------|---------------------------------|--------|
|        | 営業収益(百万円)                       | 前期比(%) |
| 飲食・映画業 | 2,447                           | 3.6    |
| ホテル業   | 2,688                           | 1.3    |
| 広告代理業  | 2,873                           | 7.1    |
| 旅行業    | 1,174                           | 7.3    |
| 清掃業    | 53                              | 14.1   |
| 消去     |                                 |        |
| 営業収益計  | 9,237                           | 0.2    |

(建設業)

建設業では、鉄道施設改良工事やビジネスホテルの新築工事等を行ったほか、当社グループ外からの受注拡大に努めました。

以上の結果、営業収益は242億6千3百万円（前期比9.0%増）となりましたが、営業利益は14億6千6百万円（前期比2.1%減）となりました。

（その他の事業）

その他の事業の営業収益は96億2百万円（前期比11.6%増）となり、営業利益は5億7千3百万円（前期比20.4%増）となりました。

（業種別営業成績表）

| 業種別        | 当連結会計年度<br>(2018.4.1～2019.3.31) |        |
|------------|---------------------------------|--------|
|            | 営業収益(百万円)                       | 前期比(%) |
| 鉄道車両整備業    | 4,261                           | 25.0   |
| 自動車車体製造業   | 1,957                           | 7.5    |
| 保険代理業      | 453                             | 0.8    |
| 自動車教習所業    | 700                             | 8.9    |
| 太陽光発電業     | 49                              | 0.3    |
| 燃料販売・車体整備業 | 2,180                           | 2.2    |
| 消去         |                                 |        |
| 営業収益計      | 9,602                           | 11.6   |

財政状態の状況

資産合計は、前期末比583億1千3百万円（7.3%）増の8,530億2千5百万円となりました。これは、不動産賃貸物件の取得により「建物及び構築物」「土地」が増加したこと、及び持分法適用会社株式の増加により「投資有価証券」が増加したことによるものです。

負債合計は、前期末比218億3千4百万円（5.1%）増の4,501億2千4百万円となりました。これは、借入金を返済した一方、社債を発行したことによるものです。

純資産合計は、前期末比364億7千8百万円（10.0%）増の4,029億1百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により「利益剰余金」が増加したことによるものです。

キャッシュ・フローの状況

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益505億6千3百万円に減価償却費等を調整した結果、458億5千1百万円の収入となり、前連結会計年度と比べ21億円の収入減となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出等により534億3千万円の支出となり、前連結会計年度と比べ264億7百万円の支出増となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出等があったものの、社債の発行による収入等により72億4千6百万円の収入となりました。

以上の結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ6億1百万円増加し、250億1千8百万円となりました。

#### 生産、受注及び販売の状況

当社グループ（当社及び連結子会社）の事業内容は、役務の提供を主たる事業としており、生産、受注及び販売の状況について、金額あるいは数量で示すことはしていません。

そのため、生産、受注及び販売の状況については、「経営成績の状況」におけるセグメントごとに業績に関連付けて示しております。

#### (2) 経営者の視点による経営成績等の状況に関する分析・検討内容

経営者の視点による当社グループの経営成績等の状況に関する認識及び分析・検討内容は次のとおりであります。

なお、以下の文中には将来に関する事項が含まれておりますが、当該事項は当連結会計年度末（2019年3月31日）時点において判断したものであります。

#### 重要な会計方針及び見積り

当社グループの連結財務諸表は、わが国において一般に公正妥当と認められている会計基準に基づき作成しております。その作成に際し経営者は、決算日における貸借対照表及び会計期間における損益計算書の金額並びに開示に影響を与える見積りを行う必要があります。これらの見積りについては、過去の実績、現在の状況並びに今後の見通しに応じて合理的に判断しておりますが、実際の結果は、見積り特有の不確実性があるため、異なる場合があります。

#### 当連結会計年度の経営成績等の状況に関する認識及び分析・検討内容

##### （経営成績の分析）

当社グループの当連結会計年度の経営成績は、営業収益は増収、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は増益となりました。

当連結会計年度の営業収益は2,615億5千3百万円で、前連結会計年度に比べ65億2千4百万円（2.6%）の増収となりました。これは、運輸業において鉄道事業の輸送人員の増加等により51億1千万円（3.4%）の増収となったこと、不動産業において新規賃貸物件の取得による賃貸収入の増加等により21億8千6百万円（10.8%）の増収となったこと、建設業において完成工事高の増加等により20億7百万円（9.0%）の増収となったことが主たる要因であります。

営業利益は316億8百万円で、前連結会計年度に比べ15億2千3百万円（5.1%）の増益となりました。これは、運輸業において19億1千4百万円（9.3%）の増益となったことが主たる要因であります。

経常利益は507億2千万円で、前連結会計年度に比べ35億7千5百万円（7.6%）の増益となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は386億4千2百万円で、前連結会計年度に比べ38億3千1百万円（11.0%）の増益となりました。

##### （資本の財源及び資金の流動性についての分析）

当連結会計年度のキャッシュ・フローの状況については、「（1）経営成績等の状況の概要」の「キャッシュ・フローの状況」に記載のとおりであり、営業活動により得たキャッシュ・フロー、長期借入れによる収入は設備投資に充当しました。

なお、当社グループは、今後グループのコア事業である運輸業に経営資源を集中的に投入し、安全の確保と将来の競争力強化を目指します。この投資に係る所要資金は、営業活動によって得られる資金を充てるほか、社債及び借入金等により調達する予定であります。全事業における収益力強化と事業選別の徹底等により、有利子負債の増加を抑制する所存であります。

(目標とする経営指標の状況)

当社グループでは、2010年度より、長期経営計画「Eプラン(2010~2021年度)」を推進しており、その第3ステップとなる中期経営計画「E3プラン」(2016~2018年度)では、成田空港旅客の増加や雇用環境の改善を受け、運輸業が好調に推移したほか、戦略投資枠を活用し収益賃貸物件の取得やM&Aを推進した結果、最終年度である2018年度の実績は、各数値目標を達成しました。

|                | Eプラン目標    | E3プラン目標   | E3プラン実績 |
|----------------|-----------|-----------|---------|
|                | 2021年度    | 2018年度    | 2018年度  |
| 営業収益           | 2,800億円以上 |           | 2,616億円 |
| 営業利益           |           | 280億円以上   | 316億円   |
| 営業利益率          | 10%以上     | 11%以上     | 12.1%   |
| 経常利益           |           | 440億円以上   | 507億円   |
| 有利子負債残高        | 3,500億円以下 | 上限3,250億円 | 3,200億円 |
| E B I T D A 倍率 | 7倍以下      | 上限6.1倍以下  | 5.6倍    |

(注) E B I T D A 倍率 = 有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

#### 4 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

#### 5 【研究開発活動】

該当事項はありません。

### 第3 【設備の状況】

#### 1 【設備投資等の概要】

当連結会計年度の設備投資については、運輸業、不動産業における投資金額の増加により、60,839百万円（前期比52.9%増）となりました。

運輸業では、鉄道事業における押上線（四ツ木・青砥駅間）連続立体化工事や車両新造、京成上野駅リニューアル工事、押上変電所設備更新、列車無線設備更新、バス事業における車両新造等を実施しました。

不動産業では、三菱ふそうトラック・バス㈱整備・営業拠点、習志野市賃貸住宅の取得及び京成リッチモンドホテル東京門前仲町の建築工事等を実施しました。

なお、設備投資の金額には、ソフトウェア等無形固定資産への投資額も含めて記載しております。

セグメント別の設備投資を示すと次のとおりであります。

|            | 当連結会計年度<br>(百万円) | 前期比<br>(%) |
|------------|------------------|------------|
| 運輸業        | 32,934           | 12.5       |
| 流通業        | 947              | 6.1        |
| 不動産業       | 26,821           | 190.2      |
| レジャー・サービス業 | 394              | 105.8      |
| 建設業        | 34               | 27.0       |
| その他の事業     | 213              | 408.6      |
| 計          | 61,344           | 54.1       |
| 消去又は全社     | 505              |            |
| 合計         | 60,839           | 52.9       |

## 2 【主要な設備の状況】

当社グループ(当社及び連結子会社)の2019年3月31日現在におけるセグメント毎の設備の概要、帳簿価額、従業員数等は以下のとおりであります。

### (1) セグメント内訳

| セグメントの名称       | 帳簿価額                 |                            |            |             |                |                |              |             | 従業員数<br>(人)        |
|----------------|----------------------|----------------------------|------------|-------------|----------------|----------------|--------------|-------------|--------------------|
|                | 建物及び<br>構築物<br>(百万円) | 機械装置<br>及び<br>運搬具<br>(百万円) | 土地         |             | リース資産<br>(百万円) | 建設仮勘定<br>(百万円) | その他<br>(百万円) | 合計<br>(百万円) |                    |
|                |                      |                            | 面積<br>(千㎡) | 金額<br>(百万円) |                |                |              |             |                    |
| 運輸業            | 215,406              | 20,933                     | 3,553      | 93,379      | 32,704         | 28,801         | 1,806        | 393,031     | 7,335<br>[ 1,998 ] |
| 流通業            | 5,314                | 29                         | 122        | 5,697       | 1              | 71             | 586          | 11,701      | 635<br>[ 749 ]     |
| 不動産業           | 58,697               | 359                        | 674        | 71,388      | 133            | 2,269          | 120          | 132,969     | 187<br>[ 230 ]     |
| レジャー・<br>サービス業 | 856                  | 177                        | 11         | 73          | 382            | 0              | 92           | 1,582       | 354<br>[ 248 ]     |
| 建設業            | 75                   | 13                         | 32         | 1,067       |                | 3              | 33           | 1,193       | 351<br>[ 29 ]      |
| その他の事業         | 155                  | 271                        | 13         | 990         | 48             |                | 19           | 1,485       | 277<br>[ 48 ]      |
| 小計             | 280,506              | 21,786                     | 4,405      | 172,597     | 33,270         | 31,145         | 2,657        | 541,964     | 9,139<br>[ 3,302 ] |
| 消去又は全社         | 1,101                |                            |            | 8,579       | 198            |                |              | 9,879       | 101<br>[ 2 ]       |
| 合計             | 279,404              | 21,786                     | 4,405      | 164,018     | 33,072         | 31,145         | 2,657        | 532,084     | 9,240<br>[ 3,304 ] |

(注) 1 提出会社の各事業関連施設の帳簿価額(3,952百万円)、土地面積(6千㎡)については、運輸業及び不動産業に配賦しております。

2 なお、上記の外、運輸業における車両、駅務機器等を連結会社以外の者とのリース契約により賃借しております。

3 [ ] 内には臨時従業員数の年間平均人員を外数で記載しております。



(2) 運輸業

(イ) 鉄道事業(従業員数 1,829 人)

線路及び電路施設

| 会社名及び線名                   | 区間            | 営業キロ<br>(km) | 複々線・複線・単線の別 | 駅数 | 変電所数 |
|---------------------------|---------------|--------------|-------------|----|------|
| (提出会社)<br>本線              | 京成上野駅～成田空港駅   | 69.3         | 複々線・複線・単線   | 42 | 11   |
| 成田空港線                     | 京成高砂駅～成田空港駅   | 49.9         | 複線・単線       | 5  | 3    |
| 東成田線                      | 京成成田駅～東成田駅    | 1.1          | 複線          | 1  |      |
| 押上線                       | 押上駅～青砥駅       | 5.7          | 複線          | 5  | 1    |
| 金町線                       | 京成高砂駅～京成金町駅   | 2.5          | 複線・単線       | 2  |      |
| 千葉線                       | 京成津田沼駅～千葉中央駅  | 12.9         | 複線          | 9  | 1    |
| 千原線                       | 千葉中央駅～ちはら台駅   | 10.9         | 単線          | 5  | 2    |
| (国内子会社)<br>北総鉄道(株)<br>北総線 | 京成高砂駅～印旛日本医大駅 | 32.3         | 複線          | 15 | 6    |

- (注) 1 各線とも軌間は1.435m、電圧は直流1,500vであります。
- 2 提出会社本線の一部(成田市駒井野分岐点～成田空港駅間、2.1km)において成田空港高速鉄道(株)から、成田空港線において北総鉄道(株)、千葉ニュータウン鉄道(株)、成田高速鉄道アクセス(株)及び成田空港高速鉄道(株)から、それぞれ鉄道線路、停車場等の設備を借り入れ、第二種鉄道事業を営んでおります。なお、2018年度の使用料は合計で56億9千万円であります。
- 3 提出会社成田空港線のうち本線と重複している1.5km、並びに東成田線のうち本線と重複している6.0kmは除いております。また、提出会社成田空港線は北総鉄道(株)北総線32.3kmと重複しております。
- 4 提出会社本線の駅数と北総鉄道(株)北総線の駅数には、1駅(京成高砂駅)が重複しており、成田空港線の駅数と北総鉄道(株)北総線の駅数には、4駅(東松戸駅、新鎌ヶ谷駅、千葉ニュータウン中央駅、印旛日本医大駅)が重複しております。
- 5 北総線のうち、小室駅～印旛日本医大駅間12.5kmの鉄道線路、停車場等の設備は、千葉ニュータウン鉄道(株)が第三種鉄道事業者として所有し、北総鉄道(株)がこれらを借り入れ、第二種鉄道事業を営んでおります。
- 6 提出会社において、連結会社以外の者から賃借している主な物件及び面積は以下のとおりであります。
- |                     |      |
|---------------------|------|
| 京成上野駅～日暮里駅間線路、停車場用地 | 25千㎡ |
| 東成田駅付近停車場用地         | 24千㎡ |

車両数

| 会社名                | 制御電動客車<br>(両) | 電動客車<br>(両)  | 制御客車<br>(両) | 付随客車<br>(両) | 合計<br>(両)    |
|--------------------|---------------|--------------|-------------|-------------|--------------|
| (提出会社)             | 174<br>(78)   | 278<br>(130) | 6           | 148<br>(78) | 606<br>(286) |
| (国内子会社)<br>北総鉄道(株) | 26<br>(18)    | 52<br>(36)   |             | 26<br>(18)  | 104<br>(72)  |

- (注) 1 ( )内は内数でリース契約により賃借中のものであります。
- 2 提出会社は上記の外36両を保有し、北総鉄道(株)に24両、千葉ニュータウン鉄道(株)に8両、芝山鉄道(株)に4両を賃貸しております。また、千葉ニュータウン鉄道(株)は40両(提出会社から賃借中の8両、及びリース契約にて賃借している8両を含む)を保有し、全てを北総鉄道(株)に賃貸しております。

車庫及び工場

| 会社名及び事業所名               | 所在地        | 建物及び構築物   | 土地     |           |
|-------------------------|------------|-----------|--------|-----------|
|                         |            | 帳簿価額(百万円) | 面積(千㎡) | 帳簿価額(百万円) |
| (提出会社)                  |            |           |        |           |
| 高砂車庫                    | 東京都葛飾区     | 737       | 49     | 363       |
| 津田沼車庫                   | 千葉県習志野市    | 142       | 6      | 7         |
| 宗吾車庫及び工場                | 千葉県印旛郡酒々井町 | 3,756     | 122    | 1,148     |
| (国内子会社)                 |            |           |        |           |
| 千葉ニュータウン鉄道(株)<br>印旛車両基地 | 千葉県印西市     | 2,196     | 79     | 349       |

(注) 千葉ニュータウン鉄道(株)の印旛車両基地は、北総鉄道(株)へ賃貸しているものであります。

(口)バス事業(従業員数 2,658 人)

| 会社名及び事業所名                 | 所在地     | 建物及び構築物       | 土地         |               | 在籍車両数      |            |            |
|---------------------------|---------|---------------|------------|---------------|------------|------------|------------|
|                           |         | 帳簿価額<br>(百万円) | 面積<br>(千㎡) | 帳簿価額<br>(百万円) | 乗合<br>(両)  | 貸切<br>(両)  | 合計<br>(両)  |
| (国内子会社)<br>京成バス(株)        |         |               |            |               |            |            |            |
| 江戸川営業所                    | 東京都江戸川区 | 12            |            |               | 96         | 6          | 102        |
| 金町営業所                     | 東京都葛飾区  | 8             |            |               | 72         | 2          | 74         |
| 奥戸営業所                     | 東京都葛飾区  | 16            |            |               | 95         | 2          | 97         |
| 松戸営業所                     | 千葉県松戸市  | 20            |            |               | 65         | 4          | 69         |
| 市川営業所                     | 千葉県市川市  | 26            |            |               | 97         | 2          | 99         |
| 千葉営業所                     | 千葉県四街道市 | 11            |            |               | 103        | 2          | 105        |
| 長沼営業所                     | 千葉市稲毛区  | 9             |            |               | 94         | 1          | 95         |
| 新都心営業所                    | 千葉県習志野市 | 28            |            |               | 152        | 11         | 163        |
| 新習志野高速営業所                 | 千葉県習志野市 | 25            |            |               | 42         | [1]<br>12  | [1]<br>54  |
| 千葉交通(株)<br>本社及び3営業所外      | 千葉県成田市外 | 1,725         | 116        | 1,265         | 180        | 22         | 202        |
| 千葉中央バス(株)<br>本社及び3営業所外    | 千葉市緑区外  | 230           | 15         | 1,424         | [47]<br>68 | [5]<br>6   | [52]<br>74 |
| 千葉海浜交通(株)<br>本社営業所        | 千葉市美浜区  | 137           | 11         | 945           | [25]<br>43 | [5]<br>3   | [30]<br>46 |
| 千葉内陸バス(株)<br>本社営業所        | 千葉県四街道市 | 20            | 7          | 98            | [30]<br>36 | 3          | [30]<br>39 |
| 成田空港交通(株)<br>本社営業所        | 千葉県成田市  | 15            | 7          | 98            | [4]<br>34  | [2]<br>22  | [6]<br>56  |
| ちばフラワーバス(株)<br>本社営業所      | 千葉県山武市  | 0             |            |               | [1]<br>46  | 6          | [1]<br>52  |
| ちばレインボーバス(株)<br>本社営業所     | 千葉県印西市  | 7             |            |               | [7]<br>65  | 6          | [7]<br>71  |
| 東京ベイシティ交通(株)<br>本社営業所     | 千葉県浦安市  | 500           | 20         | 3,020         | [48]<br>90 | 5          | [48]<br>95 |
| ちばグリーンバス(株)<br>本社営業所      | 千葉県佐倉市  | 1             |            |               | 57         | 6          | 63         |
| 京成タウンバス(株)<br>本社営業所       | 東京都葛飾区  | 16            |            |               | 49         | 5          | 54         |
| ちばシティバス(株)<br>本社営業所       | 千葉市美浜区  | 4             |            |               | [3]<br>44  | 7          | [3]<br>51  |
| 京成バスシステム(株)<br>本社営業所      | 千葉県船橋市  | 3             |            |               | [26]<br>2  | [26]<br>20 | [52]<br>22 |
| 京成トランジットバス(株)<br>本社及び2営業所 | 千葉県市川市外 | 19            |            |               | [16]<br>34 | [50]<br>42 | [66]<br>76 |

- (注) 1 上記車両数は、営業用の車両数であります。  
2 [ ]内は外数でリース契約により賃借中のものであります。  
3 は上記の外、建物及び構築物、土地等を提出会社より賃借しております。

(八) タクシー事業(従業員数 2,848 人)

| 会社名及び事業所名                          | 所在地     | 建物及び構築物       | 土地         |               | 在籍車両数       |             |             |
|------------------------------------|---------|---------------|------------|---------------|-------------|-------------|-------------|
|                                    |         | 帳簿価額<br>(百万円) | 面積<br>(千㎡) | 帳簿価額<br>(百万円) | タクシー<br>(両) | ハイヤー<br>(両) | 合計<br>(両)   |
| (国内子会社)<br>帝都自動車交通(株)<br>本社外       | 東京都中央区外 | 4,384         | 937        | 8,286         |             |             |             |
| 帝都自動車交通(株)<br>(新橋・竹橋)<br>本社及び2営業所  | 東京都中央区外 |               |            |               |             | [142]<br>3  | [142]<br>3  |
| 帝都自動車交通(株)<br>(渋谷・銀座)<br>本社及び2営業所  | 東京都中央区外 |               |            |               |             | [118]<br>3  | [118]<br>3  |
| 帝都自動車交通(株)<br>(神田・日本橋)<br>本社及び2営業所 | 東京都中央区外 |               |            |               |             | [165]<br>7  | [165]<br>7  |
| 帝都自動車交通(株)(墨田)<br>本社及び1営業所         | 東京都中央区外 |               |            |               | [178]<br>18 |             | [178]<br>18 |
| 帝都自動車交通(株)(日暮里)<br>本社及び1営業所        | 東京都中央区外 |               |            |               | [45]<br>55  |             | [45]<br>55  |
| 帝都自動車交通(株)(大森)<br>本社及び1営業所         | 東京都中央区外 |               |            |               | [102]<br>12 |             | [102]<br>12 |
| 帝都自動車交通(株)(板橋)<br>本社及び1営業所         | 東京都中央区外 |               |            |               | [81]<br>9   |             | [81]<br>9   |
| 帝都葛飾交通(株)<br>本社及び1営業所              | 東京都中央区外 | 47            | 2          | 665           | [8]<br>92   |             | [8]<br>92   |
| 市川交通自動車(株)<br>本社営業所外               | 千葉県市川市  | 2             | 2          | 89            | [12]<br>50  |             | [12]<br>50  |
| (株)千葉交タクシー<br>本社及び3営業所             | 千葉県成田市外 | 8             | 1          | 13            | 66          | 10          | 76          |
| 船橋交通(株)<br>本社及び4営業所外               | 千葉県船橋市外 | 203           | 11         | 580           | [65]<br>16  | [1]<br>3    | [66]<br>19  |
| 合同タクシー(株)<br>本社及び1営業所外             | 千葉県松戸市外 | 87            | 9          | 417           | [76]<br>30  | [3]<br>5    | [79]<br>35  |
| 京成タクシー千葉(株)<br>本社営業所外              | 千葉市中央区外 | 45            | 4          | 49            | [15]<br>43  | [2]<br>14   | [17]<br>57  |
| かずさ交通(株)<br>本社営業所                  | 千葉県木更津市 | 13            | 7          | 266           | [55]<br>69  |             | [55]<br>69  |
| 三田下総交通(株)<br>本社営業所外                | 千葉県船橋市  | 23            | 2          | 74            | 62          |             | 62          |
| 京成タクシー習志野(株)<br>本社営業所外             | 千葉県船橋市  | 51            | 3          | 237           | [50]<br>34  |             | [50]<br>34  |

- (注) 1 上記車両数は、営業用の車両数であります。  
2 [ ]内は外数でリース契約により賃借中のものであります。  
3 は上記の外、建物及び構築物、土地等を提出会社より賃借しております。

(3) 流通業

| 会社名及び事業所名                         | 所在地                | 建物及び構築物       | 土地         |               | 摘要                                  |
|-----------------------------------|--------------------|---------------|------------|---------------|-------------------------------------|
|                                   |                    | 帳簿価額<br>(百万円) | 面積<br>(千㎡) | 帳簿価額<br>(百万円) |                                     |
| (国内子会社)<br>(株)京成ストア<br>小金原店ストア店舗外 | 東京都・千葉県            | 1,135         | 19         | 1,586         | ストア21店舗、レンタルビデオ<br>4店舗外             |
| 京成バラ園芸(株)<br>本社及びローズプラザ外          | 千葉県八千代市外           | 504           | 84         | 226           |                                     |
| (株)ユアエルム京成<br>本社及び八千代台店<br>青戸店外   | 千葉県八千代市<br>東京都・千葉県 | 2,330<br>207  | 15         | 3,746         | 鉄骨鉄筋<br>コンクリート造 地上9階、<br>一部鉄骨造 地下1階 |

- (注) は上記の外、建物及び構築物、土地等を提出会社より賃借しております。

(4) 不動産業

| 会社名及び事業所名               | 所在地     | 建物及び<br>構築物   | 土地         |               | 摘要                                      |
|-------------------------|---------|---------------|------------|---------------|---|
|                         |         | 帳簿価額<br>(百万円) | 面積<br>(千㎡) | 帳簿価額<br>(百万円) |   |
| (提出会社)                  |         |               |            |               |   |
| 京成バス(株)江戸川営業所           | 東京都江戸川区 | 90            | 10         | 2,018         |   |
| 〃 金町営業所                 | 東京都葛飾区  | 80            | 9          | 118           |   |
| 〃 奥戸営業所                 | 東京都葛飾区  | 406           | 12         | 3,363         |   |
| 〃 松戸営業所                 | 千葉県松戸市  | 90            | 6          | 48            |   |
| 〃 市川営業所                 | 千葉県市川市  | 155           | 20         | 1,223         |   |
| 〃 千葉営業所                 | 千葉県四街道市 | 99            | 18         | 792           |   |
| 〃 長沼営業所                 | 千葉市稲毛区  | 290           | 18         | 461           |   |
| 〃 新都心営業所                | 千葉県習志野市 | 631           | 30         | 3,701         |   |
| 〃 新習志野高速営業所             | 千葉県習志野市 | 174           | 6          | 339           |   |
| ちばレインボーバス(株)<br>本社営業所外  | 千葉県印西市外 | 17            | 6          | 157           |   |
| ちばフラワーバス(株)<br>本社営業所外   | 千葉県山武市外 | 63            | 9          | 115           |   |
| ちばグリーンバス(株)<br>本社営業所外   | 千葉県佐倉市  | 69            | 13         | 598           |   |
| 京成タウンバス(株)<br>本社営業所外    | 東京都葛飾区  | 23            | 5          | 94            |   |
| ちばシティバス(株)<br>本社営業所外    | 千葉市美浜区外 | 98            | 9          | 961           |   |
| 京成トランジットバス(株)<br>本社営業所外 | 千葉県市川市外 | 174           | 14         | 1,287         |   |
| 京成バスシステム(株)<br>本社営業所外   | 千葉県船橋市  | 565           | 9          | 1,169         |   |
| 京成上野ビル                  | 東京都台東区  | 2,639         | 4          | 6,970         | 鉄骨鉄筋<br>コンクリート造 地上12階、<br>地下4階          |
| 京成百貨店ビル                 | 茨城県水戸市  | 366           | 1          | 268           | 鉄骨造 地上10階、<br>地下2階                      |
| 千葉中央駅東口<br>複合施設「ミラマーレ」  | 千葉市中央区  | 1,151         | 5          | 1,426         | 鉄骨鉄筋<br>コンクリート造 地上16階、<br>地下2階          |
| ファインフルーク公津の杜            | 千葉県成田市  | 2,967         | 19         | 2,732         | 鉄筋コンクリ<br>ート造 地上10階、<br>2棟              |
| 成田ユアエルム                 | 千葉県成田市  | 3,507         | 24         | 2,966         | 鉄筋コンクリ<br>ート造一部鉄骨造 地上7階、<br>地下2階        |
| アイリス京成成田                | 千葉県成田市  | 1,259         | 3          | 55            | 鉄筋コンクリ<br>ート造 地上10階                     |
| リッチモンドホテル成田             | 千葉県成田市  | 927           | 1          | 13            | 鉄骨造 地上10階                               |
| 東京湾岸<br>リハビリテーション病院     | 千葉県習志野市 | 609           | 4          | 27            | 鉄骨鉄筋<br>コンクリート造 地上5階、<br>地下1階           |
| 京成汐留ビル                  | 東京都港区   | 1,598         |            |               | 鉄骨造一部鉄骨<br>鉄筋コンクリ<br>ート造 地上13階、<br>地下1階 |
| 笑がおの湯矢切店                | 千葉県松戸市  | 293           | 6          | 700           | 鉄骨造 平屋建                                 |
| パンシオン公津の杜               | 千葉県成田市  | 772           | 4          | 578           | 鉄筋<br>コンクリート造 地上8階                      |
| セブントウン常盤平店              | 千葉県松戸市  | 475           | 3          | 54            | 鉄骨造 地上3階                                |

| 会社名及び事業所名                  | 所在地             | 建物及び<br>構築物<br>帳簿価額<br>(百万円) | 土地         |               | 摘要                             |
|----------------------------|-----------------|------------------------------|------------|---------------|--------------------------------|
|                            |                 |                              | 面積<br>(千㎡) | 帳簿価額<br>(百万円) |                                |
| (提出会社)                     |                 |                              |            |               |                                |
| 水戸京成ホテル                    | 茨城県水戸市          | 172                          | 5          | 529           | 鉄骨鉄筋<br>コンクリート造 地上12階、<br>地下1階 |
| アビタシオン京成千葉中央               | 千葉市中央区          | 837                          | 3          | 453           | 鉄筋<br>コンクリート造 地上5階             |
| リッチモンドホテル浅草                | 東京都台東区          | 829                          |            |               | 鉄筋<br>コンクリート造 地上11階、<br>地下1階   |
| コーナン<br>船橋花輪インター店          | 千葉県船橋市          | 2,726                        | 12         | 468           | 鉄筋コンクリ<br>ート造一部鉄骨造 地上4階        |
| 京成押上ビル                     | 東京都墨田区          | 5,098                        | 4          | 175           | 鉄骨造 地上13階、<br>地下1階             |
| ジョイホームズ                    | 東京都大田区          | 581                          | 2          | 1,095         | 鉄筋<br>コンクリート造 地上7階             |
| M2プラザ                      | 千葉県四街道市         | 969                          | 15         | 553           | 鉄筋<br>コンクリート造 地上4階、<br>地下1階    |
| メゾン八千代台                    | 千葉県八千代市         | 656                          | 1          | 492           | 鉄骨鉄筋<br>コンクリート造 地上8階           |
| 千葉市中央区立体駐車場                | 千葉市中央区          | 897                          | 2          | 815           | 鉄骨造 地上2階                       |
| 三菱ふそうトラック・バス(株)<br>整備・営業拠点 | 千葉県・茨城県・<br>埼玉県 | 5,809                        | 139        | 12,454        | 千葉支店外<br>17拠点                  |
| カラブリア津田沼                   | 千葉県習志野市         | 910                          | 1          | 560           | 鉄筋<br>コンクリート造 地上5階             |
| 京成リッチモンドホテル<br>東京門前仲町      | 東京都江東区          | 1,450                        |            |               | 鉄筋<br>コンクリート造 地上10階<br>地下1階    |

- (注) 1 は連結子会社に賃貸しております。  
2 京成汐留ビルは、提出会社が帝都自動車交通㈱から土地を賃借しております。なお、2018年度の賃借料は、1億8千6百万円であります。  
3 リッチモンドホテル浅草は、提出会社が連結子会社以外から土地を賃借しております。なお、2018年度の賃借料は、2千8百万円であります。  
4 京成リッチモンドホテル東京門前仲町は、提出会社が帝都自動車交通㈱から土地を賃借しております。なお、2018年度の賃借料は、2千3百万円であります。

(5) レジャー・サービス業

記載すべき主要な設備はありません。

(6) 建設業

記載すべき主要な設備はありません。

(7) その他の事業

記載すべき主要な設備はありません。

### 3 【設備の新設、除却等の計画】

当社グループの設備投資計画については、景気予測、投資効率等を勘案して、原則的には連結会社各社が個別に策定しておりますが、グループ全体として重複投資とならないよう、提出会社を中心に調整を図っております。

なお、当連結会計年度末における重要な設備の新設、除却等の計画は以下のとおりであります。

#### (1) 重要な設備の新設等

| セグメントの名称                           | 設備の内容                | 工事計画金額<br>(百万円) | 主な資金調達方法   | 着手及び完了予定年月 |          |
|------------------------------------|----------------------|-----------------|------------|------------|----------|
|                                    |                      |                 |            | 着手         | 完了       |
| 運輸業                                | (提出会社)               |                 |            |            |          |
|                                    | 押上線(四ツ木・青砥駅間)連続立体化工事 | 6,518           | 借入金及び自己資金  | 2003年4月    | 2023年3月  |
|                                    | A E形<br>鉄道車両新造(8両)   | 1,895           | ファイナンス・リース | 2017年10月   | 2019年9月  |
|                                    | 押上変電所設備更新            | 2,550           | 借入金及び自己資金  | 2017年11月   | 2020年6月  |
|                                    | 列車無線設備更新             | 7,200           | "          | 2018年3月    | 2023年3月  |
|                                    | 鉄道車両新造(16両)          | 2,715           | ファイナンス・リース | 2018年4月    | 2019年9月  |
|                                    | 鉄道車両新造(16両)          | 2,400           | ファイナンス・リース | 2019年2月    | 2020年7月  |
|                                    | 印旛郡酒々井町土地取得          | 1,600           | 借入金及び自己資金  | 2019年2月    | 未定       |
|                                    | (国内子会社)              |                 |            |            |          |
| 北総鉄道株<br>自動列車停止装置(AT<br>S)C-A T S化 | 2,370                | 借入金及び自己資金       | 2018年6月    | 2023年3月    |          |
| 不動産業                               | (提出会社)               |                 |            |            |          |
|                                    | 日本橋小網町賃貸施設           | 2,180           | 借入金及び自己資金  | 2017年11月   | 2019年8月  |
|                                    | 千葉中央駅西口ビル<br>建替計画    | 5,270           | "          | 2018年3月    | 2021年10月 |
|                                    | 錦糸町ホテル計画             | 7,161           | "          | 2019年3月    | 2021年12月 |

(注) 「工事計画金額」については、工事負担金等を含んでおりません。なお、工事負担金等の内訳は以下のとおりであります。

押上線(四ツ木・青砥駅間)連続立体化工事 41,074 百万円

#### (2) 重要な設備の除却等

経常的な設備更新に伴うものを除き、重要な設備の除却及び売却の計画はありません。

## 第4 【提出会社の状況】

### 1 【株式等の状況】

#### (1) 【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

| 種類   | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 500,000,000 |
| 計    | 500,000,000 |

##### 【発行済株式】

| 種類   | 事業年度末現在<br>発行数(株)<br>(2019年3月31日) | 提出日現在<br>発行数(株)<br>(2019年6月27日) | 上場金融商品取引所<br>名又は登録認可金融<br>商品取引業協会名 | 内容               |
|------|-----------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|------------------|
| 普通株式 | 172,411,185                       | 172,411,185                     | 東京証券取引所<br>(市場第一部)                 | 単元株式数は100株であります。 |
| 計    | 172,411,185                       | 172,411,185                     |                                    |                  |

#### (2) 【新株予約権等の状況】

##### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

##### 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

#### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日           | 発行済株式<br>総数増減数<br>(千株) | 発行済株式<br>総数残高<br>(千株) | 資本金増減額<br>(百万円) | 資本金残高<br>(百万円) | 資本準備金<br>増減額<br>(百万円) | 資本準備金<br>残高<br>(百万円) |
|---------------|------------------------|-----------------------|-----------------|----------------|-----------------------|----------------------|
| 2016年10月1日(注) | 172,411                | 172,411               |                 | 36,803         |                       | 27,845               |

(注) 株式併合(2株を1株に併合)による減少であります。



(5) 【所有者別状況】

2019年3月31日現在

| 区分          | 株式の状況(1単元の株式数100株) |         |          |         |         |      |         |           | 単元未満株式の状況(株) |
|-------------|--------------------|---------|----------|---------|---------|------|---------|-----------|--------------|
|             | 政府及び地方公共団体         | 金融機関    | 金融商品取引業者 | その他の法人  | 外国法人等   |      | 個人その他   | 計         |              |
|             |                    |         |          |         | 個人以外    | 個人   |         |           |              |
| 株主数(人)      |                    | 63      | 34       | 283     | 491     | 9    | 14,918  | 15,798    |              |
| 所有株式数(単元)   |                    | 760,378 | 15,302   | 279,217 | 390,554 | 46   | 278,242 | 1,723,739 | 37,285       |
| 所有株式数の割合(%) |                    | 44.11   | 0.89     | 16.20   | 22.66   | 0.00 | 16.14   | 100.00    |              |

(注)1 自己株式663,291株は「個人その他」に6,632単元、「単元未満株式の状況」に91株含まれております。

2 上記「その他の法人」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が95単元含まれております。

(6) 【大株主の状況】

2019年3月31日現在

| 氏名又は名称   | 住所   | 所有株式数(千株) | 発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合(%) |
|--|--|-----------|-----------------------------------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                          | 東京都港区浜松町2-11-3   | 19,098    | 11.12                             |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)                        | 東京都中央区晴海1-8-11   | 9,124     | 5.31                              |
| 日本生命保険相互会社                                       | 東京都千代田区丸の内1-6-6  | 6,008     | 3.50                              |
| 株式会社オリエンタルランド                                    | 千葉県浦安市舞浜1-1  | 5,850     | 3.41                              |
| 株式会社みずほ銀行  | 東京都千代田区大手町1-5-5  | 5,715     | 3.33                              |
| 株式会社三菱UFJ銀行                                      | 東京都千代田区丸の内2-7-1  | 4,844     | 2.82                              |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)                       | 東京都中央区晴海1-8-11   | 2,939     | 1.71                              |
| 三井住友信託銀行株式会社                                     | 東京都千代田区丸の内1-4-1  | 2,876     | 1.67                              |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行退職給付信託口)            | 東京都中央区晴海1-8-11   | 2,234     | 1.30                              |
| JP MORGAN CHASE BANK 385151(常任代理人株式会社みずほ銀行決済営業部) | 25 BANK STREET, CANARY WHARF, LONDON, E14 5JP, UNITED KINGDOM(東京都港区港南2-15-1) | 2,186     | 1.27                              |
| 計  | -  | 60,877    | 35.45                             |

(注)1 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行退職給付信託口)の持株数2,234千株(持株比率1.30%)は、三井住友信託銀行株式会社が同行に委託した退職給付信託財産であり、その議決権行使の指図権は三井住友信託銀行株式会社が留保しております。

2 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ及びその共同保有者から、2019年5月20日付で関東財務局長に提出された大量保有報告書(変更報告書)により、2019年5月13日現在で以下の株式を所有している旨の報告を受けておりますが、当社として2019年3月31日現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、大量保有報告書(変更報告書)の内容は以下のとおりであります。

| 氏名又は名称        | 住所               | 保有株券等の数(千株) | 株券等保有割合(%) |
|---------------|------------------|-------------|------------|
| 三菱UFJ信託銀行株式会社 | 東京都千代田区丸の内1-4-5  | 7,243       | 4.20       |
| 株式会社三菱UFJ銀行   | 東京都千代田区丸の内2-7-1  | 4,844       | 2.81       |
| 三菱UFJ国際投信株式会社 | 東京都千代田区有楽町1-12-1 | 2,492       | 1.45       |

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年3月31日現在

| 区分             | 株式数(株)   | 議決権の数(個)  | 内容              |
|----------------|--|-----------|-----------------|
| 無議決権株式         |  |           |                 |
| 議決権制限株式(自己株式等) |  |           |                 |
| 議決権制限株式(その他)   |  |           |                 |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式)<br>普通株式 663,200<br>(相互保有株式)<br>普通株式 2,665,000 |           |                 |
| 完全議決権株式(その他)   | 普通株式<br>169,045,700                                    | 1,690,457 |                 |
| 単元未満株式         | 普通株式<br>37,285   |           | 1 単元(100株)未満の株式 |
| 発行済株式総数        | 172,411,185  |           |                 |
| 総株主の議決権        |  | 1,690,457 |                 |

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、株式会社証券保管振替機構名義の株式95百株(議決権の数95個)及び株主名簿上は当社子会社名義となっているが実質的に保有していない株式2百株(議決権の数2個)が含まれております。

【自己株式等】

2019年3月31日現在

| 所有者の氏名<br>又は名称        | 所有者の住所                    | 自己名義<br>所有株式数<br>(株) | 他人名義<br>所有株式数<br>(株) | 所有株式数<br>の合計<br>(株) | 発行済株式<br>総数に対する<br>所有株式数<br>の割合(%) |
|-----------------------|---------------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式)<br>京成電鉄株式会社  | 千葉県市川市八幡<br>3 - 3 - 1     | 663,200              |                      | 663,200             | 0.38                               |
| (相互保有株式)<br>新京成電鉄株式会社 | 千葉県鎌ヶ谷市<br>くぬぎ山4 - 1 - 12 | 1,858,500            |                      | 1,858,500           | 1.08                               |
| 関東鉄道株式会社              | 茨城県土浦市真鍋<br>1 - 10 - 8    | 806,500              |                      | 806,500             | 0.47                               |
| 計                     |                           | 3,328,200            |                      | 3,328,200           | 1.93                               |

(注) 上記のほか、株主名簿上は当社子会社名義となっているが実質的に保有していない株式が2百株(議決権の数2個)あり、「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の欄に含まれております。

## 2 【自己株式の取得等の状況】

【株式の種類等】 会社法第155条第7号による普通株式の取得

(1) 【株主総会決議による取得の状況】

該当事項はありません。

(2) 【取締役会決議による取得の状況】

該当事項はありません。

(3) 【株主総会決議又は取締役会決議に基づかないものの内容】

会社法第155条第7号による普通株式の取得

| 区分              | 株式数(株) | 価額の総額(円) |
|-----------------|--------|----------|
| 当事業年度における取得自己株式 | 146    | 501,190  |
| 当期間における取得自己株式   |        |          |

(注) 当期間における取得自己株式には、2019年6月1日から有価証券報告書提出日までの単元未満株式の買取りによる株式数は含めておりません。

(4) 【取得自己株式の処理状況及び保有状況】

| 区分                          | 当事業年度   |            | 当期間     |            |
|-----------------------------|---------|------------|---------|------------|
|                             | 株式数(株)  | 処分価額の総額(円) | 株式数(株)  | 処分価額の総額(円) |
| 引き受ける者の募集を行った取得自己株式         |         |            |         |            |
| 消却の処分を行った取得自己株式             |         |            |         |            |
| 合併、株式交換、会社分割に係る移転を行った取得自己株式 |         |            |         |            |
| その他(単元未満株式の買増請求)            |         |            |         |            |
| 保有自己株式数                     | 663,291 |            | 663,291 |            |

(注) 1 当期間における「その他(単元未満株式の買増請求)」には、2019年6月1日から有価証券報告書提出日までの単元未満株式の買増しによる株式数は含めておりません。

2 当期間における「保有自己株式数」には、2019年6月1日から有価証券報告書提出日までの単元未満株式の買取り及び買増しによる株式数は含めておりません。

### 3 【配当政策】

当社は鉄道事業を中心とする公共性の高い業種でありますため、今後の事業展開と経営基盤の強化安定に必要な内部留保資金の確保や業績等を勘案しながら、安定的かつ継続的に利益還元していくことを基本方針としております。

また、当社の剰余金の配当は、中間配当及び期末配当の年2回を基本的な方針としております。配当の決定機関は、中間配当は取締役会、期末配当は株主総会であります。

この方針に基づき、当期の期末配当金は、1株につき9円50銭とし、中間配当金（7円50銭）と合わせて年間配当金は17円といたしました。

内部留保資金については、引き続き、輸送力の増強、運転保安及び旅客サービスの向上等の設備投資を計画しておりますので、これらの資金需要に備えるとともに、有利子負債の削減を図ってまいり所存であります。

また、当社は中間配当を行うことができる旨を定款に定めております。

(注) 基準日が当事業年度に属する剰余金の配当は、以下のとおりであります。

| 決議年月日                  | 配当金の総額<br>(百万円) | 1株当たり配当額<br>(円) |
|------------------------|-----------------|-----------------|
| 2018年10月31日<br>取締役会決議  | 1,288           | 7.50            |
| 2019年6月27日<br>定時株主総会決議 | 1,631           | 9.50            |

## 4 【コーポレート・ガバナンスの状況等】

### (1) 【コーポレート・ガバナンスの概要】

#### コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、「京成グループ理念」に基づき、安全・安心を第一に事業活動を行っており、全てのステークホルダーから信頼を獲得し、持続的な成長とグループ企業価値の最大化を実現するためには、コーポレート・ガバナンスの充実が不可欠であります。具体的には、経営の健全性及び透明性の観点から、意思決定の迅速化及び効率化、監督の強化、内部統制システムの整備、適時適切な情報開示について体制整備に取り組んでおります。

#### 企業統治の体制

##### ア 企業統治の体制の概要

交通事業を中心とする当社においては、事業の特殊性を考慮して業務に精通した社内取締役を選任し、常勤取締役には各部門の業務執行を委嘱するほか、常勤取締役経験者を主要グループ会社の代表取締役に選任する体制を採用しております。

また、社外取締役3名を選任し、客観的・中立的な立場から有効な意見等を提供することで、コーポレート・ガバナンスの強化を図っております。さらに、取締役の職務の執行を監督する監査役には、常勤監査役1名を含む4名の社外監査役を選任し、取締役から独立した監査役会事務局を設置する等、監査機能の強化を図り、独立した観点から意思決定に対するチェック及び検証を行うことができる体制を整備しております。

##### a 取締役会

当社の取締役会は、社外取締役3名を含む12名の取締役で構成され、取締役会長を議長とし、原則として、月1回、取締役全員の出席により開催し、業務執行上重要な事項に関する意思決定を効率的に行っております。取締役については、常勤取締役に各部門の業務執行を委嘱し責任所在の明確化を図っております。

##### b 指名・報酬委員会

当社の指名・報酬委員会は、社外取締役2名を含む4名の取締役で構成され、取締役社長を委員長とし、取締役の指名や報酬等に係る事項についてその妥当性等を検討・答申し、取締役会の諮問機関として取締役会の機能の独立性・客観性の強化を図っております。

##### c 経営会議

当社の経営会議は、8名の常勤取締役で構成され、取締役社長を議長とし、原則として、週1回、常勤取締役全員の出席により開催し、取締役会規則、経営会議規則等に基づき、常勤取締役に委嘱されている業務の執行に関する審議、報告を行い、適切な業務執行を行う体制を整備しております。

##### d 監査役会

当社は、監査役制度を採用しております。監査役会は、社外監査役4名を含む5名の監査役（常勤監査役2名、非常勤監査役3名）で構成され、意思決定・業務執行等に関する監査体制の強化を図っております。

##### e コンプライアンス・リスク管理委員会

グループ全体の事業継続に影響を及ぼすリスクを統一的に監督する機関として、常勤取締役等で構成され、代表取締役社長を委員長とするコンプライアンス・リスク管理委員会（原則年2回開催）を設置し、法令遵守の徹底と想定される様々なリスクへの組織的な対応に努めております。

各機関の構成員は次のとおりであります。

| 役職名       | 社外 | 氏名     | 取締役会 | 指名・報酬<br>委員会 | 経営会議 | 監査役会 | コンプライアンス・<br>リスク管理委員会 |
|-----------|----|--------|------|--------------|------|------|-----------------------|
| 代表取締役会長   |    | 三枝 紀生  |      |              | ○    |      | ○                     |
| 代表取締役社長   |    | 小林 敏也  | ○    |              |      |      |                       |
| 常務取締役     |    | 室谷 正裕  | ○    |              | ○    |      | ○                     |
| 常務取締役     |    | 天野 貴夫  | ○    |              | ○    |      | ○                     |
| 常務取締役     |    | 河角 誠   | ○    |              | ○    |      | ○                     |
| 常務取締役     |    | 登嶋 進   | ○    |              | ○    |      | ○                     |
| 取締役       |    | 田中 亜夫  | ○    |              | ○    |      | ○                     |
| 取締役       |    | 金子 庄吉  | ○    |              | ○    |      | ○                     |
| 取締役       |    | 古川 康信  | ○    |              |      |      |                       |
| 取締役       |    | 栃木 庄太郎 | ○    |              |      |      |                       |
| 取締役       |    | 伊藤 幸宏  | ○    |              |      |      |                       |
| 取締役       |    | 加藤 雅哉  | ○    |              |      |      |                       |
| 常勤監査役     |    | 河上 守   |      |              |      |      |                       |
| 常勤監査役     |    | 佐藤 賢治  |      |              |      | ○    |                       |
| 監査役       |    | 上西 京一郎 |      |              |      | ○    |                       |
| 監査役       |    | 松山 保臣  |      |              |      | ○    |                       |
| 監査役       |    | 小林 健   |      |              |      | ○    |                       |
| その他関係する部長 |    |        |      |              |      |      | ○                     |

(注) は社外取締役、または社外監査役を指しております。

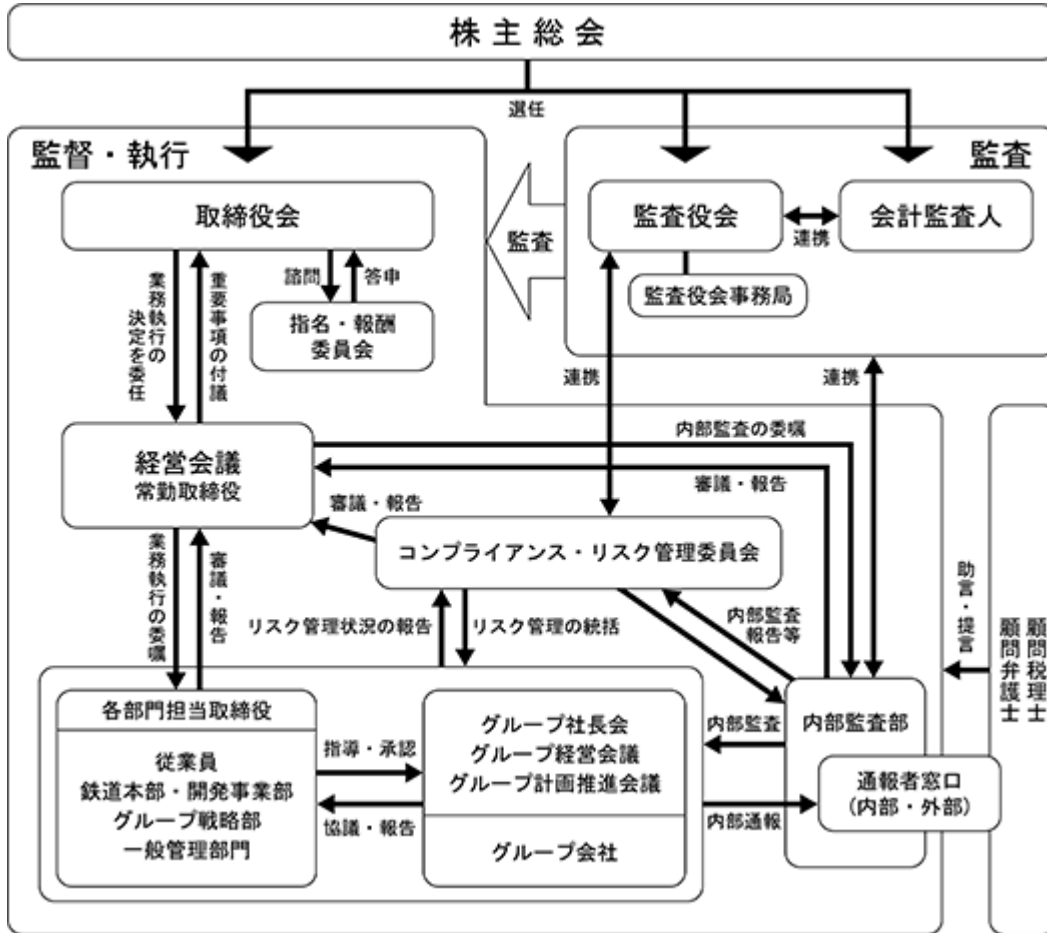
は各機関の議長、委員長を指しております。

○は構成員を指しております。

は構成員ではありませんが、出席し、意見を述べております。

イ 当社のコーポレート・ガバナンス体制

当社のコーポレート・ガバナンス体制の模式図は以下のとおりであります。



ウ 内部統制システムの整備の状況

(業務の適正を確保するための体制(内部統制システムに関する基本方針))

当社は、取締役会において決議した以下の「内部統制システムに関する基本方針」に基づき内部統制システムを整備しております。

内部統制システムに関する基本方針

1. 取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
  - (1) グループ経営理念に基づき、法令遵守を含むグループ行動指針及び行動規準を整備し、取締役及び使用人に周知徹底する。
  - (2) 法令及び定款に適合した社内規則及び職務権限規則を整備し、取締役及び使用人に周知し、職務執行を監督する。
  - (3) 代表取締役社長を委員長とするコンプライアンス・リスク管理委員会を設置し、当社と子会社のコンプライアンスの取り組みを統括する。
  - (4) 行動規準に基づき、反社会的勢力とはいかなる状況下でも一切関係を持たない。
  - (5) 業務執行組織から独立した内部監査部を設置し、監査役と連携して財務報告、コンプライアンス、業務執行、業務効率等に関する内部監査を行う。
  - (6) 通報者保護に配慮した内部通報者制度を整備し、周知する。
  - (7) 財務報告に係る内部統制を業務執行組織が自ら整備、運用、評価する体制をつくり、併せてその整備・運用状況の有効性を内部監査部において評価することにより、金融商品取引法で求められる財務報告の信頼性を確保する。
2. 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
  - (1) 文書取扱規程を整備し、これに基づき取締役会及び経営会議の議事録、稟議書等職務の執行に関わる情報の保存及び管理を行う。
3. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
  - (1) コンプライアンス・リスク管理委員会において、事業継続に重大な影響を及ぼすリスクを統一的に評価し、対応すべきリスクを選定するとともに、個別のリスク管理体制の活動状況を統括する。
  - (2) 旅客運送の安全を確保するため、関連法令に対応した安全管理規程を制定し、安全管理体制を整備する。
  - (3) 災害・事故等に備え、災害対策規則等を整備し、定期的に訓練及び教育を行う。
  - (4) 大規模な災害、事故等が発生したときは、対策本部を設置し、迅速に対応する。
  - (5) 反社会的勢力との間に問題が発生した場合は、外部の専門機関と連携し、法的な措置も含め組織的に対応する。
  - (6) 事業継続に重大な影響を及ぼすその他のリスクについて、対応が必要な場合はコンプライアンス・リスク管理委員会の審議を経て管理部門を指定し、適宜管理体制を整備する。
4. 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
  - (1) 取締役会(原則月1回開催)の決議により意思決定すべき事項と経営会議(常勤取締役で構成され、原則週1回開催)の審議により意思決定すべき事項について、取締役会規則、経営会議規則等を整備し、これに基づき職務執行の意思決定を行う。
  - (2) 職制及び職務分掌、職務権限規則を整備し、各職務の権限と責任を明確化する。
  - (3) 経営計画を決定し、これに基づき職務を執行する。
5. 当社並びに子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制
  - (1) 子会社の取締役等及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制  
子会社にグループ経営理念及びグループ行動指針に示される基本的考え方を周知し、行動規準の整備及び周知徹底を指導する。  
グループ戦略部を設置するとともに、関係会社管理規程等を整備し、関係部門と連携して、子会社の管理を行う。  
子会社は、必要に応じて経理規程並びに職務権限規則等の関係規程類を整備し、財務報告並びに業務執行の適正化を図る。  
子会社は、コンプライアンス委員会を設置し、その議事を当社に報告する。  
当社の取締役又は使用人は、必要に応じ、子会社の取締役等又は監査役に就任し、職務執行を監督する。



## 内部統制システムに関する基本方針

内部監査部が、子会社の内部監査を実施する。

当社及び子会社共通の内部通報窓口を設置し、周知する。

- (2) 子会社の取締役等の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制  
京成グループ社長会等を定期的に開催し、グループ経営方針の伝達と経営情報の共有等を図る。  
子会社は、京成グループ経営計画規程に基づき、経営計画を策定し、これに基づき職務を執行する。
  - (3) 子会社の損失の危険の管理に関する規程その他の体制  
コンプライアンス・リスク管理委員会において、当社と子会社のリスク管理を統括する。  
子会社は、京成グループ社長会等を通じ、コンプライアンス・リスク管理委員会におけるリスク評価結果を当社と共有し、対応が必要なリスク項目について、適宜管理体制を整備する。
  - (4) 子会社の取締役等及び使用人の職務の執行に係る事項の当社への報告に関する体制  
関係会社管理規程において、子会社が当社に報告すべき事項を明確化し、これに基づき子会社より報告を受け、必要に応じて指導を行う。
6. 監査役職務を補助すべき使用人を置くことに関する事項
- (1) 監査役職務を補助するため、監査役会事務局を設置し、職務の補助に必要な使用人を配置する。
7. 監査役職務を補助すべき使用人の取締役からの独立に関する事項並びに使用人に対する指示の実効性の確保に関する事項
- (1) 監査役会事務局の使用人は、取締役の指揮・監督を受けない専任の使用人とする。
  - (2) 監査役会事務局の使用人の人事については、監査役の同意を必要とする。
8. 監査役への報告に関する体制並びに報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制
- (1) 取締役及び使用人が監査役に報告するための体制  
取締役及び使用人は、当社に著しい損害を及ぼすおそれのある事実があることを発見したときは、当該事実を監査役に報告する。  
取締役及び使用人は、監査役から職務執行に関する事項の報告を求められた場合には、速やかに報告する。
  - (2) 子会社の取締役等及び使用人又はこれらの者から報告を受けた者が当社の監査役に報告するための体制  
子会社の取締役等及び使用人は、当社又は当社の子会社に著しい損害を及ぼすおそれのある事実があることを発見したときは、当該事実を当社の監査役又はグループ戦略部に報告する。
  - (3) 通報者保護に配慮した内部通報者制度に準拠し、監査役への報告を行った者に対し、不利な取扱いを行わない。
9. 監査役職務の執行について生ずる費用の前払又は償還の手続その他の当該職務の執行について生ずる費用又は債務の処理に係る方針に関する事項
- (1) 監査役が、職務の執行について生ずる費用の前払等を請求した時は、速やかに費用又は債務を処理する。
10. その他監査役職務の執行が実効的に行われることを確保するための体制
- (1) 監査役は、取締役会等、取締役の職務執行上重要な会議に出席し、必要に応じ意見を述べ、重要な意思決定の過程を把握するとともに、職務執行に係る重要な書類の閲覧等を通じ、業務の執行状況を把握する。
  - (2) 監査役は、会計監査人、内部監査部と定期的に会合をもち、情報を共有し、意見交換を行う。
  - (3) 代表取締役社長は、監査役と定期的かつ必要に応じて会合をもち、監査の重要課題等について意思疎通を図る。

## エ リスク管理体制の整備の状況

リスクの評価と対応を行う体制として、グループ全体の事業継続に影響を及ぼすリスクを統一的に監督するコンプライアンス・リスク管理委員会（原則年2回開催）を設置しております。コンプライアンス・リスク管理委員会では、全体方針を定め、管理対象とすべきコンプライアンス・リスクの選定を行い、それぞれ管理部門等の指定を行ったうえで、管理計画の承認及びその遂行状況の評価を行っております。

## オ 責任限定契約の締結

当社は、各社外取締役及び各社外監査役との間で、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第425条第1項に定める最低責任限度額を限度として同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。

## 取締役に関する事項

### ア 取締役の定数

当社の取締役は、20名以内とする旨を定款に定めております。

### イ 取締役の選任の決議要件

当社は、取締役の選任決議について、株主総会において議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数をもって行う旨を定款に定めております。

また取締役の選任決議は、累積投票によらないものとする旨を定款に定めております。

## 株主総会決議に関する事項

### ア 株主総会の特別決議要件

当社は、会社法第309条第2項に定める株主総会の特別決議について、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の3分の2以上をもって行う旨を定款に定めております。これは株主総会における特別決議の定足数を緩和することにより、株主総会の円滑な運営を行うことを目的としております。

### イ 自己株式の取得

当社は、会社法第165条第2項の規定に基づき、取締役会の決議をもって、市場取引等により自己株式を取得することができる旨を定款に定めております。これは機動的な資本政策の遂行を可能とすることを目的としております。

### ウ 中間配当

当社は、株主への機動的な利益還元を行うため、会社法第454条第5項の規定に基づき、取締役会決議によって、毎年9月30日を基準日として中間配当をすることができる旨を定款に定めております。

## エ 取締役の責任免除

当社は、取締役が期待される職務を適切に行えるよう、取締役（取締役であった者を含む。）の会社法第423条第1項の責任につき、善意でかつ重大な過失がないときは、取締役会決議によって、法令の定める額を限度としてその責任を免除することができる旨を定款に定めております。

## オ 監査役の責任免除

当社は、監査役が期待される職務を適切に行えるよう、監査役（監査役であった者を含む。）の会社法第423条第1項の責任につき、善意でかつ重大な過失がないときは、取締役会決議によって、法令の定める額を限度としてその責任を免除することができる旨を定款に定めております。

(2) 【役員の状況】

役員一覧

男性 17名 女性 名 ( 役員のうち女性の比率 % )

| 役職名                            | 氏名      | 生年月日         | 略歴   |   | 任期   | 所有株式数<br>(百株) |
|--------------------------------|---------|--------------|--|---|------|---------------|
| 代表取締役会長                        | 三 枝 紀 生 | 1949年 2月11日生 | 1971年 4月<br>1999年 7月<br>2004年 6月<br>2006年 6月<br>2008年 6月<br>2008年 6月<br>2010年 6月<br>2011年 6月<br>2017年 6月 | 当社入社<br>当社人事部付部長<br>当社取締役<br>当社常務取締役<br>当社代表取締役(現)<br>当社専務取締役<br>当社取締役副社長<br>当社取締役社長<br>当社取締役会長(現)                | (注)3 | 776           |
| 代表取締役社長                        | 小 林 敏 也 | 1959年 7月30日生 | 1982年 4月<br>2006年 7月<br>2008年 6月<br>2010年 6月<br>2013年 6月<br>2015年 6月<br>2015年 6月<br>2017年 6月             | 当社入社<br>当社グループ戦略部長<br>当社鉄道本部計画管理部長<br>当社取締役<br>当社常務取締役<br>当社代表取締役(現)<br>当社専務取締役<br>当社取締役社長(現)                     | (注)3 | 386           |
| 常務取締役<br>鉄道本部長                 | 室 谷 正 裕 | 1956年 3月15日生 | 1979年 4月<br>2013年 8月<br>2014年10月<br><br>2017年 6月<br><br>(主要な兼職)<br>2018年 5月<br><br>2018年 6月              | 運輸省入省<br>国土交通省運輸安全委員会事務局長<br>一般社団法人日本民営鉄道協会<br>常務理事<br>当社常務取締役(現)<br><br>千葉ニュータウン鉄道株式会社<br>取締役社長<br>北総鉄道株式会社取締役社長 | (注)3 | 51            |
| 常務取締役<br>総務人事担当                | 天 野 貴 夫 | 1965年 9月21日生 | 1988年 4月<br>2011年 7月<br>2015年 6月<br>2016年 6月<br>2018年 6月<br><br>(主要な兼職)<br>2018年 6月                      | 当社入社<br>当社鉄道本部運輸部長<br>当社取締役<br>京成建設株式会社取締役社長<br>当社常務取締役(現)<br><br>京成建設株式会社取締役会長                                   | (注)3 | 115           |
| 常務取締役<br>経理担当兼経理部長             | 河 角 誠   | 1967年 3月 8日生 | 1989年 4月<br>2012年 7月<br>2016年 6月<br>2019年 6月   | 当社入社<br>当社総務人事部付部長<br>当社取締役<br>当社常務取締役(現)   | (注)3 | 105           |
| 常務取締役<br>開発担当                  | 登 嶋 進   | 1967年 7月13日生 | 1990年 4月<br>2013年 7月<br>2016年 6月<br>2019年 6月<br><br>(主要な兼職)<br>2018年 6月                                  | 当社入社<br>当社総務人事部長<br>当社取締役<br>当社常務取締役(現)<br><br>京成不動産株式会社取締役社長   | (注)3 | 80            |
| 取締役<br>鉄道副本部長<br>兼<br>鉄道本部車両部長 | 田 中 亜 夫 | 1965年 8月29日生 | 1989年 4月<br>2013年 7月<br>2018年 6月   | 当社入社<br>当社鉄道本部車両部長<br>当社取締役(現)  | (注)3 | 78            |

| 役職名                           | 氏名     | 生年月日         | 略歴   |   | 任期   | 所有株式数<br>(百株) |
|-------------------------------|--------|--------------|--|---|------|---------------|
| 取締役<br>内部監査・経営統括・<br>グループ戦略担当 | 金子 庄吉  | 1967年2月17日生  | 1990年4月<br>2013年7月<br>2017年6月<br>2018年6月   | 当社入社<br>当社鉄道本部計画管理部長<br>当社内部監査部長兼経営統括部長<br>当社取締役(現)   | (注)3 | 66            |
| 取締役                           | 古川 康信  | 1953年10月11日生 | 1980年9月<br>2008年8月<br>2010年8月<br>2012年8月<br>2014年6月  | 公認会計士登録<br>新日本有限責任監査法人常務理事<br>同監査法人経営専務理事<br>同監査法人シニア・アドバイザー<br>当社取締役(現)  | (注)3 |               |
| 取締役                           | 栃木 庄太郎 | 1946年11月11日生 | 1973年4月<br>2007年7月<br>2009年4月<br><br>2009年4月<br>2009年4月<br><br>2018年6月                       | 検事任官<br>福岡高等検察庁検事長<br>公益財団法人国際研修協力機構<br>理事長<br>弁護士登録(第一東京弁護士会)<br>栃木法律事務所開設<br>同事務所弁護士(現)<br>当社取締役(現)   | (注)3 |               |
| 取締役                           | 伊藤 幸宏  | 1954年2月3日生   | 1974年4月<br>2005年5月<br>2005年10月<br><br>2006年6月<br><br>2009年6月<br>2019年6月                      | 株式会社三和銀行入行<br>株式会社UFJ銀行執行役員<br>株式会社三菱UFJフィナンシャル・<br>グループ執行役員<br>エム・ユー・フロンティア債権回収<br>株式会社常務取締役<br>日新製鋼株式会社監査役<br>当社取締役(現)                                    | (注)3 |               |
| 取締役                           | 加藤 雅哉  | 1960年8月6日生   | 1983年4月<br>2013年4月<br>2014年6月<br>2015年6月<br>2017年4月<br><br>2019年5月<br>2019年6月<br><br>2019年6月 | 株式会社日本興業銀行入行<br>みずほ証券株式会社執行役員<br>当社取締役<br>当社常務取締役<br>ケイ・アンド・アール・ホテルデベ<br>ロップメント株式会社取締役社長<br>(現)<br>京成ホテル株式会社取締役社長(現)<br>株式会社千葉京成ホテル取締役社長<br>(現)<br>当社取締役(現) | (注)3 | 113           |
| 常勤監査役                         | 河上 守   | 1954年3月5日生   | 1976年4月<br>2003年7月<br>2006年5月<br>2010年6月<br>2012年4月<br>2012年6月<br>2016年6月                    | 三井信託銀行株式会社入社<br>中央三井信託銀行株式会社執行役員<br>同社常務執行役員<br>同社取締役専務執行役員<br>三井住友信託銀行株式会社顧問<br>株式会社日本製鋼所常勤監査役<br>当社常勤監査役(現)   | (注)4 | 50            |
| 常勤監査役                         | 佐藤 賢治  | 1959年6月8日生   | 1982年4月<br>2007年7月<br>2011年6月<br>2014年5月<br>2019年6月  | 当社入社<br>当社総務人事部付部長<br>当社取締役<br>株式会社京成ストア取締役社長<br>当社常勤監査役(現)   | (注)5 | 145           |
| 監査役                           | 上西 京一郎 | 1958年1月15日生  | 1980年4月<br>2003年6月<br>2005年5月<br>2009年4月<br><br>2009年6月                                      | 株式会社オリエンタルランド入社<br>同社取締役<br>同社取締役執行役員<br>同社取締役社長<br>(兼)COO社長執行役員(現)<br>当社監査役(現)   | (注)6 |               |

| 役職名 | 氏名   | 生年月日         | 略歴   | 任期   | 所有株式数<br>(百株) |
|-----|------|--------------|--|------|---------------|
| 監査役 | 松山保臣 | 1956年11月14日生 | 1979年4月 日本生命保険相互会社入社<br>2006年7月 同社取締役<br>2007年1月 同社取締役執行役員<br>2007年7月 同社執行役員<br>2009年3月 同社常務執行役員<br>2009年7月 同社取締役常務執行役員<br>2011年4月 同社取締役専務執行役員<br>2013年3月 同社取締役<br>2013年4月 株式会社星和ビジネスリンク顧問<br>2013年6月 同社取締役社長<br>2016年6月 当社監査役(現)<br>2017年6月 ニッセイ情報テクノロジー株式会社<br>取締役会長<br>2019年6月 公益財団法人ニッセイ文化振興財団<br>理事長(現)<br>2019年6月 公益財団法人東京オペラシティ文化<br>財団理事長(現) | (注)7 |               |
| 監査役 | 小林健  | 1955年4月11日生  | 1979年4月 日本開発銀行入行<br>2009年6月 株式会社日本政策投資銀行執行役員<br>2010年6月 同社常務執行役員<br>2011年6月 同社監査役<br>2014年6月 日本原燃株式会社取締役常務執行<br>役員<br>2016年6月 同社常務執行役員<br>2018年6月 株式会社日本政策投資銀行設備投資<br>研究所顧問(現)<br>2019年6月 DBJキャピタル株式会社取締役会長<br>(現)<br>2019年6月 当社監査役(現)   | (注)8 |               |
| 計   |      |              |  |      | 1,965         |

- (注) 1 取締役古川康信、栃木庄太郎、伊藤幸宏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
2 常勤監査役河上守、監査役上西京一郎、松山保臣及び小林健は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。  
3 取締役の任期は、2019年3月期に係る定時株主総会終結の時から2020年3月期に係る定時株主総会終結の時までであります。  
4 常勤監査役河上守の任期は、2016年3月期に係る定時株主総会終結の時から2020年3月期に係る定時株主総会終結の時までであります。  
5 常勤監査役佐藤賢治の任期は、2019年3月期に係る定時株主総会終結の時から2021年3月期に係る定時株主総会終結の時までであります。  
6 監査役上西京一郎の任期は、2018年3月期に係る定時株主総会終結の時から2022年3月期に係る定時株主総会終結の時までであります。  
7 監査役松山保臣の任期は、2016年3月期に係る定時株主総会終結の時から2020年3月期に係る定時株主総会終結の時までであります。  
8 監査役小林健の任期は、2019年3月期に係る定時株主総会終結の時から2023年3月期に係る定時株主総会終結の時までであります。

## 社外役員の状況

当社の取締役12名のうち3名が社外取締役であります。また、監査役5名のうち4名が社外監査役（常勤監査役1名、非常勤監査役3名）であります。社外取締役及び社外監査役により、当社の経営執行等の適法性について、客観的・中立的な立場から有効な意見等が提供されるものと考えております。

なお、当社は、東京証券取引所が定める独立役員の独立性に関する判断基準等を参考に、社外役員（社外取締役及び社外監査役）の独立性を判断する基準を、以下のとおり定めております。

### （社外役員の独立性に関する基準）

当社における独立性のある社外役員は、原則として、次のいずれの要件にも該当しない者とする。

#### （1）過去3事業年度において下記a～fのいずれかに該当していた者

- a. 当社の主要な取引先（1事業年度当たりの取引額が、当社の連結営業収益の2%以上又は当該取引先の連結営業収益の2%以上となる取引先）である者又はその業務執行者（業務執行取締役、執行役、支配人その他の使用人等をいう。以下、同じ。）
- b. 当社の主要な借入先（各事業年度末において当社の資金調達につき代替性がない程度に依存している金融機関その他の大口債権者）である者又はその業務執行者
- c. 当社から、コンサルタント、会計専門家又は法律専門家として役員報酬以外に1事業年度当たり1,000万円を超える金銭その他の財産上の利益を得ている者
- d. 上記c.の利益を得ている者が団体である場合は、1事業年度当たりの当社から当該団体に対する支払額が当該団体の年間収入の10%を超える団体に所属する者
- e. 当社の主要株主（議決権保有比率の10%以上を保有する株主）である者又はその業務執行者
- f. 当社から1事業年度当たり1,000万円を超える寄付を受けている者又はその業務執行者

#### （2）次に掲げる者の配偶者又は二親等内の親族

- a. 上記（1）に掲げる者
- b. 現在又は直近3年以内の期間において当社又は当社の子会社の業務執行者であった者
- c. 現在又は直近3年以内の期間において当社の子会社の非業務執行取締役であった者

社外取締役の古川康信氏は、EY新日本有限責任監査法人の元シニア・アドバイザーであります。同氏は、EY新日本有限責任監査法人の出身者であります。同氏及び同団体に対して、当社が取締役報酬以外に多額の金銭その他の財産を支払っている事実はありません。従って、当社は同氏との間に特別の利害関係を有するものではなく、一般株主と利益相反が生じる恐れはないと判断しております。

社外取締役の栃木庄太郎氏は、栃木法律事務所の弁護士であります。同氏及び同氏の所属する団体に対して、当社が金銭その他の財産を支払っている事実はありません。従って、当社は同氏との間に特別の利害関係を有するものではなく、一般株主と利益相反が生じる恐れはないと判断しております。

社外取締役の伊藤幸宏氏は、株式会社三菱UFJ銀行の元執行役員であります。同氏は、当社の資金借入先である株式会社三菱UFJ銀行の出身者であります。当社は、同社からの借入金当社の意思決定に影響を及ぼすことがないと認識しております。従って、当社は同氏との間に特別の利害関係を有するものではなく、一般株主と利益相反が生じる恐れはないと判断しております。

社外監査役（常勤監査役）の河上守氏は、三井住友信託銀行株式会社の元取締役であります。同氏は、当社の資金借入先である三井住友信託銀行株式会社の出身者であります。当社は、同社からの借入金当社の意思決定に影響を及ぼすことがないと認識しております。従って、当社は同氏との間に特別の利害関係を有するものではなく、一般株主と利益相反が生じる恐れはないと判断しております。

社外監査役（非常勤監査役）の松山保臣氏は、日本生命保険相互会社の元取締役であります。同氏は、当社の資金借入先である日本生命保険相互会社の出身者であります。当社は、同社からの借入金当社の意思決定に影響を及ぼすことがないと認識しております。従って、当社は同氏との間に特別の利害関係を有するものではなく、一般株主と利益相反が生じる恐れはないと判断しております。

社外監査役（非常勤監査役）の上西京一郎氏は、株式会社オリエンタルランドの取締役社長兼COOであります。同氏は、当社の取引先である株式会社オリエンタルランドの取締役社長兼COOであります。当事業年度における当社と同社との取引関係は、テーマパークチケットの購入といった一般消費者と同様の取引等に限られ、当該取引額は当社及び同社双方の売上高の1%未満と僅少です。なお、当社は同社と同一の事業の部類に属する取引（土地建物の売買及び賃貸業）を行っておりますが、同社の主要な事業はテーマパークの経営・運営で

あるため、当社と同社との間に競業関係はありません。また、当社相談役の花田力が同社の社外取締役就任しておりますが、同氏は当社の経営・業務執行には直接関与していないため当社経営陣との間に特別の利害関係を有するものではなく、経営者としての経験に基づき選任されているにすぎません。従って、当社は上西氏との間に特別の利害関係を有するものではなく、一般株主と利益相反が生じる恐れはないと判断しております。

社外監査役（非常勤監査役）の小林健氏は、株式会社日本政策投資銀行の元常務執行役員であります。同氏は、当社の資金借入先である株式会社日本政策投資銀行の出身者であります。既に退任しております。従って、当社は同氏との間に特別の利害関係を有するものではなく、一般株主と利益相反が生じる恐れはないと判断しております。

各氏の当社株式の所有株式数につきましては、「第4 提出会社の状況 4 コーポレート・ガバナンスの状況等 (2) 役員の状況 役員一覧」に記載しております。

#### 社外取締役又は社外監査役による監督又は監査と内部監査、監査役監査及び会計監査との相互連携並びに内部統制部門との関係

社外取締役は、取締役会等を通じて内部監査、監査役監査、会計監査等の状況を把握し、客観的立場から監督機能を果たしているほか、内部統制システムに関する基本方針の運用状況について内部統制部門から報告を受けております。

社外監査役は、取締役会や監査役会等を通じて内部監査、監査役監査、会計監査等の状況及び内部統制に係る事項について定期的に報告を受け、監査の実効性及び有効性を検証しております。

なお、当社では、社外取締役は総務人事部秘書課が、社外監査役は監査役会事務局がそれぞれ連絡・調整窓口となり、職務の遂行に必要となる情報・資料を速やかに提供しているほか、必要に応じて情報交換を行う体制を整えております。

### (3) 【監査の状況】

#### 監査役監査の状況

監査役監査は、監査役会にて、「監査の方針と計画」を決定、各監査役が業務の分担等に従い、取締役会、経営会議、コンプライアンス・リスク管理委員会など、取締役の職務執行上重要な会議に出席し、必要に応じ意見を述べているほか、重要な決裁書類の閲覧、当社事業所及び子会社の現地調査等を行っております。また、会計監査人監査の報告を随時求めるなど会計監査人とも緊密な連携を保っております。

#### 内部監査の状況

業務執行組織から独立した内部監査を実施する体制として内部監査部（8名）を設置し、コンプライアンス・リスク管理委員会の審議を経て決定した年度計画に基づき、監査役と連携してグループ会社を含む財務報告に関する内部監査、コンプライアンスに関する内部監査、業務執行に関する内部監査、業務効率に関する内部監査を計画的に実施しております。指摘事項があれば速やかに是正させ、結果をコンプライアンス・リスク管理委員会及び経営会議に報告しております。また、コンプライアンス・リスク管理体制の実効性を高めるため、法令の違反行為等の通報窓口を内部並びに外部に設置しており、通報内容に応じて迅速に対応する体制を整えております。

#### 会計監査の状況

##### a．監査法人の名称

有限責任監査法人トーマツ

##### b．業務を執行した公認会計士

滝沢 勝己

古賀 祐一郎

##### c．監査業務に係る補助者の構成

当社の会計監査業務に係る補助者は、公認会計士10名、その他21名であります。

##### d．監査法人の選定方針と理由

当社の会計監査人に必要とされる専門性、独立性、及び品質管理体制を有していることに加え、鉄道事業を始めとした当社グループの多様な事業活動への理解度等を総合的に勘案の上、選定しております。

##### e．監査役及び監査役会による監査法人の評価

監査役会規則第18条及び監査役監査基準第34条並びに会計監査人の評価・選定基準に基づき、会計監査人の職務遂行状況、監査体制、独立性及び専門性等を評価した結果、「会計監査人の解任または不再任の決定の方針」に定める事由に該当する事実はなく、かつ適切に監査業務が実施されていることを確認しております。



監査報酬の内容等

a. 監査公認会計士等に対する報酬

| 区分    | 前連結会計年度               |                      | 当連結会計年度               |                      |
|-------|-----------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|
|       | 監査証明業務に<br>基づく報酬(百万円) | 非監査業務に<br>基づく報酬(百万円) | 監査証明業務に<br>基づく報酬(百万円) | 非監査業務に<br>基づく報酬(百万円) |
| 提出会社  | 66                    |                      | 71                    | 3                    |
| 連結子会社 | 29                    | 3                    | 37                    | 3                    |
| 計     | 96                    | 3                    | 108                   | 6                    |

当社は、会計監査人に対して、公認会計士法第2条第1項の業務以外の業務（非監査業務）であるコンフォートレター作成業務を委託しております。

b. 監査公認会計士等と同一のネットワークに属する組織に対する報酬（a.を除く）

該当事項はありません。

c. その他の重要な監査証明業務に基づく報酬の内容

該当事項はありません。

d. 監査報酬の決定方針

該当事項はありません。

e. 監査役会が会計監査人の報酬等に同意した理由

当社監査役会は、会計監査人から提示を受けた当連結会計年度の監査契約の内容及び必要な監査品質を維持するための監査体制・監査時間は妥当であり、それらをもとに算定された報酬額も妥当であると判断し、会計監査人の報酬等の額について同意いたしました。

(4) 【役員の報酬等】

役員の報酬等の額又はその算定方法の決定に関する方針に係る事項

当社の取締役報酬は、役職位及び経営環境や業績等を勘案して定める報酬部分に加え、自社株取得目的報酬部分で構成され、これにより中長期的視点による企業価値向上への各取締役の貢献意欲が高まるものと考えております。なお、賞与及び退職慰労金の支給はありません。

取締役報酬に係る基本方針につきましては、取締役会の下に設置した独立社外取締役を主要な構成員とし取締役社長が委員長を務める指名・報酬委員会で内容の妥当性を検討し取締役会へ答申、社長が決定しております。また、各取締役の報酬につきましては、指名・報酬委員会で原案の妥当性を検討し取締役会へ答申、取締役会で社長へ一任する旨の決議を得た上で支給しております。監査役報酬につきましては、独立社外監査役が出席する監査役会にて報酬を協議し決定しております。

取締役報酬につきましては、2010年6月29日開催の第167期定時株主総会において取締役（当社定款の定めにより20名以内）の報酬額について年額400百万円以内として決議しており、監査役報酬につきましては、2006年6月29日開催の第163期定時株主総会において監査役（当社定款の定めにより5名以内）の報酬額について月額7百万円以内として決議しております。

提出会社の役員区分ごとの報酬等の総額、報酬等の種類別の総額及び対象となる役員の員数

| 役員区分              | 報酬等の総額<br>(百万円) | 報酬等の種類別の総額(百万円) |        |       | 対象となる<br>役員の員数<br>(名) |
|-------------------|-----------------|-----------------|--------|-------|-----------------------|
|                   |                 | 固定報酬            | 業績連動報酬 | 退職慰労金 |                       |
| 取締役<br>(社外取締役を除く) | 254             | 254             |        |       | 17                    |
| 監査役<br>(社外監査役を除く) | 1               | 1               |        |       | 1                     |
| 社外役員              | 81              | 81              |        |       | 8                     |

監査役(社外監査役を除く)と社外役員には、年度中に区分が変更になった1名が重複しております。

提出会社の役員ごとの連結報酬等の総額等

連結報酬等の総額が1億円以上である者が存在しないため、記載しておりません。

(5) 【株式の保有状況】

投資株式の区分の基準及び考え方

当社は、保有目的が純投資目的である投資株式と純投資目的以外の目的である投資株式の区分について、専ら株式の価値の変動又は株式に係る配当によって利益を受けることを目的とするものを純投資目的である投資株式に、保有先との取引・協力関係の構築・維持強化がなされ、当社及び当社グループの中長期的な企業価値向上に資することを目的とするものを純投資目的以外の目的である投資株式に区分しております。

保有目的が純投資目的以外の目的である投資株式

a．保有方針及び保有の合理性を検証する方法並びに個別銘柄の保有の適否に関する取締役会等における検証の内容

保有先との取引・協力関係の構築・維持強化がなされ、当社及び当社グループの中長期的な企業価値向上に資すると判断した場合に取得・保有することとしております。なお、毎年、取締役会で個別の保有株式について現在の取引・協力関係の状況等を報告し、定性・定量的な観点から当該株式の保有に伴う便益やリスク、中長期的な経済合理性等を精査し、保有意義を検証しております。

b．銘柄数及び貸借対照表計上額

|            | 銘柄数<br>(銘柄) | 貸借対照表計上額の<br>合計額(百万円) |
|------------|-------------|-----------------------|
| 非上場株式      | 31          | 2,203                 |
| 非上場株式以外の株式 | 16          | 9,944                 |

(当事業年度において株式数が増加した銘柄)

|            | 銘柄数<br>(銘柄) | 株式数の増加に係る取得<br>価額の合計額(百万円) | 株式数の増加の理由  |
|------------|-------------|----------------------------|--|
| 非上場株式      | 1           | 300                        | 保有先との協力関係を維持することにより、当社及び当社グループの中長期的な企業価値向上に資すると判断したため。             |
| 非上場株式以外の株式 | 3           | 2,299                      | 保有先との連携による収益拡大、ノウハウ共有等が見込めることから、当社及び当社グループの中長期的な企業価値向上に資すると判断したため。 |

(当事業年度において株式数が減少した銘柄)

|            | 銘柄数<br>(銘柄) | 株式数の減少に係る売却<br>価額の合計額(百万円) |
|------------|-------------|----------------------------|
| 非上場株式      | 4           | 1,220                      |
| 非上場株式以外の株式 |             |                            |

c. 特定投資株式及びみなし保有株式の銘柄ごとの株式数、貸借対照表計上額等に関する情報

特定投資株式

| 銘柄                        | 当事業年度                       | 前事業年度                       | 保有目的、定量的な保有効果<br>及び株式数が増加した理由   | 当社の<br>株式の<br>保有の有無 |
|---------------------------|-----------------------------|-----------------------------|---|---------------------|
|                           | 株式数(株)<br>貸借対照表計上額<br>(百万円) | 株式数(株)<br>貸借対照表計上額<br>(百万円) |   |                     |
| 京浜急行電鉄(株)                 | 1,228,500                   | 1,228,500                   | 運輸業・不動産業における取引・協力関係の維持強化のため保有しております。<br>2   | 有                   |
|                           | 2,307                       | 2,272                       |   |                     |
| 京王電鉄(株)                   | 211,500                     | 211,500                     | 運輸業・不動産業における取引・協力関係の維持強化のため保有しております。<br>2   | 有                   |
|                           | 1,512                       | 961                         |   |                     |
| 東武鉄道(株)                   | 369,400                     | 369,400                     | 運輸業・不動産業における取引・協力関係の維持強化のため保有しております。<br>2   | 有                   |
|                           | 1,180                       | 1,183                       |   |                     |
| 三井不動産(株)                  | 410,000                     | 410,000                     | 運輸業・不動産業・流通業における取引・協力関係の維持強化のため保有しております。<br>2   | 有                   |
|                           | 1,140                       | 1,058                       |   |                     |
| 南海電気鉄道(株)                 | 365,800                     | -                           | 運輸業・不動産業における取引・協力関係の維持強化のため保有しております。<br>関係強化による収益拡大、ノウハウ共有等が見込めると判断し当事業年度において新たに株式を取得しております。<br>2       | 有                   |
|                           | 1,117                       | -                           |   |                     |
| ANAホールディングス(株)            | 245,300                     | -                           | 運輸業・不動産業・レジャー業における取引・協力関係の維持強化のため保有しております。<br>関係強化による収益拡大、ノウハウ共有等が見込めると判断し当事業年度において新たに株式を取得しております。<br>2 | 有                   |
|                           | 995                         | -                           |   |                     |
| (株)西武ホールディングス             | 317,700                     | 165,100                     | 運輸業・不動産業における取引・協力関係の維持強化のため保有しております。<br>関係強化による収益拡大等が見込めると判断し当事業年度において株式数を増やしております。<br>2                | 無<br>3              |
|                           | 615                         | 305                         |   |                     |
| (株)千葉銀行<br>1              | 490,000                     | 490,000                     | 金融機関との取引・協力関係の維持強化のため保有しております。<br>2   | 有                   |
|                           | 294                         | 418                         |   |                     |
| 三菱電機(株)<br>1              | 179,000                     | 179,000                     | 運輸業・建設業における取引・協力関係の維持強化のため保有しております。<br>2  | 有                   |
|                           | 254                         | 304                         |   |                     |
| (株)めぶきフィナンシャルグループ<br>1    | 651,690                     | 651,690                     | 金融機関との取引・協力関係の維持強化のため保有しております。<br>2   | 無<br>3              |
|                           | 184                         | 266                         |   |                     |
| (株)高島屋<br>1               | 99,000                      | 198,000                     | 流通業における取引・協力関係の維持強化のため保有しております。<br>2  | 有                   |
|                           | 145                         | 202                         |   |                     |
| (株)京葉銀行<br>1              | 111,500                     | 223,000                     | 金融機関との取引・協力関係の維持強化のため保有しております。<br>2   | 有                   |
|                           | 72                          | 105                         |   |                     |
| (株)オリエントコーポレーション<br>1     | 603,500                     | 603,500                     | 不動産業・その他の事業における取引・協力関係の維持強化のため保有しております。<br>2  | 有                   |
|                           | 68                          | 100                         |   |                     |
| 三井住友トラスト・ホールディングス(株)<br>1 | 7,923                       | 7,923                       | 金融機関との取引・協力関係の維持強化のため保有しております。<br>2   | 無<br>3              |
|                           | 31                          | 34                          |   |                     |
| (株)三菱UFJフィナンシャル・グループ<br>1 | 25,600                      | 25,600                      | 金融機関との取引・協力関係の維持強化のため保有しております。<br>2   | 無<br>3              |
|                           | 14                          | 17                          |   |                     |
| (株)みずほフィナンシャルグループ<br>1    | 60,710                      | 60,710                      | 金融機関との取引・協力関係の維持強化のため保有しております。<br>2   | 無<br>3              |
|                           | 10                          | 11                          |   |                     |

(注) 1 貸借対照表計上額が資本金額の100分の1以下ではありますが、上位16銘柄について記載しております。  
2 定量的な保有効果の記載は困難ですが、毎年取締役会で当該株式の保有に伴う便益やリスク、中長期的な経済合理性等を精査し、検証しております。  
3 直接の保有はありませんが、傘下の子会社が当社株式を保有しております。

みなし保有株式

該当事項はありません。

保有目的が純投資目的である投資株式  
該当事項はありません。

当事業年度中に投資株式の保有目的を純投資目的から純投資目的以外の目的に変更したものの  
該当事項はありません。

当事業年度中に投資株式の保有目的を純投資目的以外の目的から純投資目的に変更したものの  
該当事項はありません。

## 第5 【経理の状況】

### 1 連結財務諸表及び財務諸表の作成方法について

- (1) 当社の連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和51年大蔵省令第28号）に基づいて作成しております。
- (2) 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）第2条の規定に基づき、同規則並びに「鉄道事業会計規則」（昭和62年運輸省令第7号）により作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、連結会計年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)の連結財務諸表及び事業年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)の財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより監査を受けております。

### 3 連結財務諸表等の適正性を確保するための特段の取組みについて

当社は、連結財務諸表等の適正性を確保するための特段の取組みを行っております。具体的には、会計基準等の内容を適切に把握し、又は会計基準等の変更等について適確に対応することができる体制を整備するため、公益財団法人財務会計基準機構へ加入し、セミナーへ参加しております。

## 1 【連結財務諸表等】

## (1) 【連結財務諸表】

## 【連結貸借対照表】

(単位：百万円)

|                   | 前連結会計年度<br>(2018年3月31日) | 当連結会計年度<br>(2019年3月31日) |
|-------------------|-------------------------|-------------------------|
| <b>資産の部</b>       |                         |                         |
| <b>流動資産</b>       |                         |                         |
| 現金及び預金            | 24,611                  | 25,214                  |
| 受取手形及び売掛金         | 20,308                  | 22,325                  |
| 分譲土地建物            | 6,267                   | 7,564                   |
| 商品                | 2,435                   | 2,135                   |
| 仕掛品               | 576                     | 647                     |
| 原材料及び貯蔵品          | 2,547                   | 2,751                   |
| その他               | 10,003                  | 11,822                  |
| 貸倒引当金             | 31                      | 33                      |
| <b>流動資産合計</b>     | <b>66,718</b>           | <b>72,428</b>           |
| <b>固定資産</b>       |                         |                         |
| <b>有形固定資産</b>     |                         |                         |
| 建物及び構築物（純額）       | 3 270,309               | 3 279,404               |
| 機械装置及び運搬具（純額）     | 3 20,939                | 3 21,786                |
| 土地                | 3 150,173               | 3 164,018               |
| リース資産（純額）         | 31,246                  | 33,072                  |
| 建設仮勘定             | 24,115                  | 31,145                  |
| その他（純額）           | 3 2,368                 | 3 2,657                 |
| <b>有形固定資産合計</b>   | <b>1, 4 499,151</b>     | <b>1, 4 532,084</b>     |
| <b>無形固定資産</b>     |                         |                         |
| リース資産             | 1,338                   | 1,368                   |
| その他               | 3 9,416                 | 3 9,434                 |
| <b>無形固定資産合計</b>   | <b>10,755</b>           | <b>10,802</b>           |
| <b>投資その他の資産</b>   |                         |                         |
| 投資有価証券            | 2, 3 200,159            | 2, 3 219,354            |
| 長期貸付金             | 606                     | 579                     |
| 繰延税金資産            | 13,481                  | 13,763                  |
| その他               | 3 3,860                 | 3 3,871                 |
| 貸倒引当金             | 135                     | 131                     |
| <b>投資その他の資産合計</b> | <b>217,972</b>          | <b>237,437</b>          |
| <b>固定資産合計</b>     | <b>727,879</b>          | <b>780,324</b>          |
| <b>繰延資産</b>       |                         |                         |
| 社債発行費             | 114                     | 272                     |
| <b>繰延資産合計</b>     | <b>114</b>              | <b>272</b>              |
| <b>資産合計</b>       | <b>794,712</b>          | <b>853,025</b>          |

(単位：百万円)

|                    | 前連結会計年度<br>(2018年3月31日) | 当連結会計年度<br>(2019年3月31日) |
|--------------------|-------------------------|-------------------------|
| <b>負債の部</b>        |                         |                         |
| <b>流動負債</b>        |                         |                         |
| 支払手形及び買掛金          | 3 20,730                | 3 20,864                |
| 短期借入金              | 3 60,842                | 3 63,474                |
| 1年内償還予定の社債         |                         | 10,000                  |
| リース債務              | 4,489                   | 5,043                   |
| 未払法人税等             | 5,870                   | 5,548                   |
| 前受金                | 18,320                  | 20,727                  |
| 賞与引当金              | 2,925                   | 3,038                   |
| 役員賞与引当金            | 39                      | 37                      |
| その他                | 3 34,906                | 3 35,157                |
| 流動負債合計             | 148,125                 | 163,891                 |
| <b>固定負債</b>        |                         |                         |
| 社債                 | 40,000                  | 60,000                  |
| 長期借入金              | 3 122,747               | 3 108,289               |
| 鉄道・運輸機構長期未払金       | 3 52,381                | 3 49,470                |
| リース債務              | 20,121                  | 21,956                  |
| 繰延税金負債             | 1,877                   | 1,538                   |
| 役員退職慰労引当金          | 360                     | 318                     |
| 退職給付に係る負債          | 31,074                  | 33,218                  |
| その他                | 3 11,601                | 3 11,440                |
| 固定負債合計             | 280,164                 | 286,233                 |
| 負債合計               | 428,289                 | 450,124                 |
| <b>純資産の部</b>       |                         |                         |
| <b>株主資本</b>        |                         |                         |
| 資本金                | 36,803                  | 36,803                  |
| 資本剰余金              | 28,538                  | 28,548                  |
| 利益剰余金              | 286,704                 | 322,842                 |
| 自己株式               | 2,049                   | 2,050                   |
| 株主資本合計             | 349,997                 | 386,144                 |
| <b>その他の包括利益累計額</b> |                         |                         |
| その他有価証券評価差額金       | 4,488                   | 4,730                   |
| 繰延ヘッジ損益            | 69                      |                         |
| 退職給付に係る調整累計額       | 138                     | 1,410                   |
| その他の包括利益累計額合計      | 4,556                   | 3,319                   |
| 非支配株主持分            | 11,869                  | 13,436                  |
| 純資産合計              | 366,423                 | 402,901                 |
| 負債純資産合計            | 794,712                 | 853,025                 |



## 【連結損益計算書及び連結包括利益計算書】

## 【連結損益計算書】

(単位：百万円)

|                 | 前連結会計年度<br>(自 2017年 4月 1日<br>至 2018年 3月 31日) | 当連結会計年度<br>(自 2018年 4月 1日<br>至 2019年 3月 31日) |
|-----------------|--|--|
| 営業収益            | 255,028                                      | 261,553                                      |
| 営業費             |  |  |
| 運輸業等営業費及び売上原価   | 189,738                                      | 193,314                                      |
| 販売費及び一般管理費      | 1 35,204                                     | 1 36,630                                     |
| 営業費合計           | 224,943                                      | 229,944                                      |
| 営業利益            | 30,085                                       | 31,608                                       |
| 営業外収益           |  |  |
| 受取利息            | 140  | 144  |
| 受取配当金           | 228  | 284  |
| 持分法による投資利益      | 18,178                                       | 20,211                                       |
| 雑収入             | 1,695  | 1,556  |
| 営業外収益合計         | 20,243                                       | 22,196                                       |
| 営業外費用           |  |  |
| 支払利息            | 2,683  | 2,492  |
| 雑支出             | 500  | 592  |
| 営業外費用合計         | 3,183  | 3,084  |
| 経常利益            | 47,145                                       | 50,720                                       |
| 特別利益            |  |  |
| 工事負担金等受入額       | 2,623  | 1,147  |
| 投資有価証券売却益       | 2 233  | 2 418  |
| その他             | 104  | 48   |
| 特別利益合計          | 2,961  | 1,614  |
| 特別損失            |  |  |
| 固定資産圧縮損         | 3 2,470                                      | 3 1,078                                      |
| 固定資産除却損         | 4 638  | 4 392  |
| 減損損失            | 5 448  | 5 98   |
| 事業撤退損           | 420  |  |
| その他             | 103  | 201  |
| 特別損失合計          | 4,080  | 1,770  |
| 税金等調整前当期純利益     | 46,025                                       | 50,563                                       |
| 法人税、住民税及び事業税    | 9,749  | 10,180                                       |
| 法人税等調整額         | 289  | 65   |
| 法人税等合計          | 9,459  | 10,115                                       |
| 当期純利益           | 36,566                                       | 40,448                                       |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 1,754  | 1,805  |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 34,811                                       | 38,642                                       |

【連結包括利益計算書】

(単位：百万円)

|                  | 前連結会計年度<br>(自 2017年 4月 1日<br>至 2018年 3月 31日) | 当連結会計年度<br>(自 2018年 4月 1日<br>至 2019年 3月 31日) |
|------------------|--|--|
| 当期純利益            | 36,566                                       | 40,448                                       |
| その他の包括利益         |  |  |
| その他有価証券評価差額金     | 152  | 182  |
| 退職給付に係る調整額       | 64   | 1,451  |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 315  | 27   |
| その他の包括利益合計       | 1 98   | 1 1,241                                      |
| 包括利益             | 36,664                                       | 39,207                                       |
| (内訳)             |  |  |
| 親会社株主に係る包括利益     | 34,909                                       | 37,406                                       |
| 非支配株主に係る包括利益     | 1,755  | 1,800  |

【連結株主資本等変動計算書】

前連結会計年度(自 2017年 4月 1日 至 2018年 3月31日)

(単位：百万円)

|                                   | 株主資本   |        |         |       |         |
|-----------------------------------|--------|--------|---------|-------|---------|
|                                   | 資本金    | 資本剰余金  | 利益剰余金   | 自己株式  | 株主資本合計  |
| 当期首残高                             | 36,803 | 28,533 | 254,307 | 2,036 | 317,608 |
| 当期変動額                             |        |        |         |       |         |
| 剰余金の配当                            |        |        | 2,576   |       | 2,576   |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益               |        |        | 34,811  |       | 34,811  |
| 連結範囲の変動                           |        |        | 146     |       | 146     |
| 連結子会社と非連結子会<br>社との合併に伴う変動         |        |        | 15      |       | 15      |
| 自己株式の取得                           |        |        |         |       |         |
| 自己株式の処分                           |        | 0      |         | 0     | 0       |
| 持分法適用会社に対する<br>持分変動に伴う自己株式<br>の増減 |        |        |         | 13    | 13      |
| 非支配株主との取引に<br>係る親会社の持分変動          |        | 5      |         |       | 5       |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額）           |        |        |         |       |         |
| 当期変動額合計                           |        | 5      | 32,397  | 13    | 32,388  |
| 当期末残高                             | 36,803 | 28,538 | 286,704 | 2,049 | 349,997 |

|                                   | その他の包括利益累計額      |         |                  |                   | 非支配株主持分 | 純資産合計   |
|-----------------------------------|------------------|---------|------------------|-------------------|---------|---------|
|                                   | その他有価証券<br>評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 退職給付に係る<br>調整累計額 | その他の包括利益<br>累計額合計 |         |         |
| 当期首残高                             | 4,491            | 70      | 37               | 4,458             | 10,277  | 332,344 |
| 当期変動額                             |                  |         |                  |                   |         |         |
| 剰余金の配当                            |                  |         |                  |                   |         | 2,576   |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益               |                  |         |                  |                   |         | 34,811  |
| 連結範囲の変動                           |                  |         |                  |                   |         | 146     |
| 連結子会社と非連結子会<br>社との合併に伴う変動         |                  |         |                  |                   |         | 15      |
| 自己株式の取得                           |                  |         |                  |                   |         |         |
| 自己株式の処分                           |                  |         |                  |                   |         | 0       |
| 持分法適用会社に対する<br>持分変動に伴う自己株式<br>の増減 |                  |         |                  |                   |         | 13      |
| 非支配株主との取引に<br>係る親会社の持分変動          |                  |         |                  |                   |         | 5       |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額）           | 3                | 0       | 100              | 98                | 1,591   | 1,689   |
| 当期変動額合計                           | 3                | 0       | 100              | 98                | 1,591   | 34,078  |
| 当期末残高                             | 4,488            | 69      | 138              | 4,556             | 11,869  | 366,423 |

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

|                                   | 株主資本   |        |         |       |         |
|-----------------------------------|--------|--------|---------|-------|---------|
|                                   | 資本金    | 資本剰余金  | 利益剰余金   | 自己株式  | 株主資本合計  |
| 当期首残高                             | 36,803 | 28,538 | 286,704 | 2,049 | 349,997 |
| 当期変動額                             |        |        |         |       |         |
| 剰余金の配当                            |        |        | 2,662   |       | 2,662   |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益               |        |        | 38,642  |       | 38,642  |
| 連結範囲の変動                           |        |        | 157     |       | 157     |
| 連結子会社と非連結子会<br>社との合併に伴う変動         |        |        |         |       |         |
| 自己株式の取得                           |        |        |         | 0     | 0       |
| 自己株式の処分                           |        |        |         |       |         |
| 持分法適用会社に対する<br>持分変動に伴う自己株式<br>の増減 |        |        |         |       |         |
| 非支配株主との取引に<br>係る親会社の持分変動          |        | 9      |         |       | 9       |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額(純額)           |        |        |         |       |         |
| 当期変動額合計                           |        | 9      | 36,137  | 0     | 36,147  |
| 当期末残高                             | 36,803 | 28,548 | 322,842 | 2,050 | 386,144 |

|                                   | その他の包括利益累計額      |         |                  |                   | 非支配株主持分 | 純資産合計   |
|-----------------------------------|------------------|---------|------------------|-------------------|---------|---------|
|                                   | その他有価証券<br>評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 退職給付に係る<br>調整累計額 | その他の包括利益<br>累計額合計 |         |         |
| 当期首残高                             | 4,488            | 69      | 138              | 4,556             | 11,869  | 366,423 |
| 当期変動額                             |                  |         |                  |                   |         |         |
| 剰余金の配当                            |                  |         |                  |                   |         | 2,662   |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益               |                  |         |                  |                   |         | 38,642  |
| 連結範囲の変動                           |                  |         |                  |                   |         | 157     |
| 連結子会社と非連結子会<br>社との合併に伴う変動         |                  |         |                  |                   |         |         |
| 自己株式の取得                           |                  |         |                  |                   |         | 0       |
| 自己株式の処分                           |                  |         |                  |                   |         |         |
| 持分法適用会社に対する<br>持分変動に伴う自己株式<br>の増減 |                  |         |                  |                   |         |         |
| 非支配株主との取引に<br>係る親会社の持分変動          |                  |         |                  |                   |         | 9       |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額(純額)           | 242              | 69      | 1,549            | 1,236             | 1,567   | 331     |
| 当期変動額合計                           | 242              | 69      | 1,549            | 1,236             | 1,567   | 36,478  |
| 当期末残高                             | 4,730            |         | 1,410            | 3,319             | 13,436  | 402,901 |

## 【連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

|                            | 前連結会計年度<br>(自 2017年 4月 1日<br>至 2018年 3月 31日) | 当連結会計年度<br>(自 2018年 4月 1日<br>至 2019年 3月 31日) |
|----------------------------|--|--|
| <b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>    |  |  |
| 税金等調整前当期純利益                | 46,025                                       | 50,563                                       |
| 減価償却費                      | 25,531                                       | 25,603                                       |
| 減損損失                       | 448  | 98   |
| 固定資産圧縮損                    | 2,470  | 1,078  |
| 固定資産除却損                    | 731  | 756  |
| 受取利息及び受取配当金                | 369  | 428  |
| 支払利息                       | 2,683  | 2,492  |
| 固定資産売却損益(は益)               | 198  | 101  |
| 投資有価証券売却損益(は益)             | 233  | 418  |
| 持分法による投資損益(は益)             | 18,178                                       | 20,211                                       |
| 工事負担金等受入額                  | 2,623  | 1,147  |
| たな卸資産の増減額(は増加)             | 876  | 1,276  |
| その他                        | 366  | 1,802  |
| 小計                         | 55,779                                       | 55,207                                       |
| 利息及び配当金の受取額                | 3,473  | 3,554  |
| 利息の支払額                     | 2,749  | 2,493  |
| 法人税等の支払額                   | 8,551  | 10,416                                       |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー           | 47,952                                       | 45,851                                       |
| <b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>    |  |  |
| 固定資産の取得による支出               | 31,923                                       | 53,514                                       |
| 固定資産の売却による収入               | 238  | 259  |
| 工事負担金等受入による収入              | 5,301  | 2,994  |
| 投資有価証券の取得による支出             | 1,159  | 4,112  |
| 投資有価証券の売却による収入             | 306  | 1,221  |
| その他                        | 213  | 279  |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー           | 27,023                                       | 53,430                                       |
| <b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>    |  |  |
| 短期借入金の純増減額(は減少)            | 2,357  | 1,735  |
| 長期借入れによる収入                 | 13,550                                       | 5,199  |
| 長期借入金の返済による支出              | 11,111                                       | 18,760                                       |
| 社債の発行による収入                 |  | 29,810                                       |
| 社債の償還による支出                 | 10,000                                       |  |
| 鉄道・運輸機構未払金の返済による支出         | 2,828  | 2,879  |
| リース債務の返済による支出              | 4,320  | 4,882  |
| 配当金の支払額                    | 2,576  | 2,662  |
| その他                        | 234  | 313  |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー           | 19,878                                       | 7,246  |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少)         | 1,050  | 332  |
| 現金及び現金同等物の期首残高             | 23,294                                       | 24,417                                       |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額       | 67   | 95   |
| 非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 4  | 838  |
| 現金及び現金同等物の期末残高             | 24,417                                       | 25,018                                       |

## 【注記事項】

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

### 1 連結の範囲に関する事項

連結子会社数は58社であり、連結子会社名は、「第1 企業の概況 4 関係会社の状況」に記載しているため省略しております。

京成タクシー習志野(株)及びケイ・アンド・アール・ホテルデベロップメント(株)については、重要性が増したことから、当連結会計年度から連結の範囲に含めております。

(株)京成情報システム、鋸山ロープウェー(株)等非連結子会社は、いずれも小規模であり、合計の総資産、営業収益、持分に見合う当期純損益及び持分に見合う利益剰余金等はいずれも連結財務諸表に重要な影響を及ぼしておりません。

### 2 持分法の適用に関する事項

非連結子会社及び関連会社のうち、(株)オリエンタルランド、新京成電鉄(株)等関連会社6社に対する投資について持分法を適用しております。

(株)京成情報システム、鋸山ロープウェー(株)等非連結子会社及び関連会社のうち日暮里駅整備(株)等については、持分に見合う当期純損益及び持分に見合う利益剰余金等からみて、持分法の対象から除いても連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であり、かつ、全体としても重要性がないため、持分法を適用しておりません。

### 3 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の決算日が連結決算日と異なる会社は次のとおりであります。

|           |                    |
|-----------|--------------------|
| 12月末日決算会社 | 京成電設工業(株)          |
| 2月末日決算会社  | 帝都自動車交通(株)         |
|           | 帝都自動車交通(株)(新橋・竹橋)  |
|           | 帝都自動車交通(株)(渋谷・銀座)  |
|           | 帝都自動車交通(株)(神田・日本橋) |
|           | 帝都自動車交通(株)(墨田)     |
|           | 帝都自動車交通(株)(日暮里)    |
|           | 帝都自動車交通(株)(大森)     |
|           | 帝都自動車交通(株)(板橋)     |
|           | 帝都葛飾交通(株)          |
|           | 市川交通自動車(株)         |
|           | 成田タクシー(株)          |
|           | (株)千葉交タクシー         |
|           | 船橋交通(株)            |
|           | 合同タクシー(株)          |
|           | 京成タクシー千葉(株)        |
|           | かずさ交通(株)           |
|           | 三田下総交通(株)          |
|           | 京成タクシー習志野(株)       |
|           | (株)京成ストア           |
|           | (株)水戸京成百貨店         |
|           | 京成ビルサービス(株)        |
|           | 京成オートサービス(株)       |

上記23社については、各社の決算日現在の財務諸表を使用しており、連結決算日との間に生じた重要な取引等については、連結上必要な調整を行っております。

#### 4 会計方針に関する事項

##### (1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

有価証券

その他有価証券

時価のあるもの

…決算期末日の市場価格等に基づく時価法により評価しております。(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。)

時価のないもの

…移動平均法に基づく原価法により評価しております。

デリバティブ

…時価法により評価しております。

たな卸資産

…分譲土地建物及び未成工事支出金は、個別法に基づく原価法により、その他は主として売価還元法に基づく原価法により評価しております。(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定しております。)

##### (2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

有形固定資産(リース資産を除く)

取得価額で約80%が定額法により、約20%が定率法により償却しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物及び構築物 5～60年

機械装置及び運搬具 5～20年

無形固定資産(リース資産を除く)

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が2008年3月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

##### (3) 重要な引当金の計上基準

貸倒引当金

営業債権・貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金

従業員の賞与の支給にあてるため、支給見込額のうち当連結会計年度の負担額を計上しております。

役員賞与引当金

役員の賞与の支給にあてるため、支給見込額のうち当連結会計年度の負担額を計上しております。

役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

##### (4) 退職給付に係る会計処理の方法

退職給付に係る負債は、当連結会計年度末における見込額に基づき、退職給付債務から年金資産の額を控除した額を計上しております。

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当連結会計年度末までの期間に帰属させる方法については、期間定額基準によっております。

数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により費用処理しております。

数理計算上の差異は、各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(7～10年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の日翌連結会計年度から費用処理することとしております。

(5) 重要な収益及び費用の計上基準

完成工事高及び完成工事原価の計上基準

ア．当連結会計年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事

工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)

イ．その他の工事

工事完成基準

(6) 鉄道事業における工事負担金等の会計処理の方法

鉄道事業において固定資産の取得のために受け入れた工事負担金等は、工事完成時に当該固定資産の取得原価から直接減額しております。なお、連結損益計算書においては、工事負担金等受入額を特別利益に計上するとともに、固定資産の取得原価から直接減じた額を固定資産圧縮損として特別損失に計上しております。

(7) 重要なヘッジ会計の方法

ヘッジ会計の方法

原則として繰延ヘッジ処理によっております。なお、特例処理の要件を満たしている金利スワップについては特例処理によっております。

ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段...金利スワップ

ヘッジ対象...借入金

ヘッジ方針

資金担当部門が決裁責任者の承認を得て、ヘッジ対象に係る金利変動リスクを一定の範囲内でヘッジしております。

ヘッジ有効性評価の方法

ヘッジ開始時から有効性判定時点までの期間において、ヘッジ対象の相場変動又はキャッシュ・フロー変動の累計とヘッジ手段の相場変動又はキャッシュ・フロー変動の累計とを比較し、両者の変動額等を基礎にして、ヘッジ有効性を評価しております。ただし、特例処理によっている金利スワップについては、金利の変動に伴うキャッシュ・フローの変動を完全に相殺するものと想定されるため、有効性の評価を省略しております。

(8) のれんの償却方法及び償却期間

のれんの償却については、主として5年間の均等償却を行っております。

(9) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

連結キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

(10) その他連結財務諸表作成のための重要な事項

繰延資産の処理方法

社債発行費

社債の償還までの期間にわたり定額法により償却しております。

支払利息の原価算入

分譲土地建物の開発事業に係る支払利息の一部を取得原価に算入しております。

なお、当連結会計年度において取得原価に算入した額はありません。

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。



(未適用の会計基準等)

- ・「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 平成30年3月30日)
- ・「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 平成30年3月30日)

(1) 概要

収益認識に関する包括的な会計基準であります。収益は、次の5つのステップを適用し認識されます。

ステップ1：顧客との契約を識別する。

ステップ2：契約における履行義務を識別する。

ステップ3：取引価格を算定する。

ステップ4：契約における履行義務に取引価格を配分する。

ステップ5：履行義務を充足した時に又は充足するにつれて収益を認識する。

(2) 適用予定日

適用時期については、現在検討中であります。

(3) 当該会計基準等の適用による影響

影響額は、当連結財務諸表の作成時において未定であります。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

「投資有価証券売却益」は、その金額に重要性が増したため、当連結会計年度より区分掲記しております。なお、前連結会計年度の「投資有価証券売却益」は、「その他の特別利益」に233百万円含まれております。

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更いたしました。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」1,897百万円、「流動負債」の「繰延税金負債」1百万円及び「固定負債」の「繰延税金負債」1百万円を「投資その他の資産」の「繰延税金資産」13,481百万円に含めて表示し、「流動資産」の「繰延税金資産」12百万円を「固定負債」の「繰延税金負債」1,877百万円に含めて表示しております。

(連結貸借対照表関係)

## 1 有形固定資産の減価償却累計額

|  | 前連結会計年度<br>(2018年3月31日) | 当連結会計年度<br>(2019年3月31日) |
|--|-------------------------|-------------------------|
|  | 412,006百万円              | 425,216百万円              |

## 2 非連結子会社及び関連会社に対するものは次のとおりであります。

|            | 前連結会計年度<br>(2018年3月31日) | 当連結会計年度<br>(2019年3月31日) |
|------------|-------------------------|-------------------------|
| 投資有価証券(株式) | 187,252百万円              | 204,359百万円              |

## 3 担保資産及び担保付債務

(イ)財団

|           | 前連結会計年度<br>(2018年3月31日) | 当連結会計年度<br>(2019年3月31日) |
|-----------|-------------------------|-------------------------|
| 建物及び構築物   | 198,250百万円              | 199,070百万円              |
| 機械装置及び運搬具 | 12,732                  | 13,244                  |
| 土地        | 72,044                  | 72,058                  |
| 有形固定資産その他 | 1,158                   | 1,307                   |
| 無形固定資産その他 | 1,561                   | 1,561                   |
| 計         | 285,747                 | 287,242                 |

上記資産を下記の債務の担保に供しております。

|                             | 5百万円    | 5百万円    |
|-----------------------------|---------|---------|
| 短期借入金                       |         |         |
| 長期借入金<br>(1年内返済額を含む)        | 49,558  | 48,177  |
| 鉄道・運輸機構長期未払金<br>(1年内返済額を含む) | 55,233  | 52,354  |
| 計                           | 104,796 | 100,536 |

(ロ)その他

|             | 前連結会計年度<br>(2018年3月31日) | 当連結会計年度<br>(2019年3月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------|
| 建物及び構築物     | 2,350百万円                | 2,265百万円                |
| 土地          | 3,474                   | 3,474                   |
| 投資有価証券      | 325                     | 233                     |
| 投資その他の資産その他 | 20                      | 20                      |
| 計           | 6,171                   | 5,993                   |

上記資産を下記の債務の担保に供しております。

|                      | 4,332百万円 | 4,347百万円 |
|----------------------|----------|----------|
| 短期借入金                |          |          |
| 長期借入金<br>(1年内返済額を含む) | 491      | 326      |
| 買掛金                  | 19       | 18       |
| 固定負債その他              | 919      | 567      |
| 計                    | 5,763    | 5,259    |

## 4 固定資産の取得原価から控除した工事負担金等累計額

|  | 前連結会計年度<br>(2018年3月31日) | 当連結会計年度<br>(2019年3月31日) |
|--|-------------------------|-------------------------|
|  | 161,426百万円              | 162,040百万円              |

(連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

| 前連結会計年度<br>(自 2017年4月1日<br>至 2018年3月31日) |          | 当連結会計年度<br>(自 2018年4月1日<br>至 2019年3月31日) |          |
|--|----------|--|----------|
| 給与                                       | 6,022百万円 | 給与                                       | 6,227百万円 |
| 賞与引当金繰入額                                 | 640      | 賞与引当金繰入額                                 | 672      |
| 役員賞与引当金繰入額                               | 39       | 役員賞与引当金繰入額                               | 37       |
| 退職給付費用                                   | 467      | 退職給付費用                                   | 478      |
| 役員退職慰労引当金繰入額                             | 77       | 役員退職慰労引当金繰入額                             | 76       |

2 投資有価証券売却益

| 前連結会計年度<br>(自 2017年4月1日<br>至 2018年3月31日) |             | 当連結会計年度<br>(自 2018年4月1日<br>至 2019年3月31日) |         |
|--|-------------|--|---------|
| (株)オリエンタルランド株式                           | 230百万円<br>外 | 東武タワースカイツリー(株)<br>株式                     | 400百万円外 |

3 固定資産圧縮損

| 前連結会計年度<br>(自 2017年4月1日<br>至 2018年3月31日) |           | 当連結会計年度<br>(自 2018年4月1日<br>至 2019年3月31日) |         |
|--|-----------|--|---------|
| 鉄道施設安全対策事業に係る<br>補助金の受入等による圧縮額           | 1,409百万円外 | 鉄道施設バリアフリー化設備整<br>備に係る補助金の受入等による<br>圧縮額  | 478百万円外 |

4 固定資産除却損

| 前連結会計年度<br>(自 2017年4月1日<br>至 2018年3月31日) |         | 当連結会計年度<br>(自 2018年4月1日<br>至 2019年3月31日) |         |
|--|---------|--|---------|
| 千葉中央駅西口地区建物                              | 380百万円外 | 千葉中央駅西口地区建物                              | 111百万円外 |

5 減損損失

前連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

当社グループは、管理会計上の事業ごと又は物件、店舗ごとに資産のグルーピングを行っております。

当連結会計年度において、以下のとおり減損損失を計上しております。

(単位:百万円)

| 主な用途         | 場所       | 種類及び金額  |    |     |     |
|--------------|----------|---------|----|-----|-----|
|              |          | 建物及び構築物 | 土地 | その他 | 合計  |
| 不動産業遊休資産 1 件 | 千葉市中央区   | 237     |    | 0   | 237 |
| 流通業店舗施設13件   | 千葉県八千代市他 | 65      | 72 | 72  | 211 |
| 合計           |          | 302     | 72 | 72  | 448 |

(減損損失を認識するに至った経緯)

当初想定していた収益を見込めなくなったことや処分が決定されたことにより減損損失を認識しております。

(回収可能価額の算定方法)

回収可能価額を正味売却価額により測定している場合には、不動産鑑定評価等に基づき算出しております。また、処分予定資産については、回収可能価額を備忘価額としております。

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

当社グループは、管理会計上の事業ごと又は物件、店舗ごとに資産のグルーピングを行っております。

当連結会計年度において、以下のとおり減損損失を計上しております。

(単位:百万円)

| 主な用途       | 場所      | 種類及び金額  |    |     |    |
|------------|---------|---------|----|-----|----|
|            |         | 建物及び構築物 | 土地 | その他 | 合計 |
| 流通業店舗施設13件 | 東京都葛飾区他 | 37      |    | 61  | 98 |
| 合計         |         | 37      |    | 61  | 98 |

(減損損失を認識するに至った経緯)

当初想定していた収益を見込めなくなったことにより減損損失を認識しております。

(回収可能価額の算定方法)

回収可能価額を正味売却価額により測定している場合には、不動産鑑定評価等に基づき算出しております。

また、将来キャッシュ・フローに基づく使用価値がマイナスとなる資産については、回収可能価額を備忘価額としております。

(連結包括利益計算書関係)

1 その他の包括利益に係る組替調整額及び税効果額

|                         | 前連結会計年度<br>(自 2017年4月1日<br>至 2018年3月31日) | 当連結会計年度<br>(自 2018年4月1日<br>至 2019年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| <b>その他有価証券評価差額金</b>     |  |  |
| 当期発生額                   | 229百万円                                   | 261百万円                                   |
| 組替調整額                   | 1  | 1  |
| 税効果調整前                  | 230                                      | 262                                      |
| 税効果額                    | 78                                       | 80                                       |
| その他有価証券評価差額金            | 152                                      | 182                                      |
| <b>退職給付に係る調整額</b>       |  |  |
| 当期発生額                   | 156                                      | 2,133                                    |
| 組替調整額                   | 60                                       | 46                                       |
| 税効果調整前                  | 95                                       | 2,086                                    |
| 税効果額                    | 31                                       | 635                                      |
| 退職給付に係る調整額              | 64                                       | 1,451                                    |
| <b>持分法適用会社に対する持分相当額</b> |  |  |
| 当期発生額                   | 517                                      | 18                                       |
| 組替調整額                   | 201                                      | 9  |
| 持分法適用会社に対する持分相当額        | 315                                      | 27                                       |
| その他の包括利益合計              | 98                                       | 1,241                                    |

(連結株主資本等変動計算書関係)

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

1 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

|       | 当連結会計年度期首<br>株式数<br>(千株) | 当連結会計年度<br>増加株式数<br>(千株) | 当連結会計年度<br>減少株式数<br>(千株) | 当連結会計年度末<br>株式数<br>(千株) |
|-------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------|
| 発行済株式 |                          |                          |                          |                         |
| 普通株式  | 172,411                  |                          |                          | 172,411                 |
| 合 計   | 172,411                  |                          |                          | 172,411                 |
| 自己株式  |                          |                          |                          |                         |
| 普通株式  | 3,131                    | 11                       | 0                        | 3,141                   |
| 合 計   | 3,131                    | 11                       | 0                        | 3,141                   |

(注) 1 普通株式の自己株式の株式数の増加11千株は、単元未満株式の買取りによる増加であります。

2 普通株式の自己株式の株式数の減少0千株は、単元未満株式の買増請求による減少0千株、関係会社の持分比率変動に伴う自己株式(当社株式)の当社帰属分の減少0千株であります。

2 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| 決議                   | 株式の種類 | 配当金の総額   | 1株当たり配当額 | 基準日        | 効力発生日      |
|----------------------|-------|----------|----------|------------|------------|
| 2017年6月29日<br>定時株主総会 | 普通株式  | 1,373百万円 | 8.00円    | 2017年3月31日 | 2017年6月30日 |
| 2017年10月31日<br>取締役会  | 普通株式  | 1,202百万円 | 7.00円    | 2017年9月30日 | 2017年12月4日 |

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

| 決議                   | 株式の種類 | 配当金の総額   | 配当の原資 | 1株当たり<br>配当額 | 基準日        | 効力発生日      |
|----------------------|-------|----------|-------|--------------|------------|------------|
| 2018年6月28日<br>定時株主総会 | 普通株式  | 1,373百万円 | 利益剰余金 | 8.00円        | 2018年3月31日 | 2018年6月29日 |

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

|       | 当連結会計年度期首<br>株式数<br>(千株) | 当連結会計年度<br>増加株式数<br>(千株) | 当連結会計年度<br>減少株式数<br>(千株) | 当連結会計年度末<br>株式数<br>(千株) |
|-------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------|
| 発行済株式 |                          |                          |                          |                         |
| 普通株式  | 172,411                  |                          |                          | 172,411                 |
| 合 計   | 172,411                  |                          |                          | 172,411                 |
| 自己株式  |                          |                          |                          |                         |
| 普通株式  | 3,141                    | 0                        |                          | 3,141                   |
| 合 計   | 3,141                    | 0                        |                          | 3,141                   |

(注) 1 普通株式の自己株式の株式数の増加0千株は、単元未満株式の買取りによる増加であります。

2 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| 決議                   | 株式の種類 | 配当金の総額   | 1株当たり配当額 | 基準日        | 効力発生日      |
|----------------------|-------|----------|----------|------------|------------|
| 2018年6月28日<br>定時株主総会 | 普通株式  | 1,373百万円 | 8.00円    | 2018年3月31日 | 2018年6月29日 |
| 2018年10月31日<br>取締役会  | 普通株式  | 1,288百万円 | 7.50円    | 2018年9月30日 | 2018年12月4日 |

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

| 決議                   | 株式の種類 | 配当金の総額   | 配当の原資 | 1株当たり<br>配当額 | 基準日        | 効力発生日      |
|----------------------|-------|----------|-------|--------------|------------|------------|
| 2019年6月27日<br>定時株主総会 | 普通株式  | 1,631百万円 | 利益剰余金 | 9.50円        | 2019年3月31日 | 2019年6月28日 |

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

|                      | 前連結会計年度<br>(自 2017年4月1日<br>至 2018年3月31日) | 当連結会計年度<br>(自 2018年4月1日<br>至 2019年3月31日) |
|----------------------|--|--|
| 現金及び預金勘定             | 24,611百万円                                | 25,214百万円                                |
| 預入期間が3ヶ月を<br>超える定期預金 | 193                                      | 195                                      |
| 現金及び現金同等物            | 24,417                                   | 25,018                                   |

(リース取引関係)

(借手側)

1 ファイナンス・リース取引

所有権移転外ファイナンス・リース取引

(1) リース資産の内容

・有形固定資産

主として、運輸業における運搬具であります。

・無形固定資産

主として、運輸業における施設利用権であります。

(2) リース資産の減価償却の方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

2 オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

(単位:百万円)

|     | 前連結会計年度<br>(2018年3月31日) | 当連結会計年度<br>(2019年3月31日) |
|-----|-------------------------|-------------------------|
| 1年内 | 133                     | 97                      |
| 1年超 | 159                     | 75                      |
| 合計  | 292                     | 172                     |



(貸手側)

1 ファイナンス・リース取引

(1) リース投資資産の内訳

流動資産

(単位:百万円)

|          | 前連結会計年度<br>(2018年3月31日) | 当連結会計年度<br>(2019年3月31日) |
|----------|-------------------------|-------------------------|
| リース料債権部分 | 4,811                   | 4,601                   |
| 見積残存価額部分 | 490                     | 490                     |
| 受取利息相当額  | 3,256                   | 3,068                   |
| リース投資資産  | 2,046                   | 2,024                   |

(2) リース債権及びリース投資資産に係るリース料債権部分の事業年度末日後の回収予定額

リース投資資産

(単位:百万円)

|         | 前連結会計年度<br>(2018年3月31日) | 当連結会計年度<br>(2019年3月31日) |
|---------|-------------------------|-------------------------|
| 1年以内    | 210                     | 210                     |
| 1年超2年以内 | 210                     | 210                     |
| 2年超3年以内 | 210                     | 210                     |
| 3年超4年以内 | 210                     | 210                     |
| 4年超5年以内 | 210                     | 210                     |
| 5年超     | 3,761                   | 3,551                   |

2 オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

(単位:百万円)

|     | 前連結会計年度<br>(2018年3月31日) | 当連結会計年度<br>(2019年3月31日) |
|-----|-------------------------|-------------------------|
| 1年内 | 4,700                   | 5,669                   |
| 1年超 | 44,054                  | 51,472                  |
| 合計  | 48,755                  | 57,141                  |

(金融商品関係)

## 1 金融商品の状況に関する事項

### (1) 金融商品に対する取組方針

当社グループは、運輸業を中心に「安全・快適」な沿線開発等を行うために、中長期的な設備投資計画に照らし、必要な資金を調達（主に銀行借入や社債発行）しております。

一時的な余資は安全性の高い金融資産で運用し、また、短期的な運転資金を銀行借入及びコマーシャル・ペーパーの発行により調達しております。

デリバティブは、借入金の金利変動リスクを回避するために利用し、投機的な取引は行っておりません。

### (2) 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である受取手形及び売掛金は、顧客の信用リスクに晒されております。

投資有価証券は、主に取引先企業との業務又は資本提携等に関連する株式であり、市場価格の変動リスクに晒されております。

貸付金については、主に非連結子会社に対して行う貸付であり、当該会社の信用リスクに晒されております。

営業債務である支払手形及び買掛金は、そのほとんどが1年以内の支払期日であります。

借入金、社債及びファイナンス・リース取引に係るリース債務は、主に設備投資に必要な資金の調達を目的としております。

デリバティブ取引は、借入金の支払金利の変動リスクに対するヘッジ取引を目的とした金利スワップ取引であります。

### (3) 金融商品に係るリスク管理体制

信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

当社は、営業債権及び貸付金について、各事業部門が取引相手ごとに期日及び残高を管理するとともに、財務状況等の悪化等による回収懸念の早期把握や軽減を図っております。連結子会社についても、同様の管理を行っております。

市場リスク（為替や金利等の変動リスク）の管理

投資有価証券については、定期的に時価や発行体の財務状況等を把握し、取引先企業との関係を勘案して保有状況を継続的に見直しております。

資金調達に係る流動性リスク（支払期日に支払いを実行できなくなるリスク）の管理

当社グループでは、各社が月次の資金繰計画を作成する等の方法により管理しております。

### (4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。また、注記におけるデリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

## 2 金融商品の時価等に関する事項

連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません((注2)をご参照ください。)

前連結会計年度(2018年3月31日)

|                  | 連結貸借対照表<br>計上額(百万円) | 時価(百万円) | 差額(百万円) |
|------------------|---------------------|---------|---------|
| (1) 投資有価証券       | 186,015             | 813,253 | 627,237 |
| 資産計              | 186,015             | 813,253 | 627,237 |
| (1) 短期借入金        | 60,842              | 60,842  |         |
| (2) 社債           | 40,000              | 40,551  | 551     |
| (3) 長期借入金        | 122,747             | 126,551 | 3,803   |
| (4) 鉄道・運輸機構長期未払金 | 52,381              | 51,763  | 617     |
| 負債計              | 275,971             | 279,708 | 3,737   |
| デリバティブ取引         |                     |         |         |

当連結会計年度(2019年3月31日)

|                  | 連結貸借対照表<br>計上額(百万円) | 時価(百万円) | 差額(百万円) |
|------------------|---------------------|---------|---------|
| (1) 投資有価証券       | 205,403             | 939,756 | 734,352 |
| 資産計              | 205,403             | 939,756 | 734,352 |
| (1) 短期借入金        | 63,474              | 63,474  |         |
| (2) 社債           | 60,000              | 61,110  | 1,110   |
| (3) 長期借入金        | 108,289             | 114,452 | 6,162   |
| (4) 鉄道・運輸機構長期未払金 | 49,470              | 48,892  | 578     |
| 負債計              | 281,234             | 287,929 | 6,694   |
| デリバティブ取引         |                     |         |         |

(注1)金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

### 資 産

#### (1) 投資有価証券

投資有価証券の時価について、株式は取引所の価格によっております。また、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については、「有価証券関係」注記をご参照ください。

### 負 債

#### (1) 短期借入金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

#### (2) 社債

社債の時価は、市場価格によっております。

(3) 長期借入金

長期借入金のうち、変動金利によるものは帳簿価額を時価とし、固定金利によるものは、一定の期間ごとに区分した当該長期借入金の元利金の合計額を同様の借入において想定される利率で割り引いて現在価値を算定しております。

(4) 鉄道・運輸機構長期未払金

鉄道・運輸機構長期未払金の時価については、元利金の合計額を独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構から新規調達した場合に想定される利率で割り引いた現在価値によって算定しております。

デリバティブ取引

「デリバティブ取引関係」注記をご参照ください。

(注2)時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位：百万円)

| 区分    | 前連結会計年度<br>(2018年3月31日) | 当連結会計年度<br>(2019年3月31日) |
|-------|-------------------------|-------------------------|
| 非上場株式 | 14,144                  | 13,951                  |

上記については、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(1)投資有価証券」には含めておりません。

(注3)社債、借入金及び鉄道・運輸機構長期未払金の連結決算日後の返済予定額

前連結会計年度(2018年3月31日)

|                  | 1年以内<br>(百万円) | 1年超2年以内<br>(百万円) | 2年超3年以内<br>(百万円) | 3年超4年以内<br>(百万円) | 4年超5年以内<br>(百万円) | 5年超<br>(百万円) |
|------------------|---------------|------------------|------------------|------------------|------------------|--------------|
| 短期借入金            | 42,077        |                  |                  |                  |                  |              |
| 社債               |               | 10,000           | 10,000           |                  |                  | 20,000       |
| 長期借入金            | 18,765        | 19,657           | 9,085            | 8,344            | 12,419           | 73,240       |
| 鉄道・運輸機構<br>長期未払金 | 2,793         | 2,840            | 2,887            | 2,935            | 2,984            | 39,658       |
| 合計               | 63,636        | 32,498           | 21,972           | 11,280           | 15,403           | 132,899      |

(注) 鉄道・運輸機構長期未払金には、これらに係る消費税の未払金は含めておりません。

当連結会計年度(2019年3月31日)

|                  | 1年以内<br>(百万円) | 1年超2年以内<br>(百万円) | 2年超3年以内<br>(百万円) | 3年超4年以内<br>(百万円) | 4年超5年以内<br>(百万円) | 5年超<br>(百万円) |
|------------------|---------------|------------------|------------------|------------------|------------------|--------------|
| 短期借入金            | 43,812        |                  |                  |                  |                  |              |
| 社債               | 10,000        | 10,000           |                  |                  | 10,000           | 40,000       |
| 長期借入金            | 19,662        | 9,133            | 8,575            | 12,852           | 7,913            | 69,815       |
| 鉄道・運輸機構<br>長期未払金 | 2,824         | 2,870            | 2,917            | 2,966            | 3,016            | 36,684       |
| 合計               | 76,298        | 22,003           | 11,493           | 15,818           | 20,929           | 146,499      |

(注) 鉄道・運輸機構長期未払金には、これらに係る消費税の未払金は含めておりません。

(有価証券関係)

1 その他有価証券で時価のあるもの

前連結会計年度(2018年3月31日)

| 種類                           | 連結貸借対照表計上額<br>(百万円) | 取得原価<br>(百万円) | 差額<br>(百万円) |
|------------------------------|---------------------|---------------|-------------|
| (連結貸借対照表計上額が<br>取得原価を超えるもの)  |                     |               |             |
| 株式                           | 8,677               | 4,619         | 4,058       |
| 債券                           |                     |               |             |
| 国債・地方債等                      |                     |               |             |
| 社債                           |                     |               |             |
| その他                          |                     |               |             |
| その他                          |                     |               |             |
| 小計                           | 8,677               | 4,619         | 4,058       |
| (連結貸借対照表計上額が<br>取得原価を超えないもの) |                     |               |             |
| 株式                           | 1,268               | 1,502         | 233         |
| 債券                           |                     |               |             |
| 国債・地方債等                      |                     |               |             |
| 社債                           |                     |               |             |
| その他                          |                     |               |             |
| その他                          |                     |               |             |
| 小計                           | 1,268               | 1,502         | 233         |
| 合計                           | 9,946               | 6,122         | 3,824       |

当連結会計年度(2019年3月31日)

| 種類                           | 連結貸借対照表計上額<br>(百万円) | 取得原価<br>(百万円) | 差額<br>(百万円) |
|------------------------------|---------------------|---------------|-------------|
| (連結貸借対照表計上額が<br>取得原価を超えるもの)  |                     |               |             |
| 株式                           | 10,702              | 6,390         | 4,312       |
| 債券                           |                     |               |             |
| 国債・地方債等                      |                     |               |             |
| 社債                           |                     |               |             |
| その他                          |                     |               |             |
| その他                          |                     |               |             |
| 小計                           | 10,702              | 6,390         | 4,312       |
| (連結貸借対照表計上額が<br>取得原価を超えないもの) |                     |               |             |
| 株式                           | 1,841               | 2,066         | 224         |
| 債券                           |                     |               |             |
| 国債・地方債等                      |                     |               |             |
| 社債                           |                     |               |             |
| その他                          |                     |               |             |
| その他                          |                     |               |             |
| 小計                           | 1,841               | 2,066         | 224         |
| 合計                           | 12,543              | 8,456         | 4,087       |

2 連結会計年度中に売却したその他有価証券  
売却額及び売却損益の合計額に重要性がないため記載しておりません。

3 減損処理を行った有価証券  
減損処理額に重要性がないため記載しておりません。

(デリバティブ取引関係)

1 ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

該当事項はありません。

2 ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

(1) 通貨関連

該当事項はありません。

(2) 金利関連

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

| ヘッジ会計の方法    | デリバティブ取引の種類等              | 主なヘッジ対象 | 契約額等<br>(百万円) | 契約額等のうち<br>1年超<br>(百万円) | 時価<br>(百万円) |
|-------------|---------------------------|---------|---------------|-------------------------|-------------|
| 金利スワップの特例処理 | 金利スワップ取引<br>支払固定・<br>受取変動 | 長期借入金   | 22,102        | 20,534                  | (注)         |

(注) 金利スワップの特例処理によるものは、ヘッジ対象とされている長期借入金と一体として処理されているため、その時価は、当該長期借入金の時価に含めて記載しております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

| ヘッジ会計の方法    | デリバティブ取引の種類等              | 主なヘッジ対象 | 契約額等<br>(百万円) | 契約額等のうち<br>1年超<br>(百万円) | 時価<br>(百万円) |
|-------------|---------------------------|---------|---------------|-------------------------|-------------|
| 金利スワップの特例処理 | 金利スワップ取引<br>支払固定・<br>受取変動 | 長期借入金   | 20,534        | 9,266                   | (注)         |

(注) 金利スワップの特例処理によるものは、ヘッジ対象とされている長期借入金と一体として処理されているため、その時価は、当該長期借入金の時価に含めて記載しております。

(退職給付関係)

1 採用している退職給付制度の概要

提出会社は、確定給付型の制度として退職一時金制度を採用しており、連結子会社は一時金制度に加え確定給付企業年金制度（規約型）、確定拠出年金制度及び中小企業退職金共済制度を採用しております。

なお、連結子会社は退職給付債務の算定にあたり、主として簡便法を採用しております。

2 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表（簡便法を適用した制度を除く。）

|              | (単位：百万円)                                 |  |
|--------------|--|--|
|              | 前連結会計年度<br>(自 2017年4月1日<br>至 2018年3月31日) | 当連結会計年度<br>(自 2018年4月1日<br>至 2019年3月31日) |
| 退職給付債務の期首残高  | 23,808                                   | 23,966                                   |
| 勤務費用         | 1,193                                    | 1,204                                    |
| 利息費用         | 202                                      | 204                                      |
| 数理計算上の差異の発生額 | 142                                      | 2,119                                    |
| 退職給付の支払額     | 1,380                                    | 1,171                                    |
| 退職給付債務の期末残高  | 23,966                                   | 26,323                                   |

(2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表（簡便法を適用した制度を除く。）

|              | (単位：百万円)                                 |  |
|--------------|--|--|
|              | 前連結会計年度<br>(自 2017年4月1日<br>至 2018年3月31日) | 当連結会計年度<br>(自 2018年4月1日<br>至 2019年3月31日) |
| 年金資産の期首残高    | 1,243                                    | 1,307                                    |
| 期待運用収益       | 0  | 0  |
| 数理計算上の差異の発生額 | 14                                       | 13                                       |
| 事業主からの拠出額    | 434                                      | 423                                      |
| 退職給付の支払額     | 355                                      | 262                                      |
| 年金資産の期末残高    | 1,307                                    | 1,455                                    |

(3) 簡便法を適用した制度の、退職給付に係る負債の期首残高と期末残高の調整表

|                | (単位：百万円)                                 |  |
|----------------|--|--|
|                | 前連結会計年度<br>(自 2017年4月1日<br>至 2018年3月31日) | 当連結会計年度<br>(自 2018年4月1日<br>至 2019年3月31日) |
| 退職給付に係る負債の期首残高 | 8,395                                    | 8,379                                    |
| 退職給付費用         | 616                                      | 646                                      |
| 退職給付の支払額       | 599                                      | 711                                      |
| 制度への拠出額        | 32                                       | 33                                       |
| その他            |  | 69                                       |
| 退職給付に係る負債の期末残高 | 8,379                                    | 8,350                                    |

(4) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と連結貸借対照表に計上された退職給付に係る負債の調整表

|                       | (単位：百万円)                |                         |
|-----------------------|-------------------------|-------------------------|
|                       | 前連結会計年度<br>(2018年3月31日) | 当連結会計年度<br>(2019年3月31日) |
| 積立型制度の退職給付債務          | 4,528                   | 4,250                   |
| 年金資産（退職給付信託を含む）       | 1,814                   | 1,934                   |
|                       | 2,713                   | 2,316                   |
| 非積立制度の退職給付債務          | 28,360                  | 30,902                  |
| 連結貸借対照表に計上された負債と資産の純額 | 31,074                  | 33,218                  |
| 退職給付に係る負債             | 31,074                  | 33,218                  |
| 連結貸借対照表に計上された負債と資産の純額 | 31,074                  | 33,218                  |

(注) 簡便法を適用した制度を含みます。

(5) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

|                 | (単位：百万円)                                 |  |
|-----------------|--|--|
|                 | 前連結会計年度<br>(自 2017年4月1日<br>至 2018年3月31日) | 当連結会計年度<br>(自 2018年4月1日<br>至 2019年3月31日) |
| 勤務費用            | 1,193                                    | 1,204                                    |
| 利息費用            | 202                                      | 204                                      |
| 期待運用収益          | 0  | 0  |
| 数理計算上の差異の費用処理額  | 183                                      | 111                                      |
| 過去勤務費用の費用処理額    | 123                                      | 64                                       |
| 簡便法で計算した退職給付費用  | 616                                      | 646                                      |
| 確定給付制度に係る退職給付費用 | 2,072                                    | 2,102                                    |



(6) 退職給付に係る調整額

退職給付に係る調整額に計上した項目（税効果控除前）の内訳は次のとおりであります。

|          | (単位：百万円)                                 |  |
|----------|--|--|
|          | 前連結会計年度<br>(自 2017年4月1日<br>至 2018年3月31日) | 当連結会計年度<br>(自 2018年4月1日<br>至 2019年3月31日) |
| 過去勤務費用   | 123                                      | 64                                       |
| 数理計算上の差異 | 27                                       | 2,022                                    |
| 合計       | 95                                       | 2,086                                    |

(7) 退職給付に係る調整累計額

退職給付に係る調整累計額に計上した項目（税効果控除前）の内訳は次のとおりであります。

|             | (単位：百万円)                |                         |
|-------------|-------------------------|-------------------------|
|             | 前連結会計年度<br>(2018年3月31日) | 当連結会計年度<br>(2019年3月31日) |
| 未認識過去勤務費用   | 128                     | 64                      |
| 未認識数理計算上の差異 | 301                     | 2,323                   |
| 合計          | 172                     | 2,259                   |

(8) 年金資産に関する事項（簡便法を適用した制度を除く。）

年金資産の主な内訳

年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は次のとおりであります。

|        | 前連結会計年度<br>(2018年3月31日) | 当連結会計年度<br>(2019年3月31日) |
|--------|-------------------------|-------------------------|
| 現金及び預金 | 54%                     | 54%                     |
| 短期資産   | 46                      | 46                      |
| 合計     | 100                     | 100                     |

長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(9) 数理計算上の計算基礎に関する事項

|           | 前連結会計年度<br>(自 2017年4月1日<br>至 2018年3月31日) | 当連結会計年度<br>(自 2018年4月1日<br>至 2019年3月31日) |
|-----------|--|--|
| 割引率       | 0.6～0.9%                                 | 0.0～0.8%                                 |
| 長期期待運用収益率 | 0.0                                      | 0.0                                      |

3 確定拠出制度

確定拠出制度への要拠出額は、前連結会計年度60百万円、当連結会計年度62百万円であります。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(税効果会計関係)

1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

|                       | 前連結会計年度<br>(2018年3月31日) | 当連結会計年度<br>(2019年3月31日) |
|-----------------------|-------------------------|-------------------------|
| <b>繰延税金資産</b>         |                         |                         |
| 連結子会社繰越欠損金            | 811百万円                  | 949百万円                  |
| 貸倒引当金                 | 34                      | 22                      |
| 賞与引当金                 | 943                     | 976                     |
| 役員退職慰労引当金             | 110                     | 98                      |
| 退職給付に係る負債             | 9,559                   | 10,206                  |
| たな卸資産評価損              | 243                     | 244                     |
| 不動産事業の再編に伴う<br>土地評価損  | 3,758                   | 3,758                   |
| 減損損失                  | 3,155                   | 3,016                   |
| 未実現利益の消去              | 1,292                   | 1,280                   |
| その他                   | 4,178                   | 4,168                   |
| <b>繰延税金資産小計</b>       | <b>24,087</b>           | <b>24,723</b>           |
| 評価性引当額                | 9,594                   | 9,735                   |
| <b>繰延税金資産合計</b>       | <b>14,493</b>           | <b>14,987</b>           |
| <b>繰延税金負債</b>         |                         |                         |
| 全面時価評価法に基づく<br>土地評価差額 | 1,362                   | 1,362                   |
| その他有価証券評価差額金          | 1,212                   | 1,076                   |
| その他                   | 314                     | 323                     |
| <b>繰延税金負債合計</b>       | <b>2,889</b>            | <b>2,762</b>            |
| <b>繰延税金資産の純額</b>      | <b>11,604</b>           | <b>12,224</b>           |

2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

|                               | 前連結会計年度<br>(2018年3月31日) | 当連結会計年度<br>(2019年3月31日) |
|-------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 国内の法定実効税率                     | 30.7%                   | 30.5%                   |
| <b>(調整)</b>                   |                         |                         |
| 繰延税金資産に係る<br>評価性引当額の増減額       | 0.5                     | 0.3                     |
| 交際費等永久に損金に<br>算入されない項目        | 0.2                     | 0.3                     |
| 住民税均等割                        | 0.2                     | 0.2                     |
| 受取配当金等永久に益金に<br>算入されない項目      | 2.3                     | 2.5                     |
| 持分法による投資利益                    | 12.1                    | 12.2                    |
| 連結上の受取配当金の消去                  | 3.3                     | 3.4                     |
| その他                           | 0.1                     | 0.0                     |
| <b>税効果会計適用後の<br/>法人税等の負担率</b> | <b>20.6</b>             | <b>20.0</b>             |

(資産除去債務関係)

記載すべき重要な事項はありません。

(賃貸等不動産関係)

提出会社及び一部の子会社では、東京都や千葉県などの地域において、賃貸商業施設、賃貸住宅、賃貸オフィスビルなど(土地を含む。)を有しております。2018年3月期における当該賃貸等不動産に関する賃貸損益は4,781百万円(賃貸収益は営業収益に、主な賃貸費用は営業費に計上)であり、2019年3月期における当該賃貸等不動産に関する賃貸損益は5,711百万円(賃貸収益は営業収益に、主な賃貸費用は営業費に計上)であります。

また、賃貸等不動産の連結貸借対照表計上額、期中増減額及び時価は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

|            |       | 前連結会計年度<br>(自 2017年4月1日<br>至 2018年3月31日) | 当連結会計年度<br>(自 2018年4月1日<br>至 2019年3月31日) |
|------------|-------|--|--|
| 連結貸借対照表計上額 | 期首残高  | 74,844                                   | 80,765                                   |
|            | 期中増減額 | 5,921                                    | 22,021                                   |
|            | 期末残高  | 80,765                                   | 102,786                                  |
| 期末時価       |       | 115,573                                  | 141,391                                  |

- (注) 1 連結貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額及び減損損失累計額を控除した金額であります。
- 2 期中増減額のうち、前連結会計年度の主な増加は千葉市中央区立体駐車場取得(1,736百万円)、中央区日本橋小網町土地取得(1,165百万円)、八千代市賃貸施設(メゾン八千代台)取得(1,094百万円)であり、主な減少は減価償却費(2,390百万円)であります。また、当連結会計年度の主な増加は三菱ふそうトラック・バス(株)整備・営業拠点取得(18,395百万円)、カラープリア津田沼取得(1,487百万円)であり、主な減少は減価償却費(2,641百万円)であります。
- 3 期末の時価は、土地は適切に市場価格を反映していると考えられる指標に基づき自社で算定した金額であり、建物等の償却性資産は適切な帳簿価額の金額であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

なお、当社は、鉄道事業を中心にグループを展開しており、報告セグメント及び主要な事業内容は次のとおりであります。

| (報告セグメント)  | (主要な事業内容)                             |
|------------|---------------------------------------|
| 運輸業        | 鉄道、バス、タクシー等の営業を行っております。               |
| 流通業        | 百貨店業等により商品の販売等を行っております。               |
| 不動産業       | 建物の賃貸、土地及び建物の販売等を行っております。             |
| レジャー・サービス業 | 映画、ホテル、飲食業等を行っております。                  |
| 建設業        | 土木・建築工事、電気工事等の請負を行っております。             |
| その他の事業     | 鉄道車両の整備、自動車車体の製造及び自動車教習所の経営等を行っております。 |

2 報告セグメントごとの売上高、利益、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益の数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：百万円)

|                        | 運輸業     | 流通業    | 不動産業    | レジャー・サービス業 | 建設業    | その他の事業 | 計       | 調整額<br>(注1) | 連結財務諸表計上額<br>(注2) |
|------------------------|---------|--------|---------|------------|--------|--------|---------|-------------|-------------------|
| 営業収益                   |         |        |         |            |        |        |         |             |                   |
| (1) 外部顧客に対する営業収益       | 147,937 | 68,109 | 14,641  | 6,540      | 12,948 | 4,850  | 255,028 |             | 255,028           |
| (2) セグメント間の内部営業収益又は振替高 | 956     | 472    | 5,578   | 2,711      | 9,307  | 3,752  | 22,778  | 22,778      |                   |
| 計                      | 148,894 | 68,581 | 20,219  | 9,252      | 22,255 | 8,603  | 277,806 | 22,778      | 255,028           |
| セグメント利益                | 20,534  | 663    | 6,651   | 169        | 1,497  | 476    | 29,992  | 92          | 30,085            |
| セグメント資産                | 437,220 | 25,981 | 122,431 | 5,497      | 14,520 | 7,326  | 612,979 | 181,733     | 794,712           |
| その他の項目                 |         |        |         |            |        |        |         |             |                   |
| 減価償却費                  | 21,350  | 828    | 3,130   | 188        | 57     | 69     | 25,624  | 92          | 25,531            |
| 減損損失                   |         | 211    | 262     |            |        |        | 473     | 25          | 448               |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額     | 29,271  | 1,008  | 9,243   | 191        | 46     | 42     | 39,804  | 23          | 39,781            |

(注) 1 (1)セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2)セグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去及び全社資産の金額223,557百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社での余資運用資金(現金・預金、短期貸付金及び有価証券)、長期投資資金(投資有価証券及び長期貸付金)及び持分法適用会社株式であります。

(3)減価償却費の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(4)減損損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(5)有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

|                        | 運輸業     | 流通業    | 不動産業    | レジャー・サービス業 | 建設業    | その他の事業 | 計       | 調整額<br>(注1) | 連結財務諸表計上額<br>(注2) |
|------------------------|---------|--------|---------|------------|--------|--------|---------|-------------|-------------------|
| 営業収益                   |         |        |         |            |        |        |         |             |                   |
| (1) 外部顧客に対する営業収益       | 152,967 | 68,075 | 16,695  | 6,595      | 12,365 | 4,853  | 261,553 |             | 261,553           |
| (2) セグメント間の内部営業収益又は振替高 | 1,037   | 559    | 5,710   | 2,641      | 11,897 | 4,749  | 26,596  | 26,596      |                   |
| 計                      | 154,004 | 68,634 | 22,406  | 9,237      | 24,263 | 9,602  | 288,149 | 26,596      | 261,553           |
| セグメント利益                | 22,448  | 247    | 6,727   | 107        | 1,466  | 573    | 31,570  | 37          | 31,608            |
| セグメント資産                | 450,404 | 25,255 | 148,184 | 6,119      | 17,160 | 8,204  | 655,328 | 197,697     | 853,025           |
| その他の項目                 |         |        |         |            |        |        |         |             |                   |
| 減価償却費                  | 21,291  | 754    | 3,332   | 191        | 56     | 81     | 25,708  | 105         | 25,603            |
| 減損損失                   |         | 98     |         |            |        |        | 98      |             | 98                |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額     | 32,934  | 947    | 26,821  | 394        | 34     | 213    | 61,344  | 505         | 60,839            |

(注) 1 (1)セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

(2)セグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去及び全社資産の金額242,487百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社での余資運用資金(現金・預金、短期貸付金及び有価証券)、長期投資資金(投資有価証券及び長期貸付金)及び持分法適用会社株式であります。

(3)減価償却費の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(4)有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高は僅少なため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高は僅少なため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

【関連当事者情報】

1 関連当事者との取引

該当事項はありません。

2 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

該当事項はありません。

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

当連結会計年度において、重要な関連会社は株式会社オリエンタルランドであり、その要約財務情報は以下のとおりであります。

|                 | (百万円)   |
|-----------------|---------|
| 流動資産合計          | 359,134 |
| 固定資産合計          | 551,539 |
| 流動負債合計          | 123,623 |
| 固定負債合計          | 65,073  |
| 純資産合計           | 721,976 |
| 売上高             | 479,280 |
| 税金等調整前当期純利益     | 112,997 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 81,191  |

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

当連結会計年度において、重要な関連会社は株式会社オリエンタルランドであり、その要約財務情報は以下のとおりであります。

|                 | (百万円)   |
|-----------------|---------|
| 流動資産合計          | 441,835 |
| 固定資産合計          | 609,619 |
| 流動負債合計          | 154,652 |
| 固定負債合計          | 93,601  |
| 純資産合計           | 803,201 |
| 売上高             | 525,622 |
| 税金等調整前当期純利益     | 129,439 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 90,286  |

(1株当たり情報)

|              | 前連結会計年度<br>(自 2017年4月1日<br>至 2018年3月31日) | 当連結会計年度<br>(自 2018年4月1日<br>至 2019年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 1株当たり純資産額    | 2,094.61円                                | 2,300.86円                                |
| 1株当たり当期純利益金額 | 205.66円                                  | 228.29円                                  |

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

|                              | 前連結会計年度<br>(自 2017年4月1日<br>至 2018年3月31日) | 当連結会計年度<br>(自 2018年4月1日<br>至 2019年3月31日) |
|------------------------------|--|--|
| 1株当たり当期純利益金額                 |  |  |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)        | 34,811                                   | 38,642                                   |
| 普通株主に帰属しない金額 (百万円)           |  |  |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円) | 34,811                                   | 38,642                                   |
| 普通株式の期中平均株式数 (千株)            | 169,271                                  | 169,269                                  |

- 3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

|                                  | 前連結会計年度末<br>(2018年3月31日) | 当連結会計年度末<br>(2019年3月31日) |
|----------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 純資産の部の合計額 (百万円)                  | 366,423                  | 402,901                  |
| 純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)          | 11,869                   | 13,436                   |
| (うち非支配株主持分) (百万円)                | 11,869                   | 13,436                   |
| 普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)             | 354,554                  | 389,464                  |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (千株) | 169,269                  | 169,269                  |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。



【連結附属明細表】

【社債明細表】

| 会社名  | 銘柄                         | 発行年月日          | 当期首残高<br>(百万円) | 当期末残高<br>(百万円)     | 利率<br>(%) | 担保 | 償還期限           |
|------|----------------------------|----------------|----------------|--------------------|-----------|----|----------------|
| 提出会社 | 第46回無担保社債<br>(社債間限定同順位特約付) | 2009年<br>6月15日 | 10,000         | 10,000<br>(10,000) | 2.160     | なし | 2019年<br>6月14日 |
| "    | 第48回無担保社債<br>(社債間限定同順位特約付) | 2013年<br>7月25日 | 10,000         | 10,000             | 1.004     | "  | 2023年<br>7月25日 |
| "    | 第49回無担保社債<br>(社債間限定同順位特約付) | 2015年<br>9月4日  | 10,000         | 10,000             | 0.291     | "  | 2020年<br>9月4日  |
| "    | 第50回無担保社債<br>(社債間限定同順位特約付) | 2016年<br>6月21日 | 10,000         | 10,000             | 0.449     | "  | 2031年<br>6月20日 |
| "    | 第51回無担保社債<br>(社債間限定同順位特約付) | 2018年<br>9月7日  |                | 10,000             | 0.395     | "  | 2028年<br>9月7日  |
| "    | 第52回無担保社債<br>(社債間限定同順位特約付) | 2018年<br>9月7日  |                | 10,000             | 0.833     | "  | 2038年<br>9月7日  |
| "    | 第53回無担保社債<br>(社債間限定同順位特約付) | 2019年<br>3月8日  |                | 10,000             | 0.787     | "  | 2039年<br>3月8日  |
| 合計   |                            |                | 40,000         | 70,000             |           |    |                |

(注) 1 当期末残高のうち( )内は内書で、連結決算日後1年以内に償還予定のものであります。

2 連結決算日後5年内における償還予定額は以下のとおりであります。

| 1年以内<br>(百万円) | 1年超2年以内<br>(百万円) | 2年超3年以内<br>(百万円) | 3年超4年以内<br>(百万円) | 4年超5年以内<br>(百万円) |
|---------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 10,000        | 10,000           |                  |                  | 10,000           |

【借入金等明細表】

| 区分                      | 当期首残高<br>(百万円) | 当期末残高<br>(百万円) | 平均利率<br>(%) | 返済期限        |
|-------------------------|----------------|----------------|-------------|-------------|
| 短期借入金                   | 42,077         | 43,812         | 0.4         |             |
| 1年以内に返済予定の長期借入金         | 18,765         | 19,662         | 1.0         |             |
| 1年以内に返済予定のリース債務         | 4,489          | 5,043          |             |             |
| 長期借入金(1年以内に返済予定のものを除く。) | 122,747        | 108,289        | 1.0         | 2020年～2044年 |
| リース債務(1年以内に返済予定のものを除く。) | 20,121         | 21,956         |             | 2020年～2067年 |
| その他有利子負債                |                |                |             |             |
| 鉄道・運輸機構長期未払金<br>(1年内返済) | 2,793          | 2,824          | 0.7         |             |
| 鉄道・運輸機構長期未払金<br>(1年超)   | 51,306         | 48,455         | 0.7         | 2020年～2037年 |
| 預り保証金(1年内返済)            | 404            | 228            | 1.0         |             |
| 預り保証金(1年超)              | 553            | 324            | 1.0         | 2020年～2027年 |
| 合計                      | 263,259        | 250,596        |             |             |

- (注) 1 平均利率については、期末日の利率及び借入残高に対する加重平均利率を記載しております。リース債務については、利息相当額を控除しない方法で計上しているため、平均利率は記載しておりません。
- 2 鉄道・運輸機構長期未払金には、これらに係る消費税の未払金(当期首残高1,134百万円 当期末残高1,074百万円)は含めておりません。
- 3 長期借入金、リース債務及びその他有利子負債(1年以内に返済予定のものを除く。)の連結決算日後5年内における返済予定額は以下のとおりであります。

|          | 1年超2年以内<br>(百万円) | 2年超3年以内<br>(百万円) | 3年超4年以内<br>(百万円) | 4年超5年以内<br>(百万円) |
|----------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 長期借入金    | 9,133            | 8,575            | 12,852           | 7,913            |
| リース債務    | 4,657            | 4,368            | 3,843            | 2,101            |
| その他有利子負債 | 2,923            | 2,970            | 3,019            | 3,068            |

【資産除去債務明細表】

当連結会計年度期首及び当連結会計年度末における資産除去債務の金額が当連結会計年度期首及び当連結会計年度末における負債及び純資産の合計額の100分の1以下であるため、記載を省略しております。

(2) 【その他】

当連結会計年度における四半期情報等

| (累計期間)                       | 第1四半期  | 第2四半期   | 第3四半期   | 当連結会計年度 |
|------------------------------|--------|---------|---------|---------|
| 営業収益 (百万円)                   | 63,947 | 129,916 | 194,558 | 261,553 |
| 税金等調整前四半期(当期)純利益金額 (百万円)     | 14,186 | 27,063  | 42,897  | 50,563  |
| 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益金額 (百万円) | 10,750 | 20,520  | 32,813  | 38,642  |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)        | 63.51  | 121.23  | 193.85  | 228.29  |

| (会計期間)            | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 |
|-------------------|-------|-------|-------|-------|
| 1株当たり四半期純利益金額 (円) | 63.51 | 57.72 | 72.62 | 34.44 |

## 2 【財務諸表等】

## (1) 【財務諸表】

## 【貸借対照表】

(単位：百万円)

|                    | 前事業年度<br>(2018年3月31日) | 当事業年度<br>(2019年3月31日) |
|--------------------|-----------------------|-----------------------|
| <b>資産の部</b>        |                       |                       |
| <b>流動資産</b>        |                       |                       |
| 現金及び預金             | 5,132                 | 4,504                 |
| 未収運賃               | 4,673                 | 4,962                 |
| 未収金                | 1,102                 | 3,443                 |
| リース投資資産            | 2,046                 | 2,104                 |
| 短期貸付金              | 1,859                 | 1,110                 |
| 分譲土地建物             | 6,260                 | 7,559                 |
| 貯蔵品                | 1,878                 | 2,069                 |
| 前払費用               | 1,063                 | 1,114                 |
| その他の流動資産           | 1,579                 | 2,354                 |
| 貸倒引当金              | 0                     | -                     |
| <b>流動資産合計</b>      | <b>25,595</b>         | <b>29,223</b>         |
| <b>固定資産</b>        |                       |                       |
| <b>鉄道事業固定資産</b>    |                       |                       |
| 有形固定資産             | 461,201               | 469,927               |
| 減価償却累計額            | 232,590               | 238,569               |
| 有形固定資産（純額）         | <sup>1</sup> 228,610  | <sup>1</sup> 231,358  |
| 無形固定資産             | 6,224                 | 6,201                 |
| <b>鉄道事業固定資産合計</b>  | <sup>3</sup> 234,834  | <sup>3</sup> 237,559  |
| <b>開発事業固定資産</b>    |                       |                       |
| 有形固定資産             | 152,980               | 178,194               |
| 減価償却累計額            | 44,681                | 47,677                |
| 有形固定資産（純額）         | <sup>1</sup> 108,299  | <sup>1</sup> 130,516  |
| 無形固定資産             | 429                   | 413                   |
| <b>開発事業固定資産合計</b>  | <sup>3</sup> 108,728  | <sup>3</sup> 130,930  |
| <b>各事業関連固定資産</b>   |                       |                       |
| 有形固定資産             | 4,495                 | 4,562                 |
| 減価償却累計額            | 619                   | 713                   |
| 有形固定資産（純額）         | 3,875                 | 3,848                 |
| 無形固定資産             | 239                   | 173                   |
| <b>各事業関連固定資産合計</b> | <b>4,115</b>          | <b>4,022</b>          |
| <b>建設仮勘定</b>       |                       |                       |
| 鉄道事業               | 23,020                | 28,145                |
| 開発事業               | 1,009                 | 2,261                 |
| 各事業関連              | 78                    | 103                   |
| <b>建設仮勘定合計</b>     | <b>24,107</b>         | <b>30,510</b>         |

(単位：百万円)

|                 | 前事業年度<br>(2018年3月31日) | 当事業年度<br>(2019年3月31日) |
|-----------------|-----------------------|-----------------------|
| <b>投資その他の資産</b> |                       |                       |
| 投資有価証券          | 9,951                 | 12,148                |
| 関係会社株式          | 1 63,533              | 1 64,793              |
| 長期貸付金           | 292                   | 271                   |
| 従業員に対する長期貸付金    | 2                     | 1                     |
| 関係会社長期貸付金       | 19,292                | 19,974                |
| 長期前払費用          | 60                    | 55                    |
| 繰延税金資産          | 8,465                 | 8,280                 |
| その他の投資等         | 1,230                 | 1,200                 |
| 貸倒引当金           | 1                     | -                     |
| 投資その他の資産合計      | 102,825               | 106,724               |
| 固定資産合計          | 474,612               | 509,747               |
| <b>繰延資産</b>     |                       |                       |
| 社債発行費           | 114                   | 272                   |
| 繰延資産合計          | 114                   | 272                   |
| 資産合計            | 500,322               | 539,244               |
| <b>負債の部</b>     |                       |                       |
| <b>流動負債</b>     |                       |                       |
| 短期借入金           | 34,945                | 34,945                |
| 1年内返済予定の長期借入金   | 1 17,709              | 1 18,743              |
| 1年内償還予定の社債      | -                     | 10,000                |
| リース債務           | 2,978                 | 3,312                 |
| 未払金             | 6,618                 | 8,324                 |
| 設備関係未払金         | 10,033                | 13,585                |
| 未払費用            | 956                   | 960                   |
| 未払消費税等          | 2,455                 | -                     |
| 未払法人税等          | 3,504                 | 3,129                 |
| 預り連絡運賃          | 719                   | 749                   |
| 預り金             | 4 38,415              | 4 38,266              |
| 前受運賃            | 2,343                 | 2,449                 |
| 前受金             | 17,094                | 19,412                |
| 賞与引当金           | 990                   | 998                   |
| その他の流動負債        | 27                    | 32                    |
| 流動負債合計          | 138,792               | 154,909               |
| <b>固定負債</b>     |                       |                       |
| 社債              | 40,000                | 60,000                |
| 長期借入金           | 1 110,486             | 1 96,892              |
| リース債務           | 15,853                | 16,380                |
| 長期未払金           | 792                   | 884                   |
| 退職給付引当金         | 18,958                | 19,141                |
| 資産除去債務          | 1,800                 | 1,403                 |
| 長期預り敷金保証金       | 5,320                 | 5,768                 |
| その他の固定負債        | 1                     | 1                     |
| 固定負債合計          | 193,212               | 200,472               |
| 負債合計            | 332,005               | 355,381               |

(単位：百万円)

|              | 前事業年度<br>(2018年3月31日) | 当事業年度<br>(2019年3月31日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------|
| <b>純資産の部</b> |                       |                       |
| 株主資本         |                       |                       |
| 資本金          | 36,803                | 36,803                |
| 資本剰余金        |                       |                       |
| 資本準備金        | 27,845                | 27,845                |
| その他資本剰余金     | 58                    | 58                    |
| 資本剰余金合計      | 27,904                | 27,904                |
| 利益剰余金        |                       |                       |
| 利益準備金        | 3,038                 | 3,038                 |
| その他利益剰余金     |                       |                       |
| 別途積立金        | 8,095                 | 8,095                 |
| 繰越利益剰余金      | 91,799                | 107,067               |
| 利益剰余金合計      | 102,933               | 118,201               |
| 自己株式         | 794                   | 794                   |
| 株主資本合計       | 166,847               | 182,114               |
| 評価・換算差額等     |                       |                       |
| その他有価証券評価差額金 | 1,469                 | 1,747                 |
| 評価・換算差額等合計   | 1,469                 | 1,747                 |
| 純資産合計        | 168,316               | 183,862               |
| 負債純資産合計      | 500,322               | 539,244               |

## 【損益計算書】

(単位：百万円)

|                   | 前事業年度<br>(自 2017年 4月 1日<br>至 2018年 3月31日) | 当事業年度<br>(自 2018年 4月 1日<br>至 2019年 3月31日) |
|-------------------|---|---|
| <b>鉄道事業営業利益</b>   |   |   |
| <b>営業収益</b>       |   |   |
| 旅客運輸収入            | 63,227                                    | 65,563                                    |
| 運輸雑収              | 3,741                                     | 3,855                                     |
| <b>鉄道事業営業収益合計</b> | <b>66,968</b>                             | <b>69,419</b>                             |
| <b>営業費</b>        |   |   |
| 運送営業費             | 37,105                                    | 37,904                                    |
| 一般管理費             | 2,186                                     | 2,167                                     |
| 諸税                | 3,158                                     | 3,169                                     |
| 減価償却費             | 13,262                                    | 12,741                                    |
| <b>鉄道事業営業費合計</b>  | <b>55,712</b>                             | <b>55,983</b>                             |
| <b>鉄道事業営業利益</b>   | <b>11,256</b>                             | <b>13,436</b>                             |
| <b>開発事業営業利益</b>   |   |   |
| <b>営業収益</b>       |   |   |
| 土地建物分譲収入          | 3,163                                     | 3,304                                     |
| 賃貸収入              | 11,581                                    | 12,650                                    |
| <b>開発事業営業収益合計</b> | <b>14,744</b>                             | <b>15,954</b>                             |
| <b>営業費</b>        |   |   |
| 売上原価              | 2,127                                     | 2,773                                     |
| 販売費及び一般管理費        | 2,046                                     | 2,136                                     |
| 諸税                | 1,311                                     | 1,510                                     |
| 減価償却費             | 3,043                                     | 3,285                                     |
| <b>開発事業営業費合計</b>  | <b>8,528</b>                              | <b>9,706</b>                              |
| <b>開発事業営業利益</b>   | <b>6,216</b>                              | <b>6,248</b>                              |
| <b>全事業営業利益</b>    | <b>17,472</b>                             | <b>19,685</b>                             |
| <b>営業外収益</b>      |   |   |
| 受取利息              | 368                                       | 360                                       |
| 受取配当金             | 4,702                                     | 5,449                                     |
| 受託工事事務費戻入         | 337                                       | 215                                       |
| 雑収入               | 965                                       | 965                                       |
| <b>営業外収益合計</b>    | <b>1 6,373</b>                            | <b>1 6,991</b>                            |
| <b>営業外費用</b>      |   |   |
| 支払利息              | 1,627                                     | 1,502                                     |
| 社債利息              | 440                                       | 465                                       |
| 社債発行費償却           | 26  | 31  |
| 業務受託費用            | 283                                       | 282                                       |
| 雑支出               | 288                                       | 274                                       |
| <b>営業外費用合計</b>    | <b>2,667</b>                              | <b>2,556</b>                              |
| <b>経常利益</b>       | <b>21,178</b>                             | <b>24,120</b>                             |

(単位：百万円)

|               | 前事業年度<br>(自 2017年 4月 1日<br>至 2018年 3月 31日) | 当事業年度<br>(自 2018年 4月 1日<br>至 2019年 3月 31日) |
|---------------|--|--|
| <b>特別利益</b>   |  |  |
| 工事負担金等受入額     | 1,332                                      | 814  |
| 投資有価証券売却益     | -  | 2 417                                      |
| その他           | 119  | 6  |
| <b>特別利益合計</b> | <b>1,451</b>                               | <b>1,238</b>                               |
| <b>特別損失</b>   |  |  |
| 固定資産圧縮損       | 3 1,228                                    | 3 805                                      |
| 固定資産除却損       | 4 519                                      | 4 252                                      |
| 減損損失          | 262  | -  |
| その他           | 25   | 111  |
| <b>特別損失合計</b> | <b>2,035</b>                               | <b>1,170</b>                               |
| 税引前当期純利益      | 20,594                                     | 24,188                                     |
| 法人税、住民税及び事業税  | 5,765                                      | 6,195                                      |
| 法人税等調整額       | 325  | 62   |
| 法人税等合計        | 5,440                                      | 6,258                                      |
| 当期純利益         | 15,154                                     | 17,929                                     |



【営業費明細表】

| 区分               | 注記<br>番号 | 前事業年度<br>(自 2017年4月1日<br>至 2018年3月31日) |        | 当事業年度<br>(自 2018年4月1日<br>至 2019年3月31日) |        |
|------------------|----------|--|--------|--|--------|
|                  |          | 金額(百万円)                                |        | 金額(百万円)                                |        |
| 鉄道事業営業費          |          |  |        |  |        |
| 1 運送営業費          | 1        |  |        |  |        |
| 人件費              |          | 14,941                                 |        | 15,064                                 |        |
| 経費               |          | 22,163                                 |        | 22,839                                 |        |
| 計                |          |  | 37,105 |  | 37,904 |
| 2 一般管理費          |          |  |        |  |        |
| 人件費              |          | 1,240                                  |        | 1,196                                  |        |
| 経費               |          | 945                                    |        | 970                                    |        |
| 計                |          |  | 2,186  |  | 2,167  |
| 3 諸税             |          |  | 3,158  |  | 3,169  |
| 4 減価償却費          |          |  | 13,262 |  | 12,741 |
| 鉄道事業営業費合計        |          |  | 55,712 |  | 55,983 |
| 開発事業営業費          |          |  |        |  |        |
| 1 売上原価           |          |  |        |  |        |
| 不動産販売売上原価        |          | 2,107                                  |        | 2,750                                  |        |
| その他の開発事業<br>売上原価 |          | 20                                     |        | 22                                     |        |
| 計                |          |  | 2,127  |  | 2,773  |
| 2 販売費及び一般管理費     | 2        |  |        |  |        |
| 人件費              |          | 363                                    |        | 344                                    |        |
| 経費               |          | 1,682                                  |        | 1,792                                  |        |
| 計                |          |  | 2,046  |  | 2,136  |
| 3 諸税             |          |  | 1,311  |  | 1,510  |
| 4 減価償却費          |          |  | 3,043  |  | 3,285  |
| 開発事業営業費合計        |          |  | 8,528  |  | 9,706  |
| 全事業営業費合計         |          |  | 64,240 |  | 65,689 |

(注) 事業別営業費合計の100分の5を超える主な費用並びに営業費(全事業)に含まれている引当金繰入額は、次のとおりである。

| 前事業年度 |                       |            | 当事業年度  |   |                       |            |        |
|-------|-----------------------|------------|--------|---|-----------------------|------------|--------|
| 1     | 鉄道事業営業費               | 運送営業費      | 百万円    | 1 | 鉄道事業営業費               | 運送営業費      | 百万円    |
|       |                       | 給与         | 12,201 |   |                       | 給与         | 12,299 |
|       |                       | 鉄道線路使用料    | 5,670  |   |                       | 鉄道線路使用料    | 5,693  |
|       |                       | 修繕費        | 5,418  |   |                       | 修繕費        | 5,261  |
|       |                       | 動力費        | 3,191  |   |                       | 動力費        | 3,490  |
| 2     | 開発事業営業費               | 販売費及び一般管理費 |        | 2 | 開発事業営業費               | 販売費及び一般管理費 |        |
|       |                       | 賃借料        | 546    |   |                       | 賃借料        | 585    |
| 3     | 営業費(全事業)に含まれている引当金繰入額 |            |        | 3 | 営業費(全事業)に含まれている引当金繰入額 |            |        |
|       |                       | 賞与引当金繰入額   | 990    |   |                       | 賞与引当金繰入額   | 998    |
|       |                       | 退職給付引当金繰入額 | 964    |   |                       | 退職給付引当金繰入額 | 951    |

【株主資本等変動計算書】

前事業年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：百万円)

|                         | 株主資本   |        |              |             |       |             |        |             |
|-------------------------|--------|--------|--------------|-------------|-------|-------------|--------|-------------|
|                         | 資本金    | 資本剰余金  |              |             | 利益剰余金 |             |        |             |
|                         |        | 資本準備金  | その他<br>資本剰余金 | 資本剰余金<br>合計 | 利益準備金 | その他利益剰余金    |        | 利益剰余金<br>合計 |
|                         |        |        |              |             | 別途積立金 | 繰越利益<br>剰余金 |        |             |
| 当期首残高                   | 36,803 | 27,845 | 58           | 27,904      | 3,038 | 8,095       | 72,691 | 83,825      |
| 会計方針の変更による<br>累積的影響額    |        |        |              |             |       |             | 6,529  | 6,529       |
| 会計方針の変更を反映し<br>た当期首残高   | 36,803 | 27,845 | 58           | 27,904      | 3,038 | 8,095       | 79,221 | 90,355      |
| 当期変動額                   |        |        |              |             |       |             |        |             |
| 剰余金の配当                  |        |        |              |             |       |             | 2,576  | 2,576       |
| 当期純利益                   |        |        |              |             |       |             | 15,154 | 15,154      |
| 自己株式の取得                 |        |        |              |             |       |             |        |             |
| 自己株式の処分                 |        |        | 0            | 0           |       |             |        |             |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額(純額) |        |        |              |             |       |             |        |             |
| 当期変動額合計                 |        |        | 0            | 0           |       |             | 12,578 | 12,578      |
| 当期末残高                   | 36,803 | 27,845 | 58           | 27,904      | 3,038 | 8,095       | 91,799 | 102,933     |

|                         | 株主資本 |         | 評価・換算差額等             |                | 純資産合計   |
|-------------------------|------|---------|----------------------|----------------|---------|
|                         | 自己株式 | 株主資本合計  | その他<br>有価証券<br>評価差額金 | 評価・換算<br>差額等合計 |         |
| 当期首残高                   | 794  | 147,739 | 1,798                | 1,798          | 149,537 |
| 会計方針の変更による<br>累積的影響額    |      | 6,529   |                      |                | 6,529   |
| 会計方針の変更を反映し<br>た当期首残高   | 794  | 154,269 | 1,798                | 1,798          | 156,067 |
| 当期変動額                   |      |         |                      |                |         |
| 剰余金の配当                  |      | 2,576   |                      |                | 2,576   |
| 当期純利益                   |      | 15,154  |                      |                | 15,154  |
| 自己株式の取得                 |      |         |                      |                |         |
| 自己株式の処分                 | 0    | 0       |                      |                | 0       |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額(純額) |      |         | 328                  | 328            | 328     |
| 当期変動額合計                 | 0    | 12,578  | 328                  | 328            | 12,249  |
| 当期末残高                   | 794  | 166,847 | 1,469                | 1,469          | 168,316 |

当事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

|                         | 株主資本   |        |              |             |       |             |         |             |
|-------------------------|--------|--------|--------------|-------------|-------|-------------|---------|-------------|
|                         | 資本金    | 資本剰余金  |              |             | 利益剰余金 |             |         |             |
|                         |        | 資本準備金  | その他<br>資本剰余金 | 資本剰余金<br>合計 | 利益準備金 | その他利益剰余金    |         | 利益剰余金<br>合計 |
|                         |        |        |              |             | 別途積立金 | 繰越利益<br>剰余金 |         |             |
| 当期首残高                   | 36,803 | 27,845 | 58           | 27,904      | 3,038 | 8,095       | 91,799  | 102,933     |
| 会計方針の変更による<br>累積的影響額    |        |        |              |             |       |             |         |             |
| 会計方針の変更を反映し<br>た当期首残高   | 36,803 | 27,845 | 58           | 27,904      | 3,038 | 8,095       | 91,799  | 102,933     |
| 当期変動額                   |        |        |              |             |       |             |         |             |
| 剰余金の配当                  |        |        |              |             |       |             | 2,662   | 2,662       |
| 当期純利益                   |        |        |              |             |       |             | 17,929  | 17,929      |
| 自己株式の取得                 |        |        |              |             |       |             |         |             |
| 自己株式の処分                 |        |        |              |             |       |             |         |             |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額(純額) |        |        |              |             |       |             |         |             |
| 当期変動額合計                 |        |        |              |             |       |             | 15,267  | 15,267      |
| 当期末残高                   | 36,803 | 27,845 | 58           | 27,904      | 3,038 | 8,095       | 107,067 | 118,201     |

|                         | 株主資本 |         | 評価・換算差額等             |                | 純資産合計   |
|-------------------------|------|---------|----------------------|----------------|---------|
|                         | 自己株式 | 株主資本合計  | その他<br>有価証券<br>評価差額金 | 評価・換算<br>差額等合計 |         |
| 当期首残高                   | 794  | 166,847 | 1,469                | 1,469          | 168,316 |
| 会計方針の変更による<br>累積的影響額    |      |         |                      |                |         |
| 会計方針の変更を反映し<br>た当期首残高   | 794  | 166,847 | 1,469                | 1,469          | 168,316 |
| 当期変動額                   |      |         |                      |                |         |
| 剰余金の配当                  |      | 2,662   |                      |                | 2,662   |
| 当期純利益                   |      | 17,929  |                      |                | 17,929  |
| 自己株式の取得                 | 0    | 0       |                      |                | 0       |
| 自己株式の処分                 |      |         |                      |                |         |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額(純額) |      |         | 278                  | 278            | 278     |
| 当期変動額合計                 | 0    | 15,267  | 278                  | 278            | 15,545  |
| 当期末残高                   | 794  | 182,114 | 1,747                | 1,747          | 183,862 |

【注記事項】

(重要な会計方針)

1 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法

(2) その他有価証券

時価のあるもの

期末日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの

移動平均法による原価法

2 たな卸資産の評価基準及び評価方法

分譲土地建物 個別法による原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)

貯蔵品 移動平均法による原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)

3 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産 (リース資産を除く)

建物及び構築物 (全事業) 定額法

車両、機械装置、工具・器具・備品 (賃貸業用のもの) 定額法

同上 (賃貸業以外のもの) 定率法

なお、鉄道事業の取替資産については、取替法(定額法)を適用しております。

また、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 8年～50年

構築物 5年～60年

車両 13年

(2) 無形固定資産 (リース資産を除く) 定額法

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

(3) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が2008年3月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

4 繰延資産の処理方法

社債発行費

社債の償還までの期間にわたり定額法により償却しております。

## 5 引当金の計上基準

### (1) 貸倒引当金

営業債権・貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

### (2) 賞与引当金

従業員の賞与の支給にあてるため、支給見込額のうち当事業年度の負担額を計上しております。

### (3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

#### 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、期間定額基準によっております。

#### 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により費用処理しております。

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生翌事業年度から費用処理することとしております。

## 6 収益及び費用の計上基準

### ファイナンス・リース取引に係る収益の計上基準

リース料受取時に売上高と売上原価を計上する方法によっております。

## 7 鉄道事業における工事負担金等の会計処理の方法

鉄道事業において固定資産の取得のために受け入れた工事負担金等は、工事完成時に当該固定資産の取得原価から直接減額しております。なお、損益計算書においては、工事負担金等受入額を特別利益に計上するとともに、固定資産の取得原価から直接減じた額を固定資産圧縮損として特別損失に計上しております。

## 8 ヘッジ会計の方法

### (1) ヘッジ会計の方法

金利スワップ取引について特例処理を採用しております。

### (2) ヘッジ手段とヘッジ対象

|       |        |
|-------|--------|
| ヘッジ手段 | 金利スワップ |
| ヘッジ対象 | 借入金    |

### (3) ヘッジ方針

借入金の金利変動リスクをヘッジする目的で、特例処理を採用できるもの限り金利スワップを行っております。

### (4) ヘッジ有効性評価の方法

金利の変動に伴うキャッシュ・フローの変動を完全に相殺するものと想定されるため、ヘッジ有効性の評価は省略しております。

## 9 その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

### (1) 支払利息の原価算入

分譲土地建物の開発事業に係る支払利息の一部を取得原価に算入しております。

なお、当事業年度において取得原価に算入した額はありません。

### (2) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

### (3) 退職給付に係る会計処理

退職給付に係る未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の未処理額の会計処理の方法は、連結財務諸表におけるこれらの会計処理の方法と異なっております。

（会計方針の変更）

「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 平成30年2月16日）を当事業年度の期首から適用し、子会社株式等に係る将来加算一時差異の取扱いを変更いたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、前事業年度については遡及適用後の財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前事業年度における貸借対照表の繰延税金資産及び繰越利益剰余金が6,529百万円、それぞれ増加しております。

前事業年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、株主資本等変動計算書の繰越利益剰余金の遡及適用後の期首残高が6,529百万円増加しております。

なお、1株当たり情報に与える影響額は該当箇所に記載しております。

（表示方法の変更）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）を当事業年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更いたしました。

この結果、前事業年度の貸借対照表において、「流動資産」に区分しておりました「繰延税金資産」664百万円は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」8,465百万円に含めて表示しております。

## (貸借対照表関係)

## 1 担保物件

## (イ)財団

|                                 | 前事業年度<br>(2018年3月31日) | 当事業年度<br>(2019年3月31日) |
|---------------------------------|-----------------------|-----------------------|
| 鉄道事業固定資産                        | 202,731百万円            | 204,973百万円            |
| 上記固定資産を下記の債務の担保に供しております。        |                       |                       |
| 長期借入金<br>(1年内返済額を含む<br>財団抵当借入金) | 49,558百万円             | 48,177百万円             |

## (ロ)その他

|                          | 前事業年度<br>(2018年3月31日) | 当事業年度<br>(2019年3月31日) |
|--------------------------|-----------------------|-----------------------|
| (1)開発事業固定資産              | 2,018百万円              | 2,018百万円              |
| 上記固定資産を下記の債務の担保に供しております。 |                       |                       |
| 長期借入金<br>(1年内返済額を含む)     | 53百万円                 | 35百万円                 |

|                                      | 前事業年度<br>(2018年3月31日) | 当事業年度<br>(2019年3月31日) |
|--------------------------------------|-----------------------|-----------------------|
| (2)関係会社株式                            | 60百万円                 | 39百万円                 |
| 上記有価証券を下記の債務を担保するため譲渡担保として差し入れております。 |                       |                       |
| 子会社の取引先に対する<br>保証金及び敷金返還債務           | 919百万円                | 567百万円                |

## 2 偶発債務

下記の会社のリース料に対して債務保証を行っております。

|             | 前事業年度<br>(2018年3月31日) | 当事業年度<br>(2019年3月31日) |
|-------------|-----------------------|-----------------------|
| 千葉ニュータウン鉄道㈱ | 564百万円                | 502百万円                |
| 北総鉄道㈱       | 503                   | 143                   |

## 3 固定資産の取得原価から控除した工事負担金等累計額

|          | 前事業年度<br>(2018年3月31日) | 当事業年度<br>(2019年3月31日) |
|----------|-----------------------|-----------------------|
| 鉄道事業固定資産 | 122,668百万円            | 123,371百万円            |
| 開発事業固定資産 | 630                   | 634                   |
| 計        | 123,298               | 124,005               |

## 4 関係会社に係るもの

区分掲記されたもの以外で、各科目に含まれている関係会社に対するものは次のとおりであります。

|        | 前事業年度<br>(2018年3月31日) | 当事業年度<br>(2019年3月31日) |
|--------|-----------------------|-----------------------|
| 負債 預り金 | 35,122百万円             | 34,889百万円             |

(損益計算書関係)

1 関係会社との取引に係るもの

営業外収益のうち関係会社に係る取引が次のとおり含まれております。

|               | 前事業年度<br>(自 2017年4月1日<br>至 2018年3月31日) | 当事業年度<br>(自 2018年4月1日<br>至 2019年3月31日) |
|---------------|--|--|
| 受取配当金         | 4,608百万円                               | 5,337百万円                               |
| 上記以外の営業外収益の合計 | 1,024                                  | 1,040                                  |

2 投資有価証券売却益

|  | 前事業年度<br>(自 2017年4月1日<br>至 2018年3月31日) | 当事業年度<br>(自 2018年4月1日<br>至 2019年3月31日) |
|--|--|--|
|  | 百万円                                    | 東武タワースカイツリー(株)<br>株式                   |
|  |  | 400百万円外                                |

3 固定資産圧縮損

|   | 前事業年度<br>(自 2017年4月1日<br>至 2018年3月31日) | 当事業年度<br>(自 2018年4月1日<br>至 2019年3月31日)  |
|---|--|---|
| 東京外かく環状道路交差工事に<br>係る工事負担金の受入等による<br>圧縮額 | 530百万円外                                | 鉄道施設バリアフリー化設備整<br>備に係る補助金の受入等による<br>圧縮額 |
|   |  | 478百万円外                                 |

4 固定資産除却損

|             | 前事業年度<br>(自 2017年4月1日<br>至 2018年3月31日) | 当事業年度<br>(自 2018年4月1日<br>至 2019年3月31日) |
|-------------|--|--|
| 千葉中央駅西口地区建物 | 380百万円外                                | 千葉中央駅西口地区建物                            |
|             |  | 111百万円外                                |

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

自己株式の種類及び株式数に関する事項

|      | 当事業年度期首<br>株式数(株) | 当事業年度<br>増加株式数(株) | 当事業年度<br>減少株式数(株) | 当事業年度末<br>株式数(株) |
|------|-------------------|-------------------|-------------------|------------------|
| 自己株式 |                   |                   |                   |                  |
| 普通株式 | 663,154           |                   | 9                 | 663,145          |
| 合計   | 663,154           |                   | 9                 | 663,145          |

(注) 普通株式の自己株式の株式数の減少9株は、単元未満株式の買増請求による減少であります。

当事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

自己株式の種類及び株式数に関する事項

|      | 当事業年度期首<br>株式数(株) | 当事業年度<br>増加株式数(株) | 当事業年度<br>減少株式数(株) | 当事業年度末<br>株式数(株) |
|------|-------------------|-------------------|-------------------|------------------|
| 自己株式 |                   |                   |                   |                  |
| 普通株式 | 663,145           | 146               |                   | 663,291          |
| 合計   | 663,145           | 146               |                   | 663,291          |

(注) 普通株式の自己株式の株式数の増加146株は、単元未満株式の買取りによる増加であります。



(有価証券関係)

子会社株式及び関連会社株式

前事業年度末(2018年3月31日)

| 区分     | 貸借対照表計上額<br>(百万円) | 時価<br>(百万円) | 差額<br>(百万円) |
|--------|-------------------|-------------|-------------|
| 関連会社株式 | 33,906            | 798,619     | 764,713     |

当事業年度末(2019年3月31日)

| 区分     | 貸借対照表計上額<br>(百万円) | 時価<br>(百万円) | 差額<br>(百万円) |
|--------|-------------------|-------------|-------------|
| 関連会社株式 | 33,906            | 921,864     | 887,957     |

(注) 時価を把握することが極めて困難と認められる子会社株式及び関連会社株式の貸借対照表計上額  
(単位:百万円)

| 区分     | 前事業年度末<br>(2018年3月31日) | 当事業年度末<br>(2019年3月31日) |
|--------|------------------------|------------------------|
| 子会社株式  | 25,981                 | 27,241                 |
| 関連会社株式 | 3,645                  | 3,645                  |
| 計      | 29,626                 | 30,886                 |

上記については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、「子会社株式及び関連会社株式」には含めておりません。

(税効果会計関係)

1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

|               | 前事業年度<br>(2018年3月31日) | 当事業年度<br>(2019年3月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------|
| <b>繰延税金資産</b> |                       |                       |
| 退職給付引当金       | 5,849百万円              | 5,904百万円              |
| 合併による土地評価差額   | 3,913                 | 3,913                 |
| 減損損失          | 2,653                 | 2,572                 |
| 有価証券評価損       | 1,074                 | 1,072                 |
| その他           | 2,922                 | 2,889                 |
| 繰延税金資産小計      | 16,414                | 16,352                |
| 評価性引当額        | 7,469                 | 7,467                 |
| 繰延税金資産合計      | 8,944                 | 8,885                 |
| <b>繰延税金負債</b> |                       |                       |
| その他有価証券評価差額金  | 395                   | 518                   |
| その他           | 83                    | 86                    |
| 繰延税金負債合計      | 479                   | 604                   |
| 繰延税金資産の純額     | 8,465                 | 8,280                 |

2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

|                          | 前事業年度<br>(2018年3月31日) | 当事業年度<br>(2019年3月31日) |
|--------------------------|-----------------------|-----------------------|
| 法定実効税率                   | 30.7%                 | 30.5%                 |
| (調整)                     |                       |                       |
| 繰延税金資産に係る評価性引当額<br>の増減額  | 0.0                   | 0.0                   |
| 住民税均等割                   | 0.2                   | 0.1                   |
| 交際費等永久に損金に算入され<br>ない項目   | 0.1                   | 0.1                   |
| 受取配当金等永久に益金に算入<br>されない項目 | 4.6                   | 4.8                   |
| その他                      | 0.0                   | 0.0                   |
| 税効果会計適用後の法人税等の<br>負担率    | 26.4                  | 25.9                  |

( 1株当たり情報 )

|              | 前事業年度<br>(自 2017年4月1日<br>至 2018年3月31日) | 当事業年度<br>(自 2018年4月1日<br>至 2019年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 1株当たり純資産額    | 980.02円                                | 1,070.53円                              |
| 1株当たり当期純利益金額 | 88.24円                                 | 104.40円                                |

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は以下のとおりであります。

|                    | 前事業年度<br>(自 2017年4月1日<br>至 2018年3月31日) | 当事業年度<br>(自 2018年4月1日<br>至 2019年3月31日) |
|--------------------|--|--|
| 1株当たり当期純利益金額       |  |  |
| 当期純利益 (百万円)        | 15,154                                 | 17,929                                 |
| 普通株式に係る当期純利益 (百万円) | 15,154                                 | 17,929                                 |
| 普通株式の期中平均株式数 (千株)  | 171,748                                | 171,747                                |

3 「会計方針の変更」の記載のとおり、当事業年度における会計方針の変更は遡及適用され、前事業年度については、遡及適用後の財務諸表となっております。この結果、遡及適用を行う前と比べて、前事業年度の1株当たり純資産額は38.02円増加しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

【附属明細表】

【有価証券明細表】

【株式】

投資有価証券

| 銘柄               | 株式数(株)     | 貸借対照表計上額(百万円) |
|------------------|------------|---------------|
| (その他有価証券)        |            |               |
| 京浜急行電鉄(株)        | 1,228,500  | 2,307         |
| 京王電鉄(株)          | 211,500    | 1,512         |
| 成田高速鉄道アクセス(株)    | 24,000     | 1,200         |
| 東武鉄道(株)          | 369,400    | 1,180         |
| 三井不動産(株)         | 410,000    | 1,140         |
| 南海電気鉄道(株)        | 365,800    | 1,117         |
| A N Aホールディングス(株) | 245,300    | 995           |
| (株)西武ホールディングス    | 317,700    | 615           |
| (株)千葉興業銀行(優先株式)  | 6,000      | 300           |
| (株)千葉銀行          | 490,000    | 294           |
| その他37銘柄          | 8,148,328  | 1,485         |
| 計                | 11,816,528 | 12,148        |

## 【有形固定資産等明細表】

| 資産の種類    | 当期首残高<br>(百万円) | 当期増加額<br>(百万円) | 当期減少額<br>(百万円)  | 当期末残高<br>(百万円) | 当期末減価<br>償却累計額<br>又は償却<br>累計額<br>(百万円) | 当期償却額<br>(百万円) | 差引当期末<br>残高<br>(百万円) |
|----------|----------------|----------------|-----------------|----------------|--|----------------|----------------------|
| 有形固定資産   |                |                |                 |                |  |                |                      |
| 土地       | 92,478         | 13,901         | 10              | 106,369        |  |                | 106,369              |
| 建物       | 144,491        | 16,202         | 1,850<br>(376)  | 158,843        | 77,537                                 | 4,369          | 81,306               |
| 構築物      | 266,703        | 4,655          | 1,017<br>(207)  | 270,341        | 131,175                                | 5,503          | 139,165              |
| 車両       | 40,338         | 1,928          | 3,323           | 38,943         | 32,972                                 | 1,235          | 5,970                |
| 機械装置     | 25,248         | 923            | 1,059<br>(216)  | 25,112         | 19,803                                 | 866            | 5,308                |
| 工具・器具・備品 | 5,816          | 512            | 102<br>(8)      | 6,226          | 5,033                                  | 357            | 1,192                |
| リース資産    | 43,602         | 3,674          | 430             | 46,846         | 20,437                                 | 3,176          | 26,409               |
| 建設仮勘定    | 24,107         | 45,967         | 39,565          | 30,510         |  |                | 30,510               |
| 有形固定資産計  | 642,785        | 87,767         | 47,359<br>(808) | 683,194        | 286,960                                | 15,509         | 396,233              |
| 無形固定資産   |                |                |                 |                |  |                |                      |
| 借地権      | 403            |                |                 | 403            |  |                | 403                  |
| 施設負担金    | 6,293          | 414            |                 | 6,707          | 3,697                                  | 305            | 3,010                |
| 施設利用権    | 1,148          |                |                 | 1,148          | 276                                    | 38             | 872                  |
| 下水道施設利用権 | 372            | 4              |                 | 376            | 261                                    | 16             | 114                  |
| ソフトウェア   | 6,183          | 370            | 16              | 6,537          | 5,361                                  | 411            | 1,176                |
| リース資産    | 2,262          |                | 3               | 2,258          | 1,054                                  | 121            | 1,204                |
| その他      | 75             | 0              |                 | 76             | 68                                     | 0              | 8                    |
| 無形固定資産計  | 16,737         | 789            | 19              | 17,508         | 10,718                                 | 893            | 6,789                |
| 長期前払費用   | 60             | 0              | 5               | 55             |  |                | 55                   |
| 繰延資産     |                |                |                 |                |  |                |                      |
| 社債発行費    | 227            | 189            |                 | 417            | 144                                    | 31             | 272                  |
| 繰延資産計    | 227            | 189            |                 | 417            | 144                                    | 31             | 272                  |

(注) 1 当期増加額のうち主なものは以下のとおりであります。

|    |  |           |
|----|--|-----------|
| 土地 | 千葉市美浜区外所在の賃貸物件取得<br>(トラック・バスの整備・営業拠点計18物件) | 12,454百万円 |
| 建物 | 千葉市美浜区外所在の賃貸物件取得<br>(トラック・バスの整備・営業拠点計18物件) | 5,940     |

2 当期減少額のうち( )内は内書で、取得原価から控除している圧縮記帳額であります。

【引当金明細表】

| 区分    | 当期首残高<br>(百万円) | 当期増加額<br>(百万円) | 当期減少額<br>(目的使用)<br>(百万円) | 当期減少額<br>(その他)<br>(百万円) | 当期末残高<br>(百万円) |
|-------|----------------|----------------|--------------------------|-------------------------|----------------|
| 貸倒引当金 | 2              |                |                          | 2                       |                |
| 賞与引当金 | 990            | 998            | 990                      |                         | 998            |

(注) 貸倒引当金の「当期減少額(その他)」は、洗替えによる戻入額であります。

(2) 【主な資産及び負債の内容】

連結財務諸表を作成しているため、記載を省略しております。

(3) 【その他】

該当事項はありません。

## 第6 【提出会社の株式事務の概要】

|   |   |                     |                 |              |
|---|---|---------------------|-----------------|--------------|
| 事業年度  | 4月1日から3月31日まで   |                     |                 |              |
| 定時株主総会  | 6月中   |                     |                 |              |
| 基準日   | 3月31日   |                     |                 |              |
| 剰余金の配当の基準日  | 9月30日<br>3月31日  |                     |                 |              |
| 1単元の株式数   | 100株  |                     |                 |              |
| 単元未満株式の買取り・買増し  |   |                     |                 |              |
| 取扱場所  | (特別口座)<br>東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部   |                     |                 |              |
| 株主名簿管理人   | (特別口座)<br>東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社   |                     |                 |              |
| 取次所   |   |                     |                 |              |
| 買取・買増手数料  | 無料  |                     |                 |              |
| 公告掲載方法  | 当社の公告方法は、電子公告としております。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。<br>当社の公告掲載アドレスは、次のとおりであります。 <a href="http://www.keisei.co.jp/">http://www.keisei.co.jp/</a> |                     |                 |              |
| 株主に対する特典  | 毎年3月31日及び9月30日の最終の株主名簿に記載された株主に対して、次のとおり株主優待乗車証及び施設利用優待券を発行しております。  |                     |                 |              |
|   | 1 株主優待乗車証   |                     |                 |              |
|   | 保有株式数   | 株主優待乗車証の方式          | 発行枚数            |              |
|   |   |                     | 9月末<br>(基準日)    | 3月末<br>(基準日) |
|   | 100株以上<br>500株未満  | 回数券式(電車)<br>1枚1乗車有効 | -               | 2枚           |
|   | 500株以上<br>1,500株未満  | "                   | 4枚              | 4枚           |
|   | 1,500株以上<br>2,500株未満  | "                   | 7枚              | 7枚           |
|   | 2,500株以上<br>3,500株未満  | "                   | 10枚             | 10枚          |
|   | 3,500株以上<br>5,000株未満  | "                   | 20枚             | 20枚          |
|   | 5,000株以上<br>10,000株未満   | "                   | 30枚             | 30枚          |
| 10,000株以上<br>17,500株未満  | "   | 60枚                 | 60枚             |              |
| 17,500株以上<br>25,000株未満  | 定期券式(電車)<br>又は<br>回数券式(電車)<br>1枚1乗車有効   | 1枚<br>又は<br>60枚     | 1枚<br>又は<br>60枚 |              |
| 25,000株以上   | 定期券式(電車・バス)<br>又は<br>回数券式(電車)<br>1枚1乗車有効  | 1枚<br>又は<br>60枚     | 1枚<br>又は<br>60枚 |              |
| (継続保有追加発行の対象者は、過去3年間すべての基準日において、対象株数以上を継続して保有し、かつ株主番号又は氏名・住所が継続して同一である株主) |   |                     |                 |              |
| 2 施設利用優待券<br>500株以上保有の株主に一律「株主ご優待券」1冊                                     |   |                     |                 |              |
| 3 有効期限<br>3月31日現在の株主：11月30日まで<br>9月30日現在の株主：翌年5月31日まで                     |   |                     |                 |              |

## 第7 【提出会社の参考情報】

### 1 【提出会社の親会社等の情報】

当社は、親会社等はありません。

### 2 【その他の参考情報】

当事業年度の開始日から有価証券報告書提出日までの間に、次の書類を提出しております。

- |                           |                 |                               |  |
|---------------------------|-----------------|-------------------------------|--|
| (1) 有価証券報告書<br>及びその添付書類   | 事業年度<br>(第175期) | 自 2017年4月1日<br>至 2018年3月31日   | 2018年6月28日<br>関東財務局長に提出。   |
| (2) 確認書                   |                 |                               | 2018年6月28日<br>関東財務局長に提出。<br>第175期(自2017年4月1日至2018年3月31日)の有価証券報告書に係る確認書であります。                               |
| (3) 内部統制報告書               |                 |                               | 2018年6月28日<br>関東財務局長に提出。   |
| (4) 臨時報告書                 |                 |                               | 2018年7月2日<br>関東財務局長に提出。<br>金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第9号の2に基づく臨時報告書であります。(株主総会における議決権行使の結果) |
| (5) 訂正発行登録書               |                 |                               | 2018年7月2日<br>関東財務局長に提出。<br>2017年7月3日提出の発行登録書に係る訂正発行登録書であります。   |
| (6) 四半期報告書<br>及び確認書       | 第176期<br>第1四半期  | 自 2018年4月1日<br>至 2018年6月30日   | 2018年8月10日<br>関東財務局長に提出。   |
| (7) 発行登録追補書類<br>及びその添付書類  |                 |                               | 2018年8月31日<br>関東財務局長に提出。<br>2017年7月3日提出の発行登録書に係る発行登録追補書類であります。   |
| (8) 四半期報告書<br>及び確認書       | 第176期<br>第2四半期  | 自 2018年7月1日<br>至 2018年9月30日   | 2018年11月9日<br>関東財務局長に提出。   |
| (9) 四半期報告書<br>及び確認書       | 第176期<br>第3四半期  | 自 2018年10月1日<br>至 2018年12月31日 | 2019年2月8日<br>関東財務局長に提出。  |
| (10) 発行登録追補書類<br>及びその添付書類 |                 |                               | 2019年3月1日<br>関東財務局長に提出。<br>2017年7月3日提出の発行登録書に係る発行登録追補書類であります。  |
| (11) 確認書                  |                 |                               | 2019年6月27日<br>関東財務局長に提出。<br>第176期(自2018年4月1日至2019年3月31日)の有価証券報告書に係る確認書であります。                               |
| (12) 内部統制報告書              |                 |                               | 2019年6月27日<br>関東財務局長に提出。   |



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の監査報告書及び内部統制監査報告書

2019年6月27日

京成電鉄株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 滝 沢 勝 己

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 古 賀 祐 一 郎

### <財務諸表監査>

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている京成電鉄株式会社の2018年4月1日から2019年3月31日までの連結会計年度の連結財務諸表、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結包括利益計算書、連結株主資本等変動計算書、連結キャッシュ・フロー計算書、連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項、その他の注記及び連結附属明細表について監査を行った。

### 連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

当監査法人は、上記の連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、京成電鉄株式会社及び連結子会社の2019年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する連結会計年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### < 内部統制監査 >

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第2項の規定に基づく監査証明を行うため、京成電鉄株式会社の2019年3月31日現在の内部統制報告書について監査を行った。

#### 内部統制報告書に対する経営者の責任

経営者の責任は、財務報告に係る内部統制を整備及び運用し、我が国において一般に公正妥当と認められる財務報告に係る内部統制の評価の基準に準拠して内部統制報告書を作成し適正に表示することにある。

なお、財務報告に係る内部統制により財務報告の虚偽の記載を完全には防止又は発見することができない可能性がある。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した内部統制監査に基づいて、独立の立場から内部統制報告書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる財務報告に係る内部統制の監査の基準に準拠して内部統制監査を行った。財務報告に係る内部統制の監査の基準は、当監査法人に内部統制報告書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき内部統制監査を実施することを求めている。

内部統制監査においては、内部統制報告書における財務報告に係る内部統制の評価結果について監査証拠を入手するための手続が実施される。内部統制監査の監査手続は、当監査法人の判断により、財務報告の信頼性に及ぼす影響の重要性に基づいて選択及び適用される。また、内部統制監査には、財務報告に係る内部統制の評価範囲、評価手続及び評価結果について経営者が行った記載を含め、全体としての内部統制報告書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、京成電鉄株式会社が2019年3月31日現在の財務報告に係る内部統制は有効であると表示した上記の内部統制報告書が、我が国において一般に公正妥当と認められる財務報告に係る内部統制の評価の基準に準拠して、財務報告に係る内部統制の評価結果について、すべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1 上記は独立監査人の監査報告書及び内部統制監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(有価証券報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 XBRLデータは監査の対象には含まれておりません。

## 独立監査人の監査報告書

2019年6月27日

京成電鉄株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 滝 沢 勝 己

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 古 賀 祐 一 郎

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている京成電鉄株式会社の2018年4月1日から2019年3月31日までの第176期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針、その他の注記及び附属明細表について監査を行った。

### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、京成電鉄株式会社の2019年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(有価証券報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは監査の対象には含まれておりません。